

ネットワークプレーヤー マネージメントソフトウェア

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

BZNP-D1

Version 2.20 and Later

商標について

- Microsoft、Windows および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macromedia および Flash は、Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に登場するシステム名、製品名、会社名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。

著作権について

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

コンテンツ制作に使用する動画、静止画、テロップなどの素材データには、著作権が設定されている場合があります。このような素材は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

また、テロップには、コンピューターにインストールされているフォントを使用できますが、このフォントは、著作権法上、権利者に無断で放送に使用することはできません。必ず、権利者から許可を得るか、放送権を取得してから使用してください。

目次

第 1 章 概要

システムの概要	6
再生できる素材	6
BZNP-D1 の機能	6
BZNP-D1 の種類	8
操作の流れ	8
システム導入時	8
通常の運用時	9
複数のプレイリストや制御を組み合わせ一日のスケジュールに指定する場合	9
カレンダーを手動で作成する場合	10
操作ウィンドウ	11
メインウィンドウ	11
コンテンツ管理ウィンドウ	13
プレイリストウィンドウ	15
一日のスケジュールウィンドウ	16
月間カレンダーウィンドウ	17
NSP-1 ステータスウィンドウ	18

第 2 章 起動と終了

BZNP-D1 を起動する	19
BZNP-D1 を終了する	19

第 3 章 導入時に必要な設定

システム導入時に必要な設定項目	20
BZNP-D1 の環境設定	21
ライセンスの追加	22
NSP-1 の登録とグループの作成	23
画面レイアウトのテンプレート設定	25

第 4 章 日常の操作

素材の準備	28
動画、静止画、Flash およびオーディオファイルを登録する	28
テロップを作成する	31
Web ページの URL を登録する	34
制御コマンドを追加登録する	35
PC 上で素材を確認 (プレビュー) する	37
プレイリストの作成	38
プレイリストとは?	38
プレイリストを作成する	39
既存のプレイリストを編集する	41
プレイリスト編集機能	44
再生の確認 (NSP-1 でのプレビュー)	51
素材やプレイリストを NSP-1 に送信していない場合	51
素材やプレイリストがすでに NSP-1 上にある場合	51
テロップを確認するには	52
制御コマンドを確認するには	52
NSP-1 への送信	53
プレイリストや素材を送信する	53
送信状況を確認する	54
自動削除日に関する操作	55

第 5 章 再生スケジュールの作成

再生スケジュールとは	57
一日のスケジュールの作成	57
一日のスケジュールとは	57
新しい一日のスケジュールを作成する	58
既存の一日のスケジュールを変更する	60
一日のスケジュールの編集機能	62
一日のスケジュールを CSV ファイルとして書き出す	65
カレンダーを作成する	65
カレンダーとは	65
カレンダーのデータを作成する	66
カレンダーのデータを変更する	67
カレンダーのデータを削除する	67
再生休止期間を設定する	68
一日のスケジュールやカレンダーを送信する	69

第 6 章 コンテンツの差し替えと NSP-1 のリモート制御

コンテンツの差し替え	71
素材を差し替える	71
プレイリストやスケジュールを差し替える	72
NSP-1 のリモート制御	73
NSP-1 で行われているスケジュール再生を停止する	73
テロップの割り込み再生を行う	73
NSP-1 や外部機器の制御を行う	75
NSP-1 上のデータを削除する	75

第 7 章 設定

割り込みテロップの表示位置の設定	76
NSP-1 のスクリーンセーバーの設定	77
画面レイアウトのテンプレートの管理	79
テンプレート設定ダイアログボックスを表示させる	79
既存のテンプレートを変更する	80
プレイリストの画面レイアウトをもとに新しいテンプレートを作成する	81
テンプレートを削除する	82
BZNP-D1 の環境設定の項目	82
NSP-1 およびグループ登録・編集操作の詳細	84
NSP-1 のデータを変更する	85
NSP-1 登録時の設定項目	86
グループのデータを変更する	87
グループ作成時の設定項目	87
NSP-1 およびグループのデータをファイルに書き出す	88
用語解説	89

概要

第

1

章

システムの概要

ソニー ネットワークプレーヤー マネージメントソフトウェア BZNP-D1 は、ネットワークを通じてコンテンツをネットワークプレーヤー NSP-1 に送信し、店内での商品説明や街頭での広告を再生するシステムを管理するソフトウェアです。VGA(640x480 ピクセル) から XGA(1024x768 ピクセル) までの多彩な表示サイズや、横置き・縦置きディスプレイもサポートし、様々なレイアウトに対応することができます。

素材の登録、プレイリストおよび再生スケジュールの作成という BZNP-D1 の主な機能は、マウスによるドラッグ&ドロップ操作だけで簡単に使用することができます。

再生できる素材

BZNP-D1 は、下記の素材を扱うことができます。

- 動画: MPEG2 プログラムストリーム (MP@ML) および MPEG4(ASP@L5)
- MPEG4 ライブストリーミングビデオ (ISMA 1.0 準拠): ストリーミングサーバーの SDP(Session Description Protocol) ファイルを指定することで、NSP-1 上にストリーミングビデオを表示します。
- 静止画: BMP および JPEG ファイル
- Web ページ: ストリーミングビデオと同様に、URL を指定することで、Web ページを表示します。
- Flash ファイル: Macromedia Flash ファイル
- オーディオ: Wave および MP3 ファイル
- テロップ: BZNP-D1 で内容、表示色、フォントなどを指定して作成します。

テロップは BZNP-D1 上でビットマップファイルに変換されて、NSP-1 に送られます。ビットマップファイルをテロップとして BZNP-D1 に取り込み、使用することもできます。

BZNP-D1 と NSP-1 のシステムでは、このように様々なアプリケーションソフトウェアで作成した一般的なファイルを素材として使用できます。

◆ 各素材ファイルに関する制限など詳細については、付属の SpecsJ.htm ファイルの内容をご覧ください。

また、この他に NSP-1 の VIDEO IN、AUDIO IN 端子に入力されるビデオとオーディオを、動画として他の素材と組み合わせて使用することもできます。

BZNP-D1 の機能

BZNP-D1 では、次の作業を行います。

NSP-1 へのコンテンツ配信に必要な設定

- 管理する NSP-1 の登録とグループ作成
NSP-1 は接続されているディスプレイの解像度と設置の向き(縦または横置き)、および再生する内容によってグループに分けて管理します。
- 各グループの画面レイアウトおよびその他の設定

NSP-1 で再生を行う素材の登録

- 動画など他のアプリケーションプログラムで作成された素材ファイルの登録
- MPEG4 ストリーミングビデオの SDP ファイルの登録
- Web ページの URL の登録
- テロップの作成、登録
- 制御コマンドの登録
NSP-1 に接続されているプラズマディスプレイなどの外部機器の制御、NSP-1 のオーディオ出力レベルの制御などができます。

NSP-1 でのプレイリストと再生スケジュールの作成

- プレイリストの作成(レイアウト指定)
- 一日のスケジュールの作成
プレイリストと制御コマンドをリストにします。
- カレンダーの作成
一日のスケジュールの使用期間を指定します。

一日のスケジュールとカレンダーは、自動的に作成することもできます。

NSP-1 への配信

- 素材データとプレイリスト、再生スケジュールの送信
- NSP-1 上で再生しているコンテンツへのテロップの割り込み表示
- NSP-1 への送信結果の確認
- NSP-1 のステータスと再生スケジュールの確認 (NSP-1 にネットワーク接続して WEB ページで確認します)

この他に、BZNP-D1 自体の設定の機能などがあります。

レイアウトとプレイリスト

BZNP-D1 を使用して、それぞれの素材を単独で、または複数の素材を組み合わせて表示・再生するように、NSP-1 に指示します。

同時刻に再生する素材の組み合わせと、それぞれのディスプレイ上での表示位置は、プレイリスト編集時に「レイアウト」として指定します。

素材の再生順序やタイミングなど、時間軸に関する指定は「プレイリスト」で行います。

一般的なオーサリングソフトとは異なり、BZNP-D1 は、各素材ファイルをタイムライン上に並べて 1 つの動画にまとめるのではなく、それぞれを別のファイルとして管理し、NSP-1 に送信します。NSP-1 上では、一緒に送られるプレイリストと再生スケジュールに従って、自動的に再生が行われます。

そのため、データサイズの小さい静止画やテロップだけをすばやく差し替えたり、プレイリストを変更して送信するだけで素材の組み合わせや表示レイアウトを変更したりすることができ、お持ちのコンテンツを最大限に生かして小回りの利いた再生を行うことが可能です。

- ◆ レイアウトとプレイリストについて詳しくは、「プレイリストとは？」 (38 ページ) をご覧ください。

再生スケジュール

「プレイリスト」はひとつながりのストーリーの中で素材の再生順序やタイミングなどを指定するもので、テレビ放送などの番組にあたります。

BZNP-D1 ではプレイリストの他に「一日のスケジュール」と「カレンダー」を使用して、NSP-1 上での再生のスケジュールを指定します。この 2 点をまとめて「再生スケジュール」と呼びます。

「一日のスケジュール」は文字通り、一日の中で何時から何時まで、どの番組 (プレイリスト) を再生するかを指定するものです。番組は、指定された時間内で繰り返し再生されます。

「カレンダー」は、どの日にどの「一日のスケジュール」を使用して再生を行うかを指定します。週または月単位で「一日のスケジュール」を割り当てたりするなどの運用が容易に行えます。

- ◆ 再生スケジュールについて詳しくは「再生スケジュールとは」 (57 ページ) をご覧ください。

スケジュール作成モードについて

同じ内容を繰り返して再生する場合など、カレンダーや一日のスケジュールをわざわざ作成する必要がない場合のために、BZNP-D1 には、3 種類のスケジュール作成モードがあります。

- 単独プレイリストモード
ひとつのプレイリストを、一日中繰り返して再生するスケジュール作成モードです。
「プレイリスト」で、再生時間と期間を指定します。
- 複合プレイリストモード
時刻を指定してディスプレイの電源 On/Off などの制御を行ったり、時間帯を指定して一日に複数のプレイリストを再生するスケジュール作成モードです。
「一日のスケジュール」で、再生期間を指定します。
- カレンダー手動作成モード
BZNP-D1 の V2.1 以前と同じように再生スケジュールを指定する場合、および毎月、2 週目と 4 週目に同じ一日のスケジュールを使用するなど、一日のスケジュールを複数の期間に使用する場合のスケジュール作成モードです。
「カレンダー」で再生期間を指定します。

スケジュール作成モードは、BZNP-D1 の環境設定ダイアログボックスで選択します。

BZNP-D1 の種類

BZNP-D1 には、次のような製品があります。

- BZNP-D1LE
NSP-1 を 1 台のみ管理できる無償ソフトウェア
- BZNP-D1
NSP-1 を 10 台まで管理できる有償ソフトウェア。管理する NSP-1 の数は追加ライセンスを購入することで、最大 210 台まで増やすことができます。
- BZNP-DP10
管理できる NSP-1 を 10 台増やす追加ライセンス
- BZNP-DP50
管理できる NSP-1 を 50 台増やす追加ライセンス

各ソフトウェアは、管理できる NSP-1 の台数が異なるだけで、機能や使用方法に違いはありません。

- ◆ 購入したライセンスを登録して管理する NSP-1 の台数を増やす方法については、「ライセンスの追加」（22 ページ）をご覧ください。

ご注意

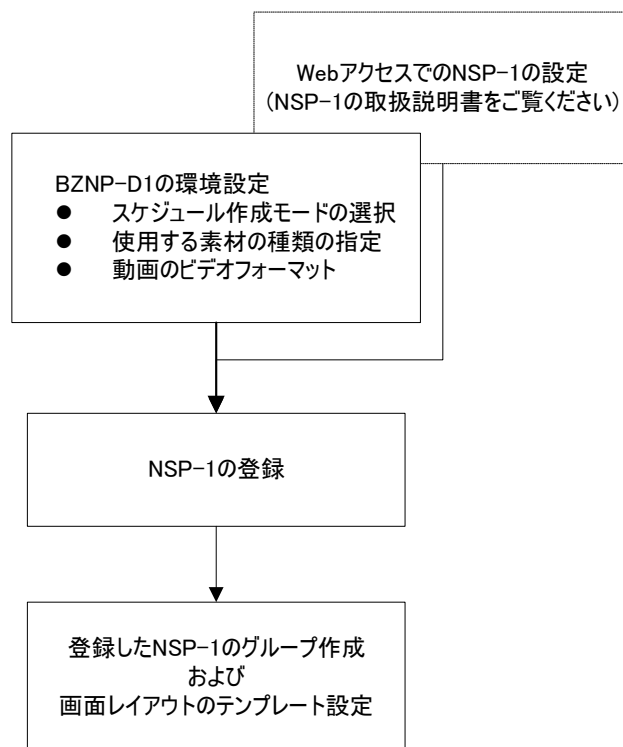
各ソフトウェアやライセンスは、それぞれ 1 台の PC 上に限って使用できます。

各製品は、インストール時に表示される、付属の使用許諾書による契約に基づいて使用することができます。

操作の流れ

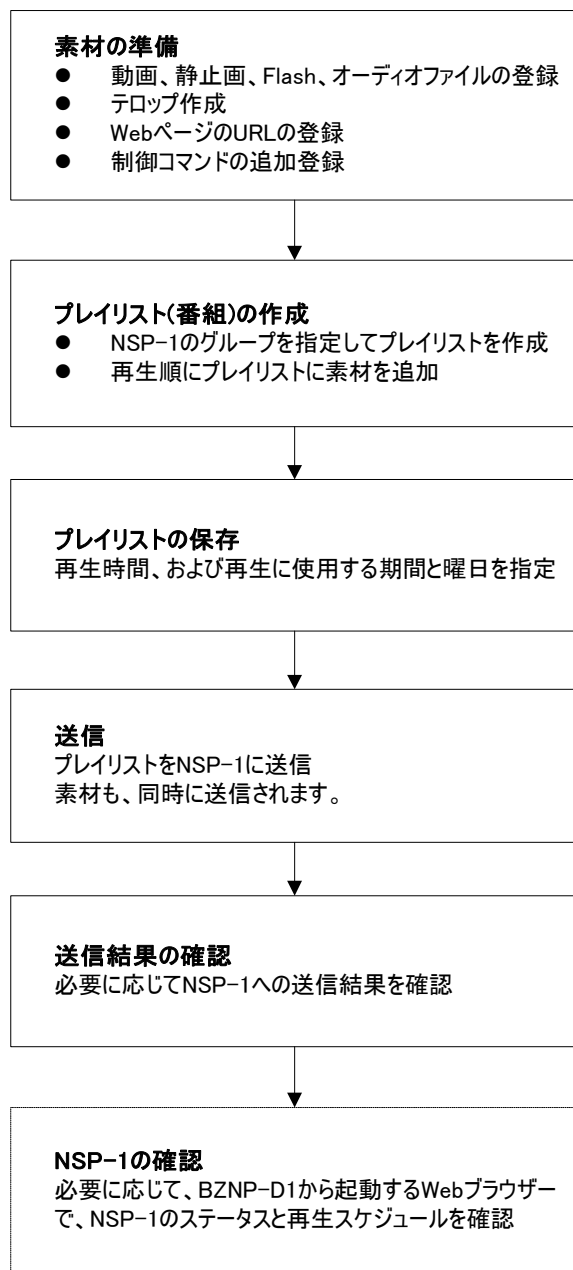
システム導入時

次の図は、システム導入時に行う各種設定の操作の流れを示しています。



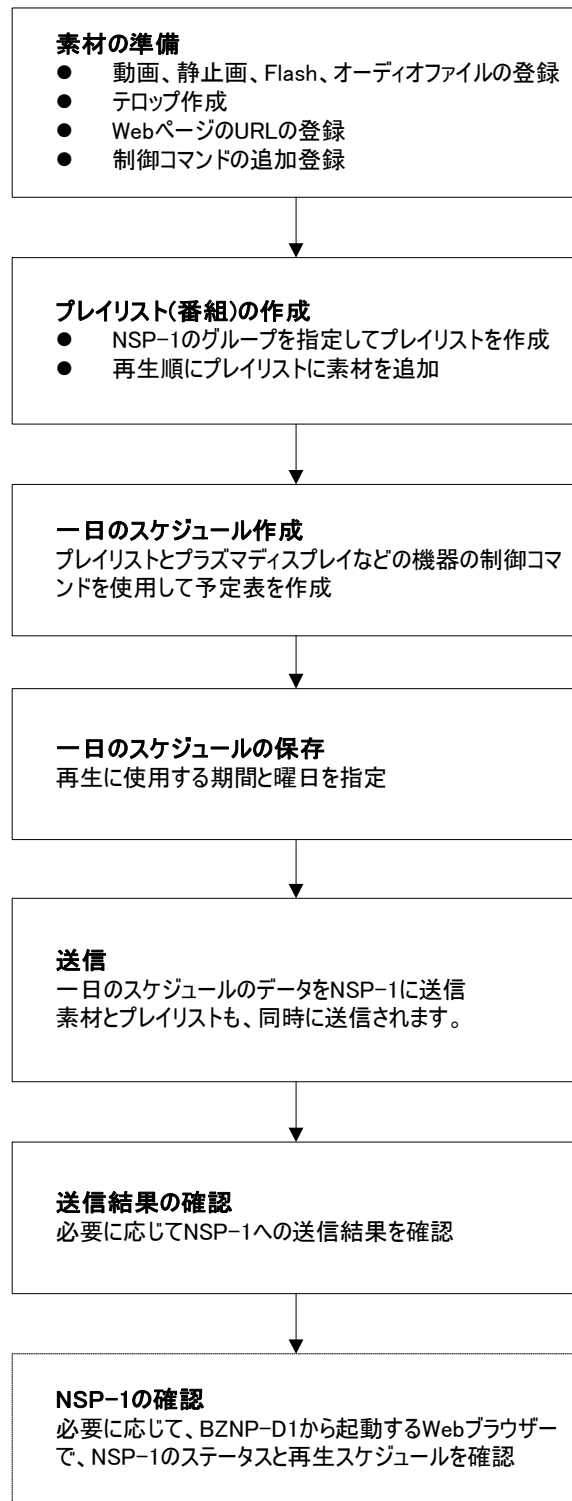
通常の運用時

次の図は、システム導入の操作が終わった後の、日常の操作 (BZNP-D1 のスケジュール作成モードが単独プレイリストモードの場合) の流れを示しています。



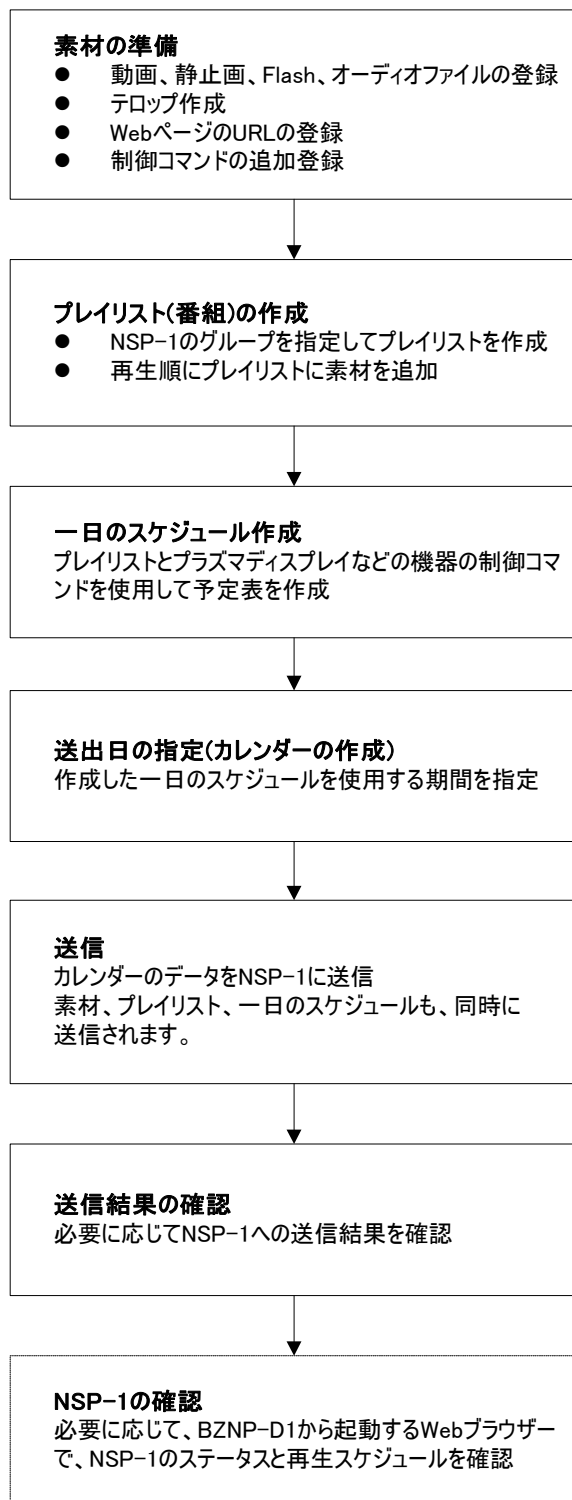
複数のプレイリストや制御を組み合わせ一日のスケジュールに指定する場合

スケジュール作成モードが複合プレイリストモードの場合は、日常の操作は次の図のような流れになります。



カレンダーを手動で作成する場合

スケジュール作成モードがカレンダー手動作成モードの場合は、日常の操作は次の図のような流れになります。



操作ウィンドウ

メインウィンドウ

BZNP-D1 は、環境設定で選択されるスケジュール作成モードによって、異なるメインウィンドウを表示します。

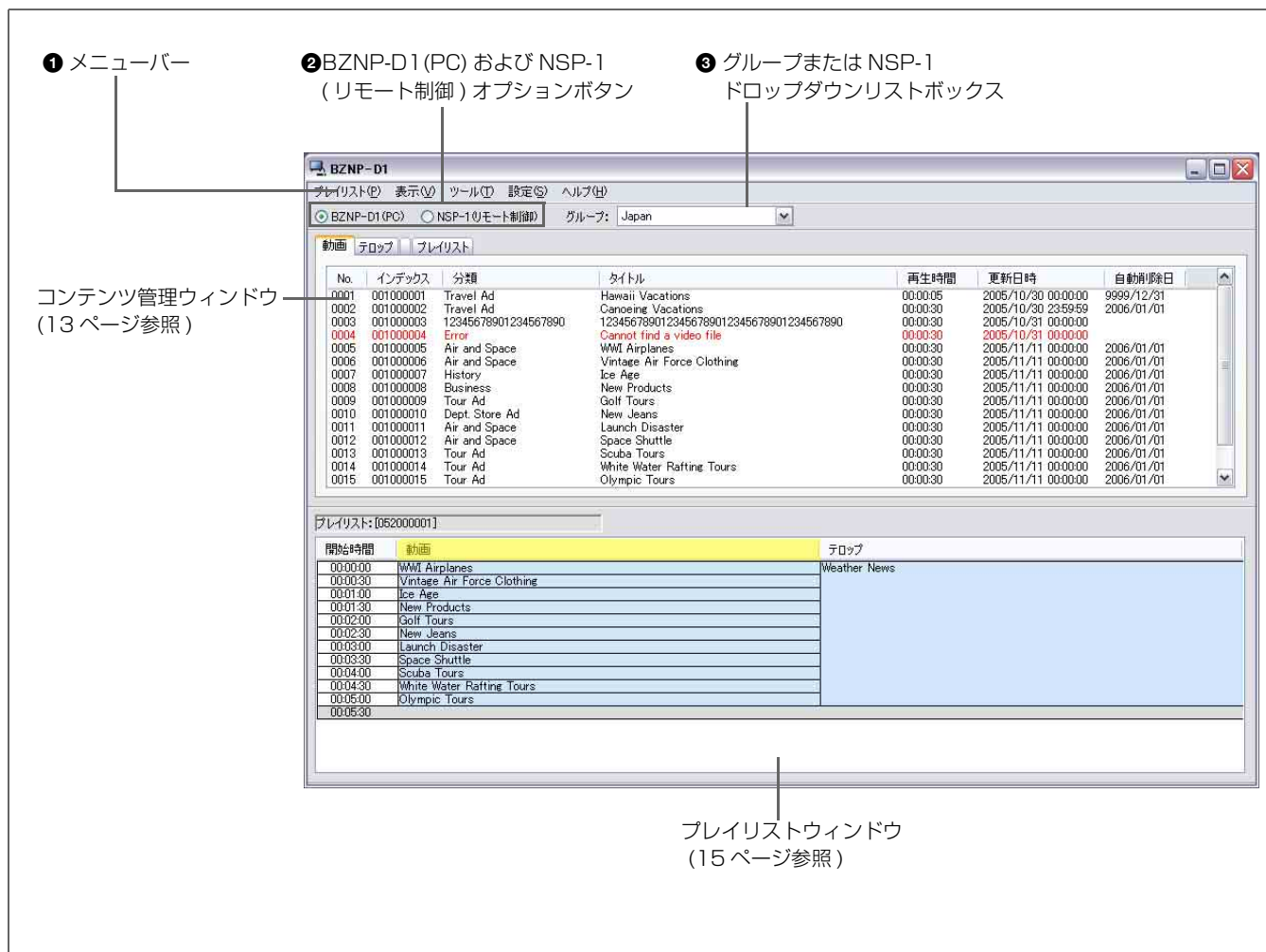
一日のスケジュールを作成しない「単独プレイリストモード」の場合は、下図のようにコンテンツ管理ウィンドウとプレイリストウィンドウがメインウィンドウ内に表示されます。コンテンツ管理ウィンドウ、プレイリストウィンドウのほかに、メインウィンドウとは別に表示される月間カレンダー、NSP-1 ステータスの各ウィンドウを使用して操作を行います。

各サブウィンドウは、表示メニューのコマンドで、個別に閉じたり表示させたりすることができます。

メインウィンドウ内に表示されているコンテンツ管理およびプレイリストの各ウィンドウは、マウスでドラッグすることで、サブウィンドウをメインウィンドウから取り外すことができ、取り外したサブウィンドウの大きさを変更することもできます。

取り外したサブウィンドウを元通りにメインウィンドウ内に戻すには、サブウィンドウのタイトルバーをダブルクリックしてください。

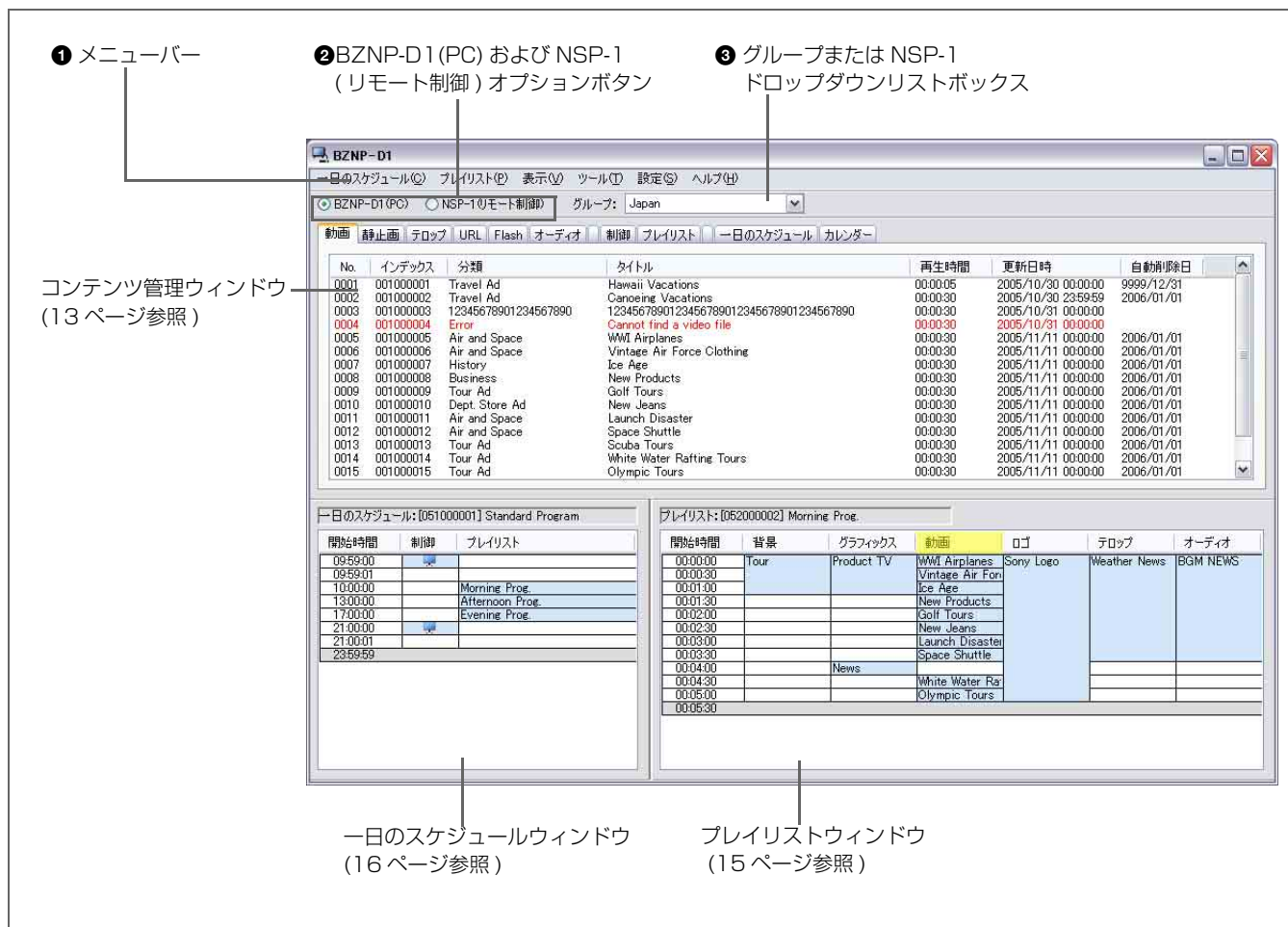
BZNP-D1 が単独プレイリストモードの場合



BZNP-D1 が複合プレイリストモードまたはカレンダー手動作成モードの場合

BZNP-D1 が複合プレイリストモードまたはカレンダー手動作成モードの場合は、通常、下図のようにメインウィンドウ内に表示されるコンテンツ管理、プレイリストおよび一

日のスケジュールウィンドウと、メインウィンドウとは別に表示される月間カレンダー、NSP-1 ステータスの各ウィンドウを使用して操作を行います。



① メニューバー

BZNP-D1 の機能を使用するためのメニューが表示されています。メニューのいずれかを選択すると、そのメニューに含まれているコマンドが表示されます。

② BZNP-D1 (PC) および NSP-1 (リモート制御) オプションボタン

BZNP-D1 の操作を、PC 上にある BZNP-D1 が管理しているデータに対して行うか、NSP-1 上にあるデータに対して行うかを選択します。通常は、BZNP-D1 (PC) オプションボタンを選択します。

NSP-1 上のデータを確認したり削除したりする場合は、NSP-1 (リモート制御) オプションボタンを選択します。NSP-1 (リモート制御) オプションボタンを選択すると、プレイリストウィンドウと一日のスケジュールウィンドウが表示されなくなり、コンテンツ管理ウィンドウが大きく表示されます。また、月間カレンダーウィンドウも表示されなくなります。

③ グループまたは NSP-1 ドロップダウンリストボックス

BZNP-D1 (PC) オプションボタンが選択されている場合は、ここにスケジュール管理の対象となる NSP-1 のグループが表示されています。

NSP-1 (リモート制御) オプションボタンが選択されている場合は、操作の対象として選択されている NSP-1 の名称が表示されています。情報更新ボタンは、選択されているパネル上に表示されている NSP-1 の情報を更新するために使用します。

また、ここでグループや NSP-1 を選択することで、操作の対象となるグループや NSP-1 を指定できます。

コンテンツ管理などの各サブウィンドウには、BZNP-D1 (PC) / NSP-1 (リモート制御) オプションボタンとグループ / NSP-1 ドロップダウンリストボックスで選択されている場所に保存されているデータが表示されます。

コンテンツ管理ウィンドウ

動画などの素材、プレイリスト、再生スケジュールといった BZNP-D1 で取り扱われるすべてのデータは、コンテンツ管理ウィンドウの種類別のパネル上に表示されます。表示されるリストの項目は、データの種類によって異なります。下の図は動画素材を表示した場合の例です。素材と制御コマンドは、すべての NSP-1 のグループに共通して使用できます。プレイリストと再生スケジュールは、NSP-1 のグループ別に管理されているため、選択されている NSP-1 のグループに対するものだけが表示されます。

ご注意

- BZNP-D1 のスケジュール作成モードによっては、表示されないパネルがあります。
単独プレイリストモードの場合には一日のスケジュールおよびカレンダーのパネルが、複合プレイリストモードの場合はカレンダーパネルが表示されません。
 - システムの環境設定を変更することで、必要なデータの種類だけを表示させることができます。
 - データはビデオフォーマット別(NTSCとPAL)に管理されています。表示されるのは、環境設定で選択されているビデオフォーマットのデータだけです。
- ◆ システムの環境設定については、「BZNP-D1 の環境設定」(21 ページ) をご覧ください。



① コンテンツ選択ボタン

表示するデータの種類を選択します。
この図では、動画パネルが選択されており、BZNP-D1 に登録されている動画ファイルの一覧が表示されています。

② データ表示エリア

コンテンツ選択ボタンで選択されている種類のデータが表示されます。選択した種類によって、リストに表示される項目は異なります。
各データは初めはインデックス順(カレンダーパネルでは登録日時順)に並んでいます。「分類」や「タイトル」といった項目名をクリックすると、クリックした項目でデータを並べ替えることができます。

分類やタイトルなどを変更するには、変更したいデータを選択してから、分類またはタイトル部分をクリックして修正し、Enter キーを押します。

データの削除や NSP-1 上での素材のプレビューなどを行う場合は、希望のデータを選択してから選択部分を右クリックして、表示されるメニューからコマンドを選択してください。

で注意

赤字で表示されている素材は、登録後に素材の実ファイルが削除または移動され、現在、素材が使用できない状態にあることを示しています。

BZNP-D1 は、動画や Flash ファイルなど、他のアプリケーションプログラムで作成したファイルを素材として登録する際、実際のファイル(実ファイル)そのものを登録するのではなく、ファイルの保存場所を登録します。

素材の登録後は、実ファイルを削除したり移動したりしないようにしてください。

自動削除日について

コンテンツ管理ウィンドウの自動削除日のデータは、NSP-1 上に再生済みで不要になったコンテンツなどのデータがたまらないように、NSP-1 のハードディスクから自動的に削除される日付を表示しています。

自動削除日のデータは、素材が登録された時点では表示されません。プレイリストや再生スケジュールが NSP-1 に送信される際に自動的に設定され、表示されるようになります。

システムで自動的に管理されるため、通常は自動削除日に関する操作は必要ありませんが、以下の場合には、自動削除日を手動で指定することができます。

- 特定の素材を、期限を区切って使用できるようにしたい場合
ただし、指定した期限より後で使用するプレイリストや再生スケジュールの中でその素材を使用する場合など、手動で指定した自動削除日はシステムによって変更される場合があります。
- 特定の素材を NSP-1 のハードディスクにずっと保存しておきたい場合
自動削除されないよう、自動削除日を 9999 年 12 月 31 日に設定することができます。
- 自動削除されないように設定した素材などを、再び自動削除の対象に戻す場合
スクリーンセーバーで使用する素材や、自動削除されないようにした素材など、自動削除日が 9999 年 12 月 31 日になっている素材などを再び自動削除の対象にしたいときに、他の日付に変更します。自動削除日の指定なしの状態にすることもできます。

◆ 自動削除日の指定について詳しくは、「自動削除日に関する操作」(55 ページ)をご覧ください。

コンテンツ管理ウィンドウで行う操作

コンテンツ管理ウィンドウは、主に次の用途に使用します。

- 素材やプレイリスト、再生スケジュールを確認(および編集)する
データをダブルクリックすると、BZNP-D1 の編集機能または Windows で関連付けられているアプリケーションプログラムを使用して、内容の確認を行うことができます。関連付けられているアプリケーションプログラムなどによっては、編集も可能です。
- プレイリストを作成する際に、再生に使用する素材を選択する
ドラッグ & ドロップ操作でプレイリストに素材を追加します。
- 一日のスケジュールを作成する際に、再生するプレイリストや、組み込みたい制御コマンドを選択する
ドラッグ & ドロップ操作で一日のスケジュールにプレイリストや制御コマンドを追加します。

プレイリストウィンドウ

プレイリストウィンドウでは、BZNP-D1 に登録されている素材を組み合わせ、番組に該当する「プレイリスト」を作成します。

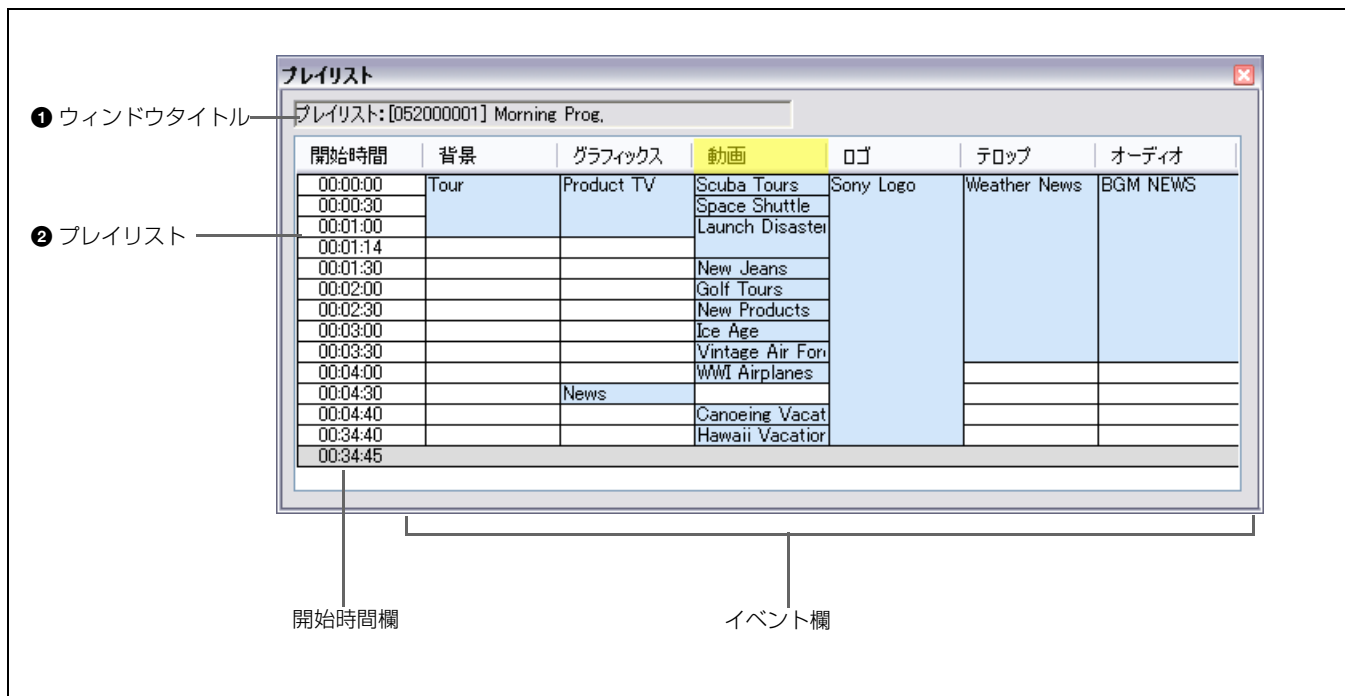
NSP-1 では、ここで作成されたプレイリストに従って再生が行われます。

プレイリストウィンドウには、NSP-1 が扱うレイヤーに応じた欄があります。コンテンツ管理ウィンドウで素材を選択して、再生順序に沿ってプレイリストの該当するレイヤーの欄に並べ、プレイリストを作成します。

ご注意

システムの環境設定を行うことで、必要なレイヤーの欄だけを表示させることができます。

◆ 詳しくは、「BZNP-D1 の環境設定」(21 ページ)をご覧ください。



① ウィンドウタイトル

「プレイリスト」という文字列と、現在ウィンドウに表示されているプレイリストのインデックス(まだ一度も保存されていない場合は「新規」)、タイトルが表示されます。

② プレイリスト

再生イベントとして再生順に素材を並べた「プレイリスト」が、レイヤーごとに表示されます。空色の背景色は、そのセルにイベントが指定されていることを示しています。背景やグラフィックスなどの各レイヤーの欄には、イベントとして指定されている素材のタイトルが表示されています。タイトル上にマウスポインターを移動させると、素材のインデックス、分類、タイトルがポップアップ表示できます。

開始時間の欄には、個々のイベントの開始時刻が表示されます。同じ行に表示されているイベントは、同時に再生開始となります。

プレイリストの作成は、コンテンツ管理ウィンドウからドラッグ & ドロップ操作で素材をリストに追加することで行います。

開始時間の変更や削除などを行う場合は、希望のイベントを右クリックして、表示されるメニューからコマンドを選択してください。

再生する素材とレイヤーについて

コンテンツ管理ウィンドウのパネルはデータの形式および種類によって分けられていますが、プレイリストウィンドウの欄は、NSP-1 が扱う表示レイヤーに対応しています。次の表は素材の種類とレイヤーの関係を示しています。

レイヤー	使用目的	指定できる素材の種類
背景	背景・壁紙	静止画
グラフィックス	静止画(背景が透過しない)	静止画、URL(Web ページ)、Flash

レイヤー	使用目的	指定できる素材の種類
動画	ビデオ (音声なしも可能)、MPEG4 ストリーミングビデオ	動画、NSP-1 の VIDEO IN・AUDIO IN 端子に入力されるビデオとオーディオ
ロゴ	ロゴマーク、ダウンストリームキーイング (背景が透過する)、動画の手前に表示したい静止画	静止画
テロップ	テロップ	テロップ
オーディオ	エキストラ・オーディオ	オーディオ

ヒント

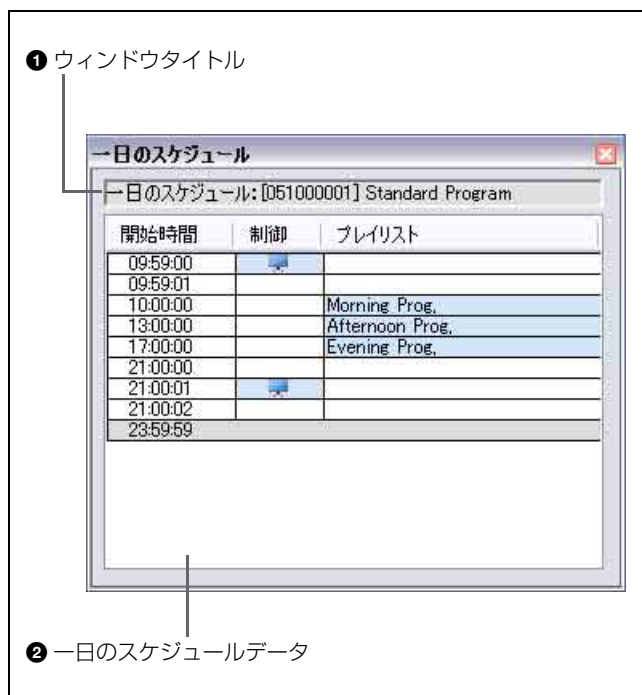
- プレイリストには、この他に NSP-1 や NSP-1 に接続されているプラズマディスプレイなどの機器に対する制御コマンドも指定できます。
- コンテンツ管理ウィンドウで素材データのパネルが選択されている時は、そのデータを使用できるレイヤーの名称部分の背景色が黄色に変わります。
- ◆ NSP-1 のレイヤーについて詳しくは、「プレイリストとは？」の「レイアウト設定」(38 ページ)をご覧ください。

一日のスケジュールウィンドウ

一日のスケジュールウィンドウでは、作成したプレイリストを使用して、一日の再生予定表を作成します。NSP-1 や、NSP-1 に接続されているプラズマディスプレイなど、外部の機器に対するコマンドを組み込むこともできます。

ご注意

BZNP-D1 のスケジュール作成モードが単独プレイリストモードの場合は、一日のスケジュールに関する操作は必要ないため、一日のスケジュールウィンドウは表示されません。






① ウィンドウタイトル

「一日のスケジュール」という文字列と、現在ウィンドウに表示されている一日のスケジュールのインデックス (まだ一度も保存されていない場合は「新規」)、タイトルが表示されます。

② 一日のスケジュールデータ

プレイリストを再生順に並べた、一日の再生予定表です。空色の背景色は、そのセルにイベントが指定されていることを示しています。

プレイリスト欄には、開始時刻欄に指定されている時刻に再生をスタートするプレイリストのタイトルが表示されます。制御欄には、NSP-1 や NSP-1 に接続されているプラズマディスプレイまたはその他の機器に対するコマンドがマークで表示されます。

マーク	制御コマンド
	NSP-1 に対する制御コマンド
	NSP-1 に RS-232C で接続されているプラズマディスプレイなどの機器に対する制御コマンド
	接続されている機器を制御するために、NSP-1 から GPI (General Purpose Interface) パルスを出力するための制御コマンド

タイトルやマーク上にマウスポインターを移動させると、インデックス、分類、タイトルがポップアップ表示されます。

ヒント

赤く表示されている行は、NSP-1 の運用休止時間を示しています。運用休止時間中には、NSP-1 は再生もデータの受信も行わないため、この行にはプレイリストや制御コマンドは指定できません。

プレイリストの再生などが運用休止時間にかかった場合、運用休止時間になると、プレイリストの再生は中断します。その後、NSP-1 が再起動すると、プレイリストの先頭から再生が再開されます。

開始時刻欄の時刻になると、その行に制御コマンドが指定されていれば、そのコマンドが NSP-1 自体または外部機器に対して実行されます。プレイリストが指定されていれば、そのプレイリストの再生が開始され、再生は次のプレイリストの開始時刻まで続きます。プレイリストのトータルの再生時間のほうが短い場合には、同じプレイリストが繰り返し再生されます。長い場合には、途中で再生が打ち切れ、次のプレイリストの再生が始まります。

開始時間の変更や指定したデータの削除などを行う場合は、希望のセルを右クリックして、表示されるメニューからコマンドを選択してください。

月間カレンダーウィンドウ

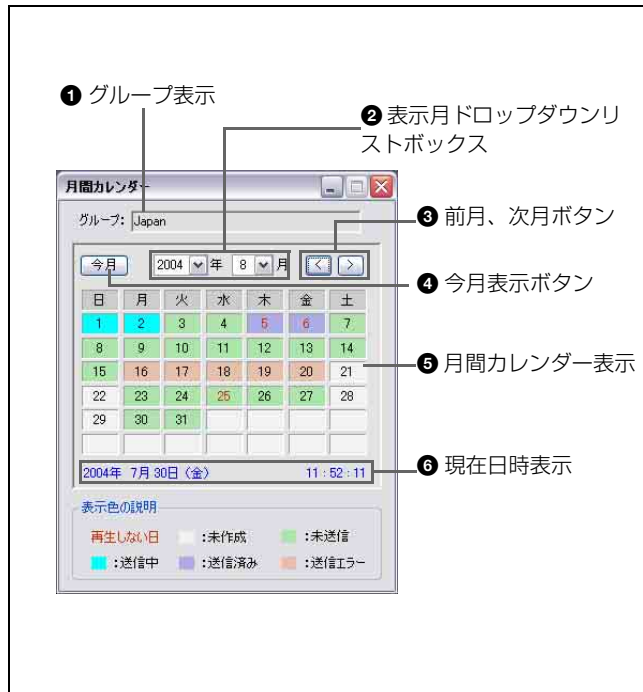
月間カレンダーウィンドウは、メインウィンドウの内部には表示されません。メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンを選択しているときに、メニューバーの[表示]>[月間カレンダー]を選択して[月間カレンダー]にチェックマークをつけると、メインウィンドウとは別のウィンドウとして表示されます。

月間カレンダーウィンドウでは、再生を行う日と行わない日、カレンダーデータの状態を確認することができます。また、ここからカレンダーデータを作成し、NSP-1 に送信することができます。

ご注意

BZNP-D1 のスケジュール作成モードが単独プレイリストまたは複合プレイリストモードの場合は、月間カレンダーウィンドウでは再生を行わない日のデータのみ作成、変更できます。再生を行う日のカレンダーデータの作成や、再生期間の変更などを行うことはできません。

月間カレンダーウィンドウは、NSP-1 のグループに関するデータを表示するウィンドウです。このため、メインウィンドウで NSP-1(リモート制御) オプションボタンを選択して NSP-1 上のデータを表示させると、月間カレンダーウィンドウは自動的に閉じます。



① グループ表示

現在メインウィンドウで選択されているグループの名称が表示されています。月間カレンダーウィンドウには、この

グループのカレンダーデータの状態や、再生を行う日、行わない日が表示されます。

異なるグループのデータを確認するには、メインウィンドウのグループドロップダウンリストボックスで、希望のグループを選択してください。

② 表示月ドロップダウンリストボックス

月間カレンダーの表示月を選択するためのドロップダウンリストボックスです。年および月を選択すると、表示が切り替わります。

③ 前月、次月ボタン

現在表示されている月の、前月または次月を選択します。

④ 今月表示ボタン

クリックすると、他の月の表示になっている月間カレンダーを、今月の表示に戻すことができます。

⑤ 月間カレンダー表示

日付を右クリックして表示されるメニューで、クリックした日のカレンダーデータを作成したり、作成済みのカレンダーデータを NSP-1 に送信することができます。月間カレンダーウィンドウでは、再生を行わない日は赤字、それ以外の日は黒字で表示されます。

また、日付の背景色によって、その日付のカレンダーデータの状態を知ることができます。各背景色の意味については、ウィンドウ下部の説明をご覧ください。カレンダーデータが指定されている日付をマウスでポイントすると、データの詳細がポップアップ表示されます。

⑥ 現在日時表示

現在の日時を表示しています。Windows で指定されている日付の表示形式にかかわらず、常に同じ形式で表示されます。

NSP-1 ステータスウィンドウ

NSP-1 ステータスウィンドウも、メインウィンドウの内部には表示されません。メニューバーの [表示] > [NSP-1 ステータス] を選択して [NSP-1 ステータス] にチェックマークをつけると、メインウィンドウとは別のウィンドウとして表示されます。

NSP-1 ステータスウィンドウには、各 NSP-1 に対して実行中の送信の状態、または最後に行われた送信の結果が表示されます。



NSP-1 ステータスウィンドウの各行の背景色は、次の意味を表しています。

背景色	意味
なし(白)	送信はありませんでした。
水色	現在送信中です。
空色	問題なく送信は完了しています。
赤	送信中にエラーが発生。再送しましたが送信は完了しませんでした。
黄色	NSP-1 のディスクの空き容量が不足しているため、送信を行っていません。 ステータス欄のマークによって、動画・音声部分の容量が不足している () のか、それ以外の部分の容量が不足している () のかわかります。

また、経過欄には送信すべきファイル数のどの程度がすでに送られたかが、再送回数欄には何回の再送を行ったかが表示されます。

最終送信完了日時欄は、最後にその NSP-1 への送信に成功した日時が表示されます。これは、NSP-1 がネットワークに常時接続されているわけではない環境で、いつの時点まで送信が完了しているかを知る目安となるものです。

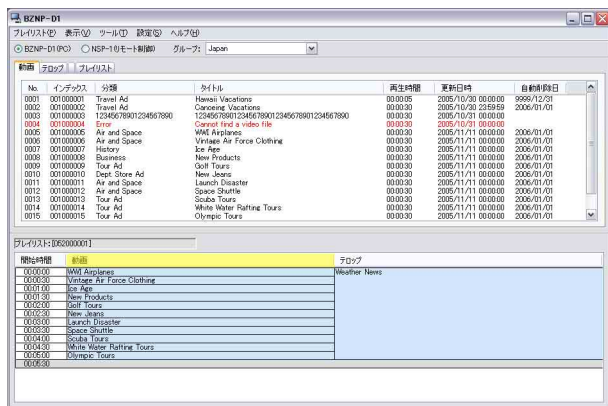
起動と終了

第2章

BZNP-D1 を起動する

- 1 Windows のデスクトップにある BZNP-D1 のショートカットをダブルクリックします。
または、スタートボタンをクリックして、すべてのプログラム、NSP-1 Management、BZNP-D1 を順番に選択します。

BZNP-D1 のメインウィンドウが表示され、BZNP-D1 の操作が行えるようになります。



ご注意

BZNP-D1 をインストールした後、最初に起動した場合は、メインウィンドウの上に、環境設定ダイアログボックスが表示されます。まずこのダイアログボックスで BZNP-D1 の環境設定を、それから導入時に必要なその他の設定を行ってから、操作を始めてください。

- ◆ 環境設定など、導入時に必要な設定については、第3章の「導入時に必要な設定」(20 ページ)をお読みください。

BZNP-D1 を終了する

- 1 BZNP-D1 のメインウィンドウ右上隅にある [×] (閉じる) ボタンをクリックします。

BZNP-D1 のウィンドウが閉じます。

編集中のプレイリストや一日のスケジュールがある場合は、編集中のデータを保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。
必要に応じて保存してください。

ご注意

NSP-1 へのデータ送信中および送信待機中は、BZNP-D1 を終了することはできません。

BZNP-D1 を終了しても、NSP-1 に送信された素材は、指定されているプレイリストと再生スケジュールに従って、自動的に NSP-1 上で再生されます。

導入時に必要な設定

システム導入時に必要な設定項目

システム導入時、BZNP-D1 のインストール後、操作を開始する前には、次の設定が必要です。

- BZNP-D1 の環境設定
BZNP-D1 に用意されている 3 種類のスケジュール作成モードのうちのどれを使用するかを決定します。また、使用するビデオフォーマットを選択し、操作時に不要な素材やレイヤーの表示にわずらわされることがないように、使用する素材だけを選択しておきます。
- ライセンスの追加
BZNP-D1 は、インストールした直後の状態では、NSP-1 を 1 台だけ管理できる BZNP-D1LE として動作します。2 台以上の NSP-1 または複数のグループを管理するには、ライセンス (BZNP-D1 および追加ライセンス) をご購入いただき、お知らせするライセンスキーを追加していただく必要があります。
- 管理を行う NSP-1 の登録とグループの作成
BZNP-D1 は、グループごとに NSP-1 を管理します。ディスプレイの解像度と設置向き (縦置きまたは横置き)、再生内容に応じて NSP-1 のグループを作成してください。
- 画面レイアウトのテンプレートの登録
NSP-1 の解像度とディスプレイの向きに合わせて、画面レイアウト (同時に再生する各素材の画面上での配置) のテンプレートを指定できます。このテンプレートをプレイリスト作成時に選択すると、ここで指定する画面レイアウトで素材を配置できます。

BZNP-D1 には、この他にも、システムの運用に応じた設定項目が用意されています。必要に応じて設定を行ってください。

- ◆ BZNP-D1 のその他の設定について、詳しくは「設定」(76 ページ)をご覧ください。

で注意

NSP-1 と BZNP-D1 の両方に同じ設定項目がある場合は、必ず NSP-1 の設定に合わせて BZNP-D1 の設定を行ってください。BZNP-D1 での設定内容は、NSP-1 には反映されません。

NSP-1 の設定は、Web ブラウザーを使用して行います。詳しくは NSP-1 の取扱説明書をご覧ください。

BZNP-D1 の環境設定

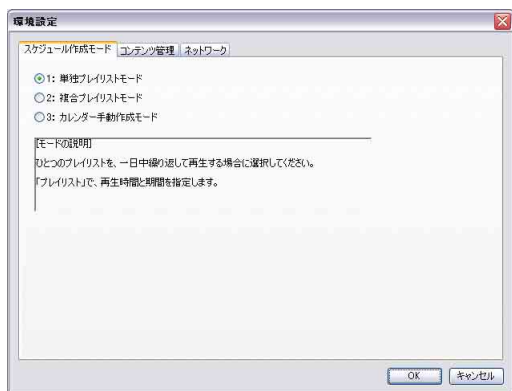
BZNP-D1 に用意されている3種類のスケジュール作成モードのうちのどれを使用するかを決定します。また、使用するビデオフォーマットの選択と使用する素材の選択を行います。使用する素材を選択することで、必要な項目だけを操作ウィンドウに表示することができます。

ヒント

BZNP-D1 をインストールした後、最初に起動した場合は、メインウィンドウの上に、環境設定ダイアログボックスが自動的に表示されます。手順2から操作を始めてください。

- 1 BZNP-D1のメインウィンドウのメニューバーで[設定]>[環境設定]を選択します。

環境設定ダイアログボックスが表示されます。



- 2 スケジュール作成モードパネルが選択されていない場合は、スケジュール作成モードパネルを選択します。
- 3 希望の運用方法に合わせて、3種類のモードのいずれかを選択します。
 - 1: 単独プレイリストモードオプションボタン
ひとつのプレイリストを、一日中繰り返して再生する場合に選択します。
「プレイリスト」で、再生時間と期間を指定します。一日のスケジュールとカレンダーのデータは、作成する必要がありません。
 - 2: 複合プレイリストモードオプションボタン
時刻を指定してディスプレイの電源 On/Off などの制御を行う場合や、時間帯を指定して一日に複数のプレイリストを再生する場合に選択します。

「一日のスケジュール」で、再生期間を指定します。
カレンダーのデータは、作成する必要がありません。

- 3: カレンダー手動作成モードオプションボタン
BZNP-D1 の V2.1 以前と同じように再生スケジュールを指定する場合、および毎月、2週目と4週目に同じ一日のスケジュールを使用する場合など、一日のスケジュールを複数の期間に使用する場合に選択します。

「カレンダー」で再生期間を指定します。

- 4 コンテンツ管理パネルを選択します。
- 5 下記の素材のうち、使用しないものがある場合は、該当するチェックボックスをクリアします。

項目	素材
動画	MPEG2、MPEG4 の動画ファイル、MPEG4 ライブストリーミングビデオ、および NSP-1 の外部入力端子に入力されるビデオ (オーディオを含む)
静止画	BMP および JPEG ファイル
テロップ	BZNP-D1 で作成する文字テロップ
URL	URL で指定する Web ページ
Flash	Macromedia Flash で作成したアニメーションなどのファイル
オーディオ	WAV および MP3 ファイル
制御	NSP-1、プラズマディスプレイなどの外部機器に対する制御コマンド。 プレイリストや一日のスケジュールに組み込んで使用します。

コンテンツ管理ウィンドウには、ここでチェックマークがついている項目だけが表示されます。

例えば動画を使用しない場合は、動画のチェックボックスをクリアして、コンテンツ管理ウィンドウに動画のパネルを表示しないようにできます。

- 6 静止画を一部のレイヤーでのみ使用する場合は、使用しないレイヤーに該当するチェックボックス (背景で使用、グラフィックスで使用、ロゴで使用) をクリアします。
また、同様に制御コマンドをプレイリストまたは一日のスケジュールのどちらかでしか使用しない場合は、使用しないほうのチェックボックス (プレイリストで使用、一日のスケジュールで使用) をクリアし、使用するほうにはチェックマークを付けます。

プレイリストおよび一日のスケジュールウィンドウには、使用する欄だけが表示されます。
例えばプレイリストでは制御コマンドを使用しない場合は、制御の欄のプレイリストで使用するチェックボックスをクリアして、プレイリストに制御の欄を表示しないようにできます。

ただし、グラフィックスとロゴレイヤーは、静止画のほかに Web ページ (URL) と Flash ファイルでも使用されるため、静止画の欄でチェックボックスをクリアしてもプレイリストの欄は表示される場合もあります。

7 動画のビデオフォーマットドロップダウンリストボックスで、使用する動画のフォーマット (通常は NTSC) を選択します。

8 必要な場合は、ベースフォルダを変更します。

- ◆ ベースフォルダは、BZNP-D1 で管理するデータを保存するフォルダです。通常の運用では変更しないでください。詳しくは、「BZNP-D1 の環境設定の項目」 (82 ページ) をご覧ください。

9 [OK] をクリックします。

変更した項目が保存され、環境設定ダイアログボックスが閉じます。

- ◆ 環境設定ダイアログボックスのその他の設定項目については「BZNP-D1 の環境設定の項目」 (82 ページ) をご覧ください。

ライセンスの追加

BZNP-D1 は、インストールした直後の状態では、NSP-1 を 1 台だけ管理できる BZNP-D1LE として動作します。

下記の手順でマスターライセンスキーを入力し、さらに追加ライセンスキーを入力することで、管理する NSP-1 の台数を最大 210 台まで増やしていくことができます。

1 メインウィンドウのメニューバーで [ヘルプ] > [ライセンス設定] を選択します。

ライセンス設定ダイアログボックスが表示されます。



管理できる NSP-1 の台数

2 BZNP-D1 のライセンスキー (マスターライセンスキー) を、マスターライセンステキストボックスに入力します。

BZNP-DP10(10 台追加用)、BZNP-DP50(50 台追加用) などの追加ライセンスのキーを入力する場合は、[ライセンス追加] をクリックし、表示されるライセンス追加ダイアログボックスにライセンスキーを入力して、[OK] をクリックします。

マスターライセンスキーと追加ライセンスキーを同時に入力する場合は、[ライセンス追加] をクリックする前に、マスターライセンスキーを入力してください。

入力したライセンスキーがライセンス設定ダイアログボックスに表示されます。管理できる NSP-1 の台数の表示も変化します。

ヒント

マスターライセンスキーはひとつの BZNP-D1 に一度だけ入力しますが、追加ライセンスキーは複数入力することができます。

複数入力する場合は、手順2を繰り返してください。

- 3 ライセンス設定ダイアログボックスの [OK] をクリックします。

NSP-1 の登録とグループの作成

BZNP-D1 はネットワークを介して NSP-1 を管理します。このため、管理対象の NSP-1 を登録しておく必要があります。NSP-1 側でアクセスをパスワードによって管理している場合は、BZNP-D1 が NSP-1 にアクセスする場合に送るパスワードも指定します。

また、このシステムでは、NSP-1 のグループを作成して、グループ単位でプレイリストや再生スケジュールを作成したり、作成したプレイリストや再生スケジュール、再生する素材を送信したりするため、ここでグループを作成します。1 台の NSP-1 を、複数のグループに所属させることもできます。

ディスプレイの解像度と設置向き (縦置きまたは横置き)、再生内容に応じて NSP-1 のグループを作成してください。

ご注意

BZNP-D1LE では管理する NSP-1 は 1 台だけですが、ディスプレイの設置向きや解像度などを指定するためにグループを作成してください。

- 1 BZNP-D1のメインウィンドウのメニューバーで[設定]>[グループ設定]を選択します。

グループ設定ダイアログボックスが表示されます。



- 2 まず、使用する NSP-1 を登録します。

2-1 [NSP-1 新規作成] をクリックします。

NSP-1 編集ダイアログボックスが表示されます。



- 2-2 NSP-1 につける名称と IP アドレスをそれぞれの欄に入力します。

NSP-1 には出荷時にパスワードが設定されていますが、このパスワードを変更した場合には、パスワード欄およびパスワードの確認欄の両方 (ミスタイプを防ぐため) に変更後のパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

必ず、NSP-1 本体に設定した IP アドレスとパスワードを入力してください。[接続チェック] をクリックすると、入力した IP アドレスへの接続チェックが行われ、結果が表示されます。

- 2-3 手順 2-1 と 2-2 を繰り返して、使用する NSP-1 をすべて登録します。

登録された NSP-1 は、グループ設定ダイアログボックスの NSP-1 のリストに表示されます。

- 3** グループ設定ダイアログボックスに表示される NSP-1 の順番は、データの転送状況の確認などの際の表示順を示しています。必要場合はドラッグ & ドロップ操作で NSP-1 を希望の順に並べ替えておきます。

- 4** 次にグループを作成します。

- 4-1 グループ設定ダイアログボックスの [グループ新規作成] をクリックします。
グループ編集ダイアログボックスが表示されます。



- 4-2 下記の項目を指定して、[OK] をクリックします。
グループ名称: 作成するグループの名称
ディスプレイ解像度: 使用するディスプレイの解像度 (Web ブラウザーを使用して行う NSP-1 のシステム設定で、ディスプレイの設定に「Composite」を選択している場合は、「VGA」を選択してください)

い。)

ディスプレイ設置方向: ディスプレイを縦長に設置する場合は「縦」を選択します。

同一グループ内では、同じ解像度、設置方向で運用を行ってください。

- ◆ グループ編集ダイアログボックスのその他の設定項目については「グループ作成時の設定項目」(87 ページ) をご覧ください。

- 4-3 手順 4-1 と 4-2 を繰り返して、必要なグループをすべて登録します。

登録されたグループは、グループ設定ダイアログボックスのグループのリストに表示されます。

- 5** グループ設定ダイアログボックスに表示されるグループの順番は、ソフトウェアの中で選択肢として表示されるグループの順番を示しています。必要場合はドラッグ & ドロップ操作でグループを希望の順に並べ替えておきます。

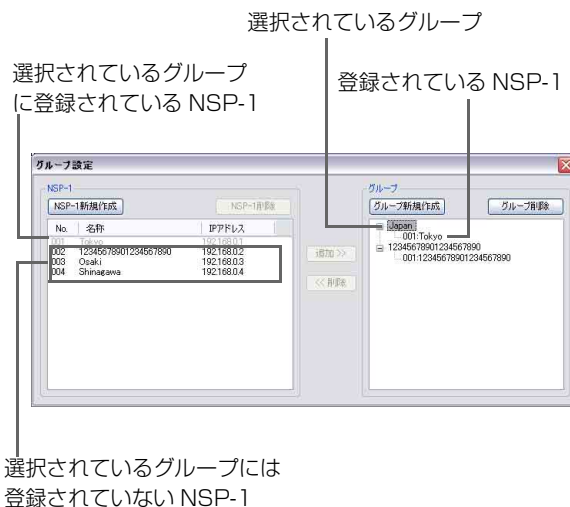
- 6** 手順 2 で登録した NSP-1 を各グループに分けます。

- 6-1 グループのリストで、希望のグループをひとつクリックして選択します。

- 6-2 そのグループに登録する NSP-1 を NSP-1 のリストで選択します。

- 6-3 [追加 >>] をクリックします。

- 6-4 この手順を繰り返して、NSP-1 を各グループに登録します。



- 7** NSP-1 の登録とグループの作成、および NSP-1 のグループへの登録が済んだら、グループ設定ダイアログボックスの右上隅にある [×] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

- ◆ 設定の変更や削除など、詳細な操作については、「NSP-1 およびグループ登録・編集操作の詳細」（84 ページ）をご覧ください。

ご注意

グループのためのプレイリストや再生スケジュールを作成してしまった後にディスプレイの解像度や設置方向を変更することはできません。作成したプレイリストと再生スケジュールをすべて削除してから変更するか、別のグループを作成してください。

また、プレイリストウィンドウおよび一日のスケジュールウィンドウにプレイリストや一日のスケジュールが表示されている場合にも、ディスプレイの解像度や設置方向の変更はできません。[プレイリスト]>[新規作成]、[一日のスケジュール]>[新規作成]を選択してウィンドウをクリアしてから設定を変更してください。

ヒント

NSP-1 モニタリングツールを、BZNP-D1 が動作しているものとは別の PC でお使いになる場合のために、登録、作成した NSP-1 とグループのデータを、ファイルに書き出すことができます。

- ◆ 詳しくは「NSP-1 およびグループのデータをファイルに書き出す」（88 ページ）をご覧ください。

画面レイアウトのテンプレート設定

NSP-1 の解像度とディスプレイの向きに合わせて、画面レイアウト（同時に再生する各素材の画面上での配置）のテンプレートを作成します。プレイリスト作成時にテンプレートを選択することで、ここで指定する画面レイアウトで素材が再生されます。

ヒント

NSP-1 の解像度とディスプレイの向きのそれぞれに対して、50 個までのテンプレートを作成できます。

- 1 BZNP-D1のメインウィンドウのメニューバーで[設定]>[グループ設定]を選択します。

グループ設定ダイアログボックスが表示されます。

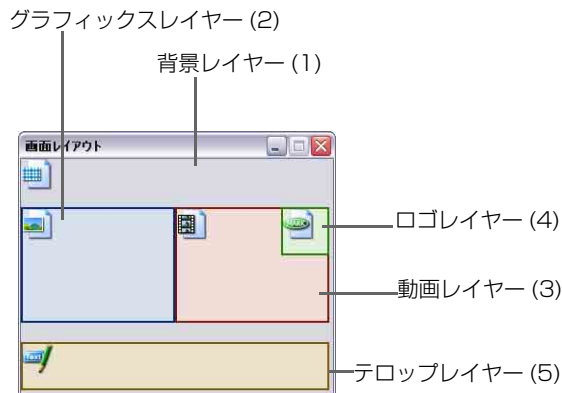


- 2 作成するテンプレートの解像度とディスプレイの向きが指定されているグループをダブルクリックします。または、グループを右クリックして、メニュー上の[グループ変更]を選択します。

グループ編集ダイアログボックスが表示されます。

- 3 [テンプレート設定]をクリックします。

グループに設定されている解像度に応じた大きさの画面レイアウトウィンドウと、その上にテンプレート設定ダイアログボックスが表示されます。



画面レイアウトウィンドウ



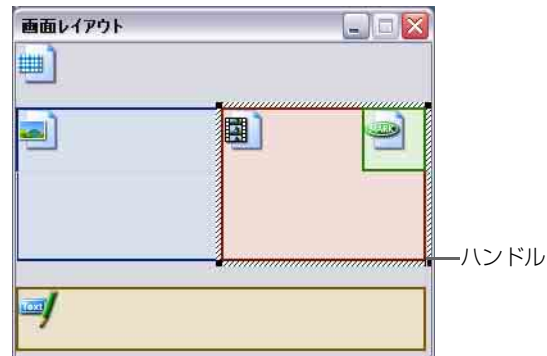
テンプレート設定ダイアログボックス

ヒント

- 上の画面レイアウトウィンドウの図中、各レイヤーの番号は、レイヤーの重なり順を表しています。背景レイヤー (1) が一番奥に、テロップレイヤー (5) が手前に表示されます。
- 画面レイアウトウィンドウのどこかを右クリックすると表示されるメニューにある [50% 表示]、[100% 表示] をクリックして、画面レイアウトウィンドウの大きさを切り替えることができます。

4 レイヤーの大きさと配置を指定します。
次のいずれかの方法で、各レイヤーの位置とサイズを指定してください。

- 画面レイアウトウィンドウでレイヤーを選択し、表示されたレイヤーのハンドルをマウスでドラッグして、希望の位置とサイズにする
テンプレート設定ダイアログボックスのどこかをクリックすると、画面レイアウトウィンドウでのレイヤーの位置とサイズに対応して、該当するレイヤーの設定値が変化します。



- 画面レイアウトウィンドウでレイヤーを選択し、右クリックして表示されるメニューの [フル画面サイズに変更]、[1/4 画面サイズに変更]、[素材の画像サイズに変更] を選択する

[フル画面サイズに変更] および [1/4 画面サイズに変更] は、グラフィックス、動画、ロゴレイヤーに対して使用できます。[素材の画像サイズに変更] が使用できるのは動画レイヤーのみで、素材のサイズによらず、640 × 480 ピクセル (設置方向が縦の場合は 480 × 640 ピクセル) になります。

テンプレート設定ダイアログボックスのどこかをクリックすると、該当するレイヤーの設定値が変化します。

- テンプレート設定ダイアログボックスで、レイヤーの位置とサイズの数値を変更する

各項目の数値を変更して画面レイアウトウィンドウのどこかをクリックすると、該当するレイヤーの表示も変化します。

- グラフィックス、動画、ロゴレイヤーについては、素材の縦横比保持チェックボックスにチェックマークをつけることで、プレイリストで画面のレイアウトを変更する際に、素材の縦横比を変えないようにすることができます。

ただし、動画以外のレイヤーでは、実際に素材の縦横比を保持して表示させるには、プレイリスト上で画面のレイアウトの変更操作を行う必要があります。変更操作をしなければ、素材の縦横比によらず、レイヤーのサイズで表示されます。また、グラフィックスレイヤーに URL で指定する Web ページについては、素材の画像サイズが取得できないため、素材の縦横比保持の機能は適用されません。

動画の場合は、素材のサイズによらず、4:3 (ディスプレイの設置方向が縦の場合は 3:4) となります。

- 5** テンプレート設定ダイアログボックスで [追加] をクリックし、テンプレートドロップダウンリストボックスに新しく追加された行にテンプレートの名称を入力します。

レイアウト設定がテンプレートとして保存されます。

6 [OK] をクリックします。

画面レイアウトウィンドウとテンプレート設定ダイアログボックスが閉じます。

- ## 7
- 他の解像度やディスプレイの向きを設定してあるNSP-1のグループがある場合は、手順2に戻って設定を行います。
- 同じ解像度とディスプレイの向きのグループに別のテンプレートを作成する場合は、手順3に戻ります。

で注意

- レイヤーの重なり順を変更することはできません。
 - 背景レイヤーは、常にフル画面表示になります。
 - NSP-1での各レイヤーの配置やサイズには、さまざまな制限があります。プレイリスト作成後は、意図したとおりに表示されるかどうか、必ずNSP-1を使用してプレビューを行って確認してください。
- ◆ プレビューの方法については、「再生の確認 (NSP-1でのプレビュー)」(51ページ)をご覧ください。

日常の操作

第4章

素材の準備

BZNP-D1 は、次のコンテンツを再生の素材として扱います。

他のアプリケーションで作成した素材

- 動画 (MPEG4 ストリーミングビデオのアナウンス (SDP) ファイルを含む)
- 静止画
- Flash ファイル
- オーディオ

他のアプリケーションで作成したファイルを、素材として BZNP-D1 に登録します。

- ◆ 使用できるファイルの詳細な仕様については、付属の SpecsJ.htm というファイルの内容をご覧ください。

BZNP-D1 で作成する素材

- テロップ

テロップは、BZNP-D1 上で色や書体、文字の大きさなどを指定して作成します。テキストファイルを元に作成することができます。

ヒント

ビットマップファイルをテロップ素材として登録することもできます。特殊な効果などをつけた文字をテロップとして使用したい場合に便利です。

その他

- Web ページ
- 制御コマンド

Web ページは、URL を素材として登録します。

NSP-1 や NSP-1 に接続されているソニーの業務用プラズマディスプレイなどへの主な制御コマンドは、あらかじめ用意されていますが、他の制御コマンドも登録することができます。

動画、静止画、Flash およびオーディオファイルを登録する

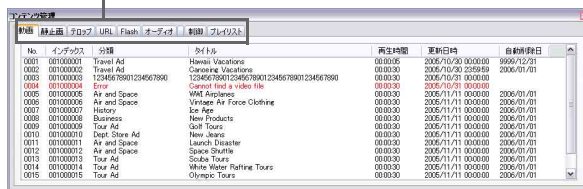
他のアプリケーションソフトウェアなどで作成したファイルを BZNP-D1 に登録します。

ご注意

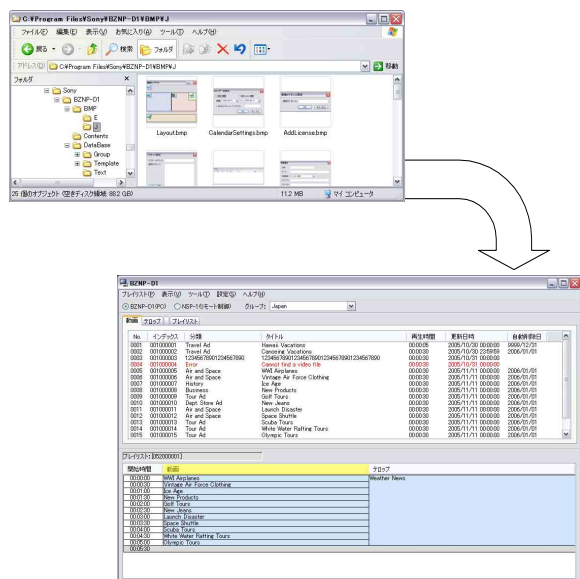
下記の操作ではタイトルなどとともに、素材ファイル (実ファイル) が保存されている場所が登録されます。登録後に実ファイルを別のフォルダなどに移動したり、実ファイルを編集したりしないでください。NSP-1 に送信できなくなり、再生に影響が出る可能性があります。また、CD や DVD などに記録されている素材を登録する場合は、PC やネットワーク上のハードディスクドライブにコピーしてから登録することをお勧めします。CD や DVD から直接登録すると、お使いのドライブによってはファイルの読み出し時にエラーが発生し、送信できない場合があります。

- 1 Windows エクスプローラのウィンドウが表示されていない場合は、メニューバーで [ツール] > [エクスプローラの起動] を選択して起動します。
- 2 エクスプローラのウィンドウで、登録しようとしているファイルが保存されているフォルダを表示させます。
- 3 BZNP-D1 のコンテンツ管理ウィンドウで、登録しようとしているファイルの種類に応じたパネルを選択します。

素材のコンテンツ選択ボタン



- 4** 登録するファイルを選択します。
同じ種類のファイルであれば、複数のファイルを同時に登録できます。複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながら、ファイルを順番にクリックします。ある範囲のファイルをすべて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のファイルを選択します。
- 5** エクスプローラから BZNP-D1 のウィンドウへ、選択したファイルをドラッグ & ドロップ操作で移動させます。



コンテンツ管理ウィンドウに新しい素材が表示されます。
登録したファイルの名称がタイトルになります。更新日時欄には、ファイルを BZNP-D1 に登録した日時が表示されます。

- 6** 必要場合は、登録した素材の分類、タイトルを編集します。
登録した素材を選択した状態で分類欄またはタイトル欄をクリックし、希望の分類 (20 文字まで)、タイトル (40 文字まで) を入力して Enter キーを押してください。

外部から NSP-1 に入力されるビデオ、オーディオ信号を使用する場合

NSP-1 には、外部から VIDEO IN、AUDIO IN 端子に入力されたビデオ、オーディオ信号を動画の素材と同じように出力する機能があり、ライブ中継の映像やテレビ番組などをプレイリストに組み込んで再生を行うことができます。NSP-1 に入力される信号をそのまま表示するだけなので、NSP-1 および BZNP-D1 では、このような外部入力のビデオ・オーディオ信号は、素材としては扱いません。外部入力のビデオ、オーディオ信号を使用する場合は、直接、プレイリストに動画のイベントとして登録してください。

- ◆ プレイリストへの登録について詳しくは、「NSP-1 への外部入力を動画のイベントとして追加するには」(45 ページ) をご覧ください。

MPEG4 ストリーミングビデオのアナウンスファイル (SDP ファイル) の登録について

NSP-1 および BZNP-D1 は、MPEG4 のライブストリーミングビデオをサポートしています。通常の動画素材はプレイリスト上に指定すると先頭から再生が開始されますが、ライブストリーミングビデオは、ストリーミングサーバーでそのときに放送されているコンテンツが、NSP-1 の VIDEO IN・AUDIO IN 端子に入力されるビデオとオーディオのように NSP-1 上で再生されるものです。ストリーミングビデオを動画素材として登録するには、次の操作が必要です。

- 1** アナウンスファイル (SDP ファイル: 拡張子は .m4e または .sdp) を、コンテンツ管理ウィンドウの動画パネルにドラッグ & ドロップ操作で追加します。
- ◆ アナウンスファイルの取得については、接続する機種により異なりますので、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口にお問い合わせください。

分類欄が Live Streaming となっている動画素材がコンテンツ管理ウィンドウに表示されます。再生時間は「00:00:00」となります。

- 2** 素材として再生時間を指定する場合は、素材を選択した状態で再生時間欄をクリックして、指定します。素材としての再生時間は「00:00:00」としておき、プレイリストにイベントとして追加してからイベントの長さを指定することもできます。

動画および Flash ファイルの再生時間を変更するには

動画や Flash ファイルをコンテンツ管理ウィンドウにドロップすると、BZNP-D1 が認識した素材の長さが再生時間欄に表示されます。この再生時間は、タイトルなどと同様に、素材を選択した状態で再生時間欄をクリックすることで変更できます。

素材の再生時間の変更は、次のような理由で BZNP-D1 が認識した素材の長さが実際の長さとはずれてしまう場合に便利です。

- 再生時間が「00:00:00」と表示される場合
BZNP-D1 が動作している PC に DirectShow フィルターがインストールされていない場合、また、Flash ファイルを作成した条件によっては、動画や Flash ファイルの長さを認識できない場合があります。
- ファイルの最後が切れてしまう場合
BZNP-D1 は、素材を秒単位で扱うため、実際の再生時間に 1 秒未満の端数があると、最後まで再生されない場合があります。
そのような場合は素材の再生時間を延ばすことで、最後まで再生されるようになります。
ただし、最後にフリーズ画が表示される場合があります。
また、素材の再生時間を 00:00:00 にしたままプレイリストに登録することもできます。この場合、イベントの長さとして最低再生時間の 00:00:05 が設定されますので、プレイリスト上で変更してください。

ご注意

DirectShow フィルターがインストールされていない場合、BZNP-D1 は、登録される動画の再生時間のデータの他に、ビデオ信号 (NTSC または PAL) と画像サイズのデータも取得できません。また、MPEG4 のファイルでは、DirectShow フィルターがインストールされていても、ビデオ信号が認識できません。
登録した動画とシステムのビデオ信号が一致しない場合には、正常に再生を行うことができませんので、ご注意ください。

素材を確認するには

登録した素材の内容は PC 上で確認することも、一度 NSP-1 に送信し、NSP-1 上で再生して確認することもできます。

- ◆ PC 上での確認の手順については、「PC 上で素材を確認 (プレビュー) する」(37 ページ) をご覧ください。
NSP-1 に送信して確認する手順については、「再生の確認 (NSP-1 でのプレビュー)」(51 ページ) をご覧ください。

素材を削除するには

まちがったファイルを素材として登録してしまった場合など、コンテンツ管理ウィンドウに表示されている素材を削除するには、削除したい素材を右クリックして、表示されるメニューの [削除] を選択します。

または、削除したい素材を選択して、キーボードの Delete キーを押します。

確認のメッセージが表示されますので、[はい] をクリックしてください。

ご注意

動画、静止画、Flash、オーディオの各ファイルに対して行う場合、この削除の操作では、素材としての登録だけが削除されます。ファイル自体は削除されませんので、必要な場合は Windows エクスプローラなどで削除してください。

テロップを作成する

テロップを作成するには、表示させる文字列と、表示色、フォント、文字の大きさ、表示効果などを指定します。

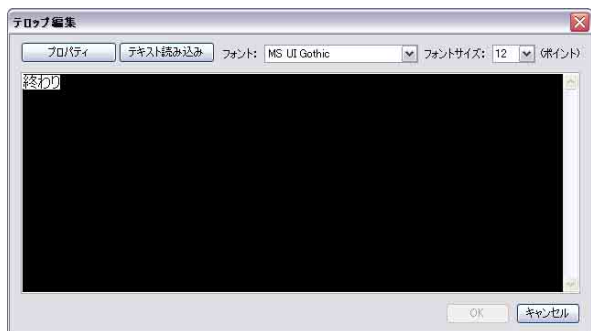
ヒント

文字列の代わりにビットマップファイルをテロップ素材として登録することもできます。

◆ 詳しくは「ビットマップファイルをテロップ素材として登録する」(33 ページ)をご覧ください。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウでテロップパネルを選択します。
- 2 テロップパネルのどこかを右クリックし、表示されるメニューの[新規作成]を選択します。

テロップ編集ダイアログボックスが表示されます。



- 3 [プロパティ]をクリックして、プロパティ(テロップ編集)ダイアログボックスを表示させます。



- 4 作成するテロップのプロパティを指定して、[OK]をクリックします。

項目	説明
分類	作成するテロップ素材の分類(20 文字まで)。
タイトル	作成するテロップ素材のタイトル(40 文字まで)。タイトルを指定しない場合は、テロップの先頭から 40 文字がタイトルとなります。分類とタイトルで各素材を識別します。
表示効果	テロップを表示する際の効果を次から選択します。 常時: 文字列を効果をつけずに表示します。 点滅: 文字列が点滅表示されます。 スクロール: 画面の右から左へ指定した文字列をスクロールして表示します。
スクロール速度	表示効果にスクロールを選択した場合は、スクロールの速度を選択します。 で注意 BZNP-D1 のバージョン 1.0 とバージョン 2.0 以降では、スクロール速度が異なっています。
基本の文字色	正方形の色が現在選択されている文字色を表しています。[文字色の変更]をクリックし、色の設定ダイアログボックスでテロップの文字の色を選択します。 すでに入力してある文字を別の色にする場合は、テロップ編集ダイアログボックスで文字を右クリックして変更します。
背景色	正方形の色が現在選択されている背景色を表しています。[背景色の変更]をクリックし、色の設定ダイアログボックスで背景色を選択します。 背景色は部分的に変更することはできません。

プロパティ(テロップ編集)ダイアログボックスが閉じます。

- 5 テロップ編集ダイアログボックスのフォントドロップダウンリストボックスとフォントサイズドロップダウンリストボックスで、希望の文字フォントとサイズを選択します。
- 6 テロップの内容を入力します。
ワードプロセッサのアプリケーションプログラムなどから文字をコピーしておいて、テロップ編集ダイアログボックスで Ctrl + V キーを押して、コピーした文字を貼り付けることもできます。
テロップの内容が保存されているテキストファイルがある場合は、[テキスト読み込み]をクリックして、ファイルを指定してください。
- 7 [OK]をクリックします。

新しく作成したテロップのデータがコンテンツ管理ウィンドウに表示されます。

入力したテロップの文字色を変えるには

テロップの文字色は、プロパティ (テロップ編集) ダイアログボックスの [文字色の変更] をクリックして指定しますが、次の手順ですでに入力してあるテロップの一部分または全部を他の色にすることができます。

- 1 テロップ編集ダイアログボックスでテロップの内容を入力してから、マウスをドラッグして希望の部分を選択し、右クリックします。
- 2 表示されるメニューで [文字色の変更] を選択します。

テロップの色の設定ダイアログボックスが表示されます。

- 3 テロップの色の設定ダイアログボックスで希望の色を選択して、[OK] をクリックします。

ヒント

テロップの色の設定ダイアログボックスに表示されている色は、[色の変更] をクリックして他の色と入れ替えることができます。

テロップの文字を太字、斜体、下線付きなどにするには

テロップの一部分または全部を太字や斜体、下線付きにすることができます。

- 1 テロップ編集ダイアログボックスでテロップの内容を入力してから、マウスをドラッグして希望の部分を選択し、右クリックします。
- 2 表示されるメニューで [書式] をクリックし、その横に表示されるメニューで希望の書式をクリックします。一度設定した属性を解除する場合は、同じように解除したい属性 (チェックマークが付いています) をクリックするか、または「標準」を選択してください。

ご注意

ひとつのテロップの中で複数のフォント (種類およびサイズ) を使用することはできません。

テロップを変更するには

コンテンツ管理ウィンドウで、変更したいテロップのデータを右クリックし、メニュー上の [編集] をクリックすると、そのテロップのデータが入ったテロップ編集ダイアログボックスが表示されます。内容などを変更して、[OK] をクリックします。

分類およびタイトルを変更する場合は、コンテンツ管理ウィンドウで希望の素材を選択した状態で、分類欄またはタイトル欄をクリックすると、編集を行えるようになります。入力、編集を行ったら、Enter キーを押します。

ご注意

BZNP-D1 のバージョン 1.0 とバージョン 2.0 以降では、スクロール速度が異なります。

バージョン 1.0 で作成したスクロールするテロップをバージョン 2.0 以降で編集すると、スクロール速度は自動的に「遅い」 (バージョン 1.0 の「普通」と同等) に変更されますのでご注意ください。

必要な場合は、プロパティ (テロップ編集) ダイアログボックスの [スクロール速度] で希望の速度を選択してください。

テロップを確認するには

作成したテロップは、NSP-1 に送信し、NSP-1 上で再生して確認することができます。

- ◆ NSP-1 に送信して確認する手順については、「再生の確認 (NSP-1 でのプレビュー)」 (51 ページ) をご覧ください。

テロップを削除するには

コンテンツ管理ウィンドウに表示されているテロップを削除するには、削除したいテロップを右クリックして、表示されるメニューの [削除] を選択します。

または、削除したいテロップを選択して、キーボードの Delete キーを押します。

確認のメッセージが表示されますので、[はい] をクリックしてください。

ビットマップファイルをテロップ素材として登録する

文字列を入力する代わりに、下記の手順でビットマップファイルをテロップ素材として登録することもできます。特殊な効果をつけた文字などをテロップとして使用したい場合に便利です。

で注意

テロップ素材として登録できるビットマップファイルには、静止画素材として登録する場合とは異なる制限があります。また、NSP-1 で透過色に指定されている色を使用している部分は、必ず透過になりますのでご注意ください。

◆ ビットマップファイルの制限などについて詳しくは、付属の SpecsJ.htm ファイルの内容をご覧ください。

- 1 Windows エクスプローラのウィンドウが表示されていない場合は、メニューバーで[ツール]>[エクスプローラの起動]を選択して起動します。
- 2 エクスプローラのウィンドウで、登録しようとしているビットマップファイルが保存されているフォルダを表示させます。
- 3 BZNP-D1 のコンテンツ管理ウィンドウで、テロップパネルを選択します。
- 4 登録するビットマップファイルを選択します。
複数のファイルを同時に登録できます。複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながら、ファイルを順番にクリックします。ある範囲のファイルをすべて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のファイルを選択します。
- 5 エクスプローラから BZNP-D1 のウィンドウへ、選択したファイルをドラッグ & ドロップ操作で移動させます。

コンテンツ管理ウィンドウに新しい素材が表示されます。

登録したファイルの名称がタイトルになります。更新日時欄には、ファイルを BZNP-D1 に登録した日時が表示されます。

- 6 登録したテロップを個別に右クリックして、表示されるメニューの[編集]をクリックします。

テロップ編集ダイアログボックスが表示されます。

- 7 [プロパティ]をクリックし、プロパティ(テロップ編集)ダイアログボックスで必要に応じて次の項目を指定して、[OK]をクリックします。

項目	説明
分類	登録したテロップの分類 (20 文字まで)。
タイトル	登録したテロップのタイトル (40 文字まで)。 分類とタイトルで各素材を識別します。
表示効果	テロップを表示する際の効果を次から選択します。 常時: 効果をつけずに表示します。 点滅: 点滅表示されます。 スクロール: 画面の右から左へスクロールして表示します。
スクロール速度	表示効果にスクロールを選択した場合は、スクロールの速度を選択します。 で注意 BZNP-D1 のバージョン 1.0 とバージョン 2.0 以降では、スクロール速度が異なります。

プロパティ(テロップ編集)ダイアログボックスが閉じます。

- 8 テキスト編集ダイアログボックスで[OK]をクリックします。
- 9 手順6 から8 を繰り返して、登録したテロップ素材のプロパティを指定します。

で注意

ビットマップファイルを登録して作成したテロップを編集する場合、変更できるのはプロパティ(テロップ編集)ダイアログボックス内の項目のみです。使用するビットマップファイルを変更する場合は、新しいテロップとして作成してください。

登録したテロップを NSP-1 に送信して NSP-1 上で再生して確認することや、テロップを削除することなどは、文字列のテロップ素材と同様に行えます。

Web ページの URL を登録する

NSP-1 での再生内容の一部として Web ページを使用することができます。Web ページを使用するには、下記の手順で希望の Web ページの URL を登録しておき、URL を素材として指定します。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで URL パネルを選択します。
- 2 URL パネルのどこかを右クリックし、表示されるメニューの [新規作成] を選択します。

URL パネルのリストに行が追加され、URL が入力できる状態になります。
- 3 希望の URL (「http://」なども含めて 255 文字まで) を入力して、Enter キーを押します。
Web ブラウザーなどから URL をコピーしておき、ここで Ctrl+V を押して貼り付けることもできます。
- 4 必要な場合は、登録した Web ページの分類、タイトルを編集します。
登録した Web ページを選択した状態で分類欄またはタイトル欄をクリックし、希望の分類 (20 文字まで)、タイトル (40 文字まで) を入力して Enter キーを押してください。

Web ページの一部分だけを素材として登録するには

Web ページの素材のために「シフト位置調整」コマンドが用意されています。

これは、Web ページの左上隅の原点を移動させ、メニューなどを除いてメインの表示領域のみを表示させたい場合に使用します。例えば、縦、横のシフトの値として 100 ピクセルをそれぞれ指定すると、Web ページの左端と上から 100 ピクセルを切り落とした状態で、表示させることができます。



- 1 コンテンツ管理ウィンドウの URL パネルで、シフト位置を指定する URL のデータを右クリックし、表示されるメニューの [シフト位置調整] をクリックします。

シフト位置調整のダイアログボックスが表示されます。



- 2 表示部分のオフセット値 (単位: ピクセル) を入力して [OK] をクリックします。

ご注意

Web ページの表示領域が NSP-1 で表示するグラフィックスのレイヤーのサイズよりも大きい場合にのみ、Web ページの表示領域の範囲でシフトさせることができます。
例えば、Web ページの幅と高さがそれぞれ 400 ピクセルでグラフィックスのレイヤーの幅と高さがそれぞれ 300 ピクセルである場合、シフト位置調整ダイアログボックスにもっと大きな値を設定したとしても、シフトするのは横、縦とも 100 ピクセルまでです。希望の位置までシフトしない場合は、プレイリストでグラフィックスのレイヤーを小さくしてください。

また、フレーム構成の URL を素材として指定した場合はシフトしません。HTML の構文上の問題ですので、位置調整したいフレームの URL を指定してください。

URL を変更するには

コンテンツ管理ウィンドウで変更したい URL を選択した状態で、分類欄、タイトル欄、またはアドレス欄をクリックすると、編集を行えるようになります。入力、編集を行ったら、Enter キーを押します。

登録した URL の Web ページを確認するには

コンテンツ管理ウィンドウで、登録した URL のデータをダブルクリックすると、Internet Explorer や Netscape Navigator など、Windows で Web ページを表示するプログラムとして選択されている Web ブラウザーが自動的に開き、登録されている URL の Web ページを確認できます。また、登録した URL を NSP-1 に送信し、NSP-1 上で確認することもできます。

- ◆ PC 上での確認の手順については、「PC 上で素材を確認 (プレビュー) する」(37 ページ) をご覧ください。
NSP-1 に送信して確認する手順については、「再生の確認 (NSP-1 でのプレビュー)」(51 ページ) をご覧ください。

登録した URL を削除するには

コンテンツ管理ウィンドウに表示されている URL のデータを削除するには、削除したいデータを右クリックして、表示されるメニューの[削除]を選択します。

または、削除したいデータを選択して、キーボードの Delete キーを押します。

確認のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックしてください。

制御コマンドを追加登録する

NSP-1 に制御コマンドを送信することで、次のように機器を制御することができます。

- プラズマディスプレイやプロジェクターなどの外部機器を RS-232C 経由で制御する
- NSP-1 自体のオーディオレベルを制御する
- GPI (General Purpose Interface) パルスを出力することによって、外部機器を制御する

このような制御コマンドは、プレイリストの中および一日のスケジュールに指定することができます。

また、直接 NSP-1 に送信して、NSP-1 および外部機器の制御にも使用できます。

NSP-1 のオーディオレベルおよびソニーの業務用プラズマディスプレイで動作確認済みのモデルに対する電源 ON/OFF の制御コマンド、また、NSP-1 の GPI ポートの 1～5 に単独でパルスを出力するための制御コマンドは、BZNP-D1 出荷時にすでに登録されています。下記の手順で、その他の制御コマンドを追加登録できます。

で注意

- ソニー製のプラズマディスプレイの制御コマンドについては、各ディスプレイのプロトコルマニュアルを参照してください。プロトコルマニュアルについては、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口にお問い合わせください。
- 他社のディスプレイなどの機器の制御コマンドについては、発売元にお問い合わせください。
- インデックスの下 6 桁が 999000 以上になっている、出荷時に登録済みのサンプルの制御コマンドは削除できません。編集を行った場合は、別のインデックスの制御コマンドとして保存されます。

1 コンテンツ管理ウィンドウで制御パネルを選択します。

2 制御パネルのどこかを右クリックし、表示されるメニューの[新規作成]を選択します。

制御編集ダイアログボックスが表示されます。

制御編集

分類:

タイトル:

制御種類: RS-232C 制御

パラメータ1:

パラメータ2:

OK キャンセル

- 3 制御編集ダイアログボックスで、下記の項目を指定して、[OK] をクリックします。

項目	説明
分類	作成する制御コマンドの分類 (20 文字まで)。
タイトル	作成する制御コマンドのタイトル (40 文字まで)。 分類とタイトルで制御コマンドを識別します。
制御種類	制御対象を次から選択します。 NSP-1 オーディオ出力制御：NSP-1 のオーディオレベルを制御する場合に選択します。 RS-232C 制御：プラズマディスプレイ、プロジェクターなど、NSP-1 の RS-232C コネクターに接続された機器を制御する場合に選択します。 GPI 出力制御：NSP-1 から GPI (General Purpose Interface) パルスを出力して、接続された機器を制御する場合に選択します。
パラメータ 1、 パラメータ 2	希望の制御に対するデータを指定します。 NSP-1 オーディオ出力制御：パラメータ 1 には、希望のオーディオレベル (0 ~ 100%) の数値を指定します。パラメータ 2 は使用しません。 RS-232C 制御：パラメータ 1 には、送信する 16 進数のデータを入力します。パラメータ 2 には通常、送信したデータに対して ACK として返送される受信データとなる 16 進数のデータを指定します。指定したデータと受信データが一致しない場合は、NSP-1 のエラーログに記録されます。 接続されている機器から ACK などの応答が期待できない場合は、パラメータ 2 は空欄にしてください。データが入力されていると、機器からのデータを NSP-1 が受信するまでリトライし続けるため、運用に影響が出る場合があります。 どちらも 0 を省略せずに 2 桁ずつスペースで区切ってデータを指定してください。 GPI 出力制御：パラメータ 1 には、パルスを出力するポートのビット OR となるような 16 進数 (00 ~ 1F) を指定します。サンプルファイルにもあるように、GPI-Out の 1 に単独でパルスを出力する場合は「01」、以降順番に 02、04、08、10 となります。また複数のポートに同時にパルスを出すには、各値の和を指定します。例えば GPI-Out の 1 と 2 にパルスを出す場合は「03」を指定します。 パラメータ 2 には、出力する GPI パルスの幅 (10 ~ 2000 で 10msec で入力してください) を指定します。また、0 を指定すると、NSP-1 に設定されている幅 (初期値は 100msec) でパルスが出力されます。

制御編集ダイアログボックスが閉じます。

コンテンツ管理ウィンドウに新しい制御コマンドが表示されます。

制御コマンドを変更するには

コンテンツ管理ウィンドウで、変更したい制御コマンドのデータを右クリックし、メニュー上の [編集] をクリックすると、その制御コマンドのデータが入った制御編集ダイアログボックスが表示されます。内容などを変更して、[OK] をクリックします。

分類およびタイトルを変更する場合は、コンテンツ管理ウィンドウで希望の素材を選択した状態で、分類欄またはタイトル欄をクリックすると、編集を行えるようになります。入力、編集を行ったら、Enter キーを押します。

制御コマンドを確認するには

作成した制御コマンドは、NSP-1 に送信し NSP-1 上で実行して確認することができます。

- ◆ NSP-1 に送信して確認する手順については、「再生の確認 (NSP-1 でのプレビュー)」(51 ページ) をご覧ください。

制御コマンドを削除するには

コンテンツ管理ウィンドウに表示されている制御コマンドを削除するには、削除したい制御コマンドを右クリックして、表示されるメニューの [削除] を選択します。

または、削除したい制御コマンドを選択して、キーボードの Delete キーを押します。

確認のメッセージが表示されますので、[はい] をクリックしてください。

PC 上で素材を確認 (プレビュー) する

下記の素材は、PC 上でプレビューを行い、内容を確認することができます。プレビューには、素材の種類に応じて Windows で関連付けられたソフトウェアが使用されます。

ご注意

素材の種類によっては、プレビューを行うために DirectShow フィルターなどプラグインのソフトウェアを別途インストールする必要がある場合があります。

素材	使用されるソフトウェア
動画	Windows Media Player などのビデオプレーヤー
静止画	Windows の画像と Fax ビューアなどの画像ビューアー
URL	Internet Explorer などの Web ブラウザー
Flash	Macromedia Flash Player
オーディオ	Windows Media Player などのオーディオプレーヤー

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、プレビューを行う素材のパネルを選択します。
- 2 プレビューを行う素材をダブルクリックします。

Windows で素材の種類に関連付けられているソフトウェアのウィンドウが新たに開いて、素材が再生されます。

ご注意

PC 上でのプレビューは、NSP-1 上での実際の再生と異なる場合がありますのでご注意ください。

より正確に確認するためには、実際に NSP-1 にデータを送信して NSP-1 上でプレビューを行うことをお勧めします。

- ◆ NSP-1 上でのプレビューの方法については、「再生の確認 (NSP-1 でのプレビュー)」(51 ページ) をご覧ください。

プレイリストの作成

NSP-1 で再生を行うには、素材の他に、どのような組み合わせと順番で素材の再生を行うかを指定した「プレイリスト」を作成します。

また、BZNP-D1 のスケジュール作成モードによっては、どの日のどの時間帯に何を再生するかを指定した「再生スケジュール」も作成します。

◆ 再生スケジュールについて詳しくは、「再生スケジュールとは」(57 ページ)をご覧ください。

プレイリストとは？

NSP-1 には、6つのレイヤー(表示層)があり、BZNP-D1 が扱う6種類の素材は、それぞれ決められたレイヤー上で再生されます。

「プレイリスト」は、NSP-1 のレイヤーごとの素材の再生順を指定したリストです。NSP-1 はこのリストに従って、自動的に各レイヤー上で再生を行います。プレイリスト上で同一の行に並んで指定されている素材は、NSP-1 上で重ねあわされて、同時に再生されます。この時の各素材の配置は、「レイアウト」として指定し、プレイリストに保存します。

再生順

下の図は、プレイリストの例を示しています。

開始時間	NSP-1 上のレイヤー					
	背景	グラフィックス	動画	ロゴ	テロップ	オーディオ
0000:00	Tour	Product TV	Scuba Tours	Sony Logo	Weather News	ESPN NEWS
0000:30			Space Shuttle			
0001:00			Launch Disaster			
0001:14			New Jeans			
0001:30			Golf Tours			
0002:00			New Products			
0002:30			Ice Age			
0003:00			Vintage Air For			
0003:30			WWII Airplanes			
0004:00			Canoeing Vacat			
0004:30		News	Hawaii Vacation			
0004:40						
0004:45						

再生順

レイアウト設定

左端に開始時間欄があり、各行の開始時間がプレイリストの再生がスタートしてからの経過時間で表示されます。その右に各レイヤーで再生されるイベント(素材)が並びます。再生させたい素材をプレイリストに指定したものを「イベント」と呼びます。イベントが指定されている部分の背景色は空色になります。同じ行に横並びに指定されているイベントは、指定されている開始時間に同時に再生開始となります。

レイアウト設定

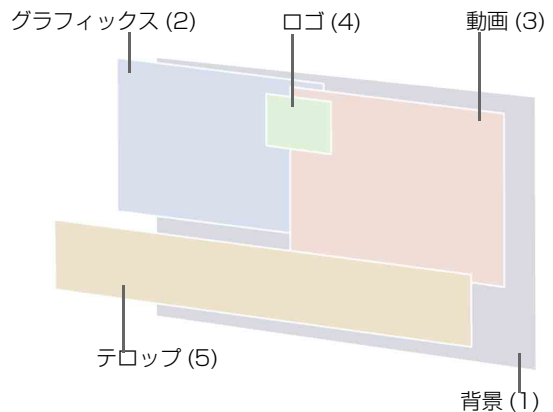
前の図で横に並んでいるイベントの素材を画面上にどのように配置するかを指定するのが、「レイアウト設定」です。

下の表は、NSP-1 のレイヤーと、そこで再生される素材を示しています。

静止画素材が、背景、グラフィックス、ロゴのどのレイヤーでも再生可能であることや、Web ページや Flash ファイルがグラフィックスレイヤー上で再生されることにご注意ください。

レイヤー	再生される素材
背景	静止画
グラフィックス	静止画、URL(Web ページ)、Flash ファイル 動画の奥に表示されます。
動画	動画、MPEG4 ストリーミングビデオ、NSP-1 の外部入力端子に入力されるビデオ(オーディオを含む)
ロゴ	静止画(動画の手前に表示されます)
テロップ	テロップ
オーディオ	オーディオ

再生時、各レイヤー(オーディオレイヤーを除く)は、NSP-1 上で次の順序で重ね合わされます。



イベントが存在しているプレイリストのいずれかの行を右クリック(オーディオレイヤー部分を除く)すると表示されるメニューのレイアウトの変更コマンドで、各レイヤー上の素材の位置を指定できます。

で注意

レイヤーの重ね順は変更できません。

背景、グラフィックス、ロゴレイヤーの違い

背景、グラフィックス、ロゴの各レイヤーは、どれも静止画素材を表示させることができ、使用目的によって使い分けます。

背景レイヤーは、前の図でもわかるとおり、最背面にあって、壁紙などの静止画を表示するためにあります。選択する静止画素材のサイズに関わらず、常にスクリーン全体に表示されます。

グラフィックスレイヤーは、一般的な静止画、Web ページを表示させるためにあります。動画レイヤーよりも奥にあり、Flash ファイルもここで再生されます。

ロゴレイヤーはロゴマークなどを常に画面上に表示させておくためなどに使用する、背景色を透過させることのできるレイヤーで、動画レイヤーよりも手前に表示されます。

テンプレートについて

イベントひとつひとつにレイアウト設定を行う手間を省くために、BZNP-D1 には「テンプレート」が用意されています。テンプレートはレイヤーの配置に名前を付けて保存するもので、プレイリストを作成する際には、素材を指定するときに選択されているテンプレートの情報に従って素材の位置やサイズの情報が自動的にプレイリストに指定されます。テンプレートによって各レイヤー上の素材の配置を簡単に指定でき、異なるプレイリストでレイアウトを揃える場合などにも便利です。

テンプレートによって指定された各素材の位置やサイズは、後で個別に調整することができます。

◆ テンプレートの作成については、「画面レイアウトのテンプレート設定」(25 ページ)をご覧ください。

レイアウト設定の例外について

テンプレートをそのまま使用した場合にも個別にレイアウトを調整した場合にも、次の例外があります。

- テロップレイヤーに表示される素材は、レイアウトの指定に関わらず素材の大きさのままとまります。
- ディスプレイの設置向き(横置きまたは縦置き)、使用するレイヤーの組み合わせ、および重なり具合によって、NSP-1 では表示できないレイアウトがあります。正確に確認するために、プレイリスト作成後、実際に NSP-1 にデータを送信して NSP-1 上でプレビューを行うことをお勧めします。

◆ NSP-1 上でのプレビューの方法については、「再生の確認(NSP-1 でのプレビュー)」(51 ページ)をご覧ください。

プレイリストを作成する

新しいプレイリストは、次の手順で作成します。

- 1 メインウィンドウで、BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、これから作成するプレイリストを使用する NSP-1 のグループを、グループドロップダウンリストボックスで選択します。

編集集中の他のグループのプレイリストや一日のスケジュールが表示されている場合は、ここで保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。必要に応じて表示されているプレイリストやスケジュールを保存してください。

- 2 プレイリストウィンドウが白紙の状態(ウィンドウタイトルに「新規」と表示されています)であれば、そのまま次の手順に進みます。
プレイリストウィンドウに、以前に作業を行ったプレイリストが表示されている場合は、メニューバーで[プレイリスト]>[新規作成]を選択します。
または、コンテンツ管理ウィンドウでプレイリストパネルを選択し、プレイリストパネルのどこかを右クリックして、[新規作成]を選択します。

表示されているプレイリストが保存されていない場合は、ここでそのプレイリストを破棄してもよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。必要に応じてプレイリストを保存してください。

- 3 メニューバーで[設定]>[テンプレート設定]を選択します。

画面レイアウトウィンドウとテンプレート設定ダイアログボックスが表示されます。



テンプレート設定ダイアログボックス

- 4 テンプレートドロップダウンリストボックスで、希望のテンプレートを選択し、[OK]をクリックします。
- 5 コンテンツ管理ウィンドウで素材を選択して、ドラッグ & ドロップ操作でプレイリストに追加していきます

す。

追加するレイヤー (欄) は、素材の種類と目的に応じて決まります。

素材の種類	使用目的	レイヤー (欄)
動画	動画 (音声)、MPEG4 ストリーミングビデオ、NSP-1 の外部入力端子に入力されるビデオ (オーディオを含む)	動画
静止画	背景・壁紙	背景
	静止画 (動画の奥に表示)	グラフィックス
	ロゴマーク、ダウンストリームキーイング、静止画 (動画の手前に表示)	ロゴ*
テロップ	テロップ	テロップ*
URL	Web ページ	グラフィックス
Flash	Flash ファイル	グラフィックス
オーディオ	エキストラ・オーディオ	オーディオ
制御	NSP-1 または接続されている機器の制御	制御

* NSP-1 で指定されている透過色 (RGB(1,1,1) の黒) を使用している部分は透過して、後ろのレイヤーの色が表示されます。

ヒント

コンテンツ管理ウィンドウで素材データのパネルを選択すると、その素材をドロップできる欄の見出しの背景色が黄色に変わります。

追加された素材には、選択されているテンプレートのレイアウトで、ドロップしたレイヤーに指定されている表示位置のデータが自動的に付加され、イベントとしてプレイリスト上に表示されます。イベントが追加された位置のセルは空色になります。

- 6** 手順5または手順3から5を繰り返してプレイリストを作成します。

また、ここで必要に応じて、再生時間の変更など、編集作業を行います。

◆ プレイリストの編集作業について詳しくは、「プレイリスト編集機能」(44 ページ) をご覧ください。

- 7** メインウィンドウのメニューバーで [プレイリスト] > [新規インデックスで保存] を選択します。

BZNP-D1 が単独プレイリストモードの場合は、スケジュール設定ダイアログボックスが表示されます。



BZNP-D1 がその他のモードの場合は、プレイリストが保存されます。コンテンツ管理ウィンドウのプレイリストパネルに、保存したプレイリストが表示されます。スケジュール設定ダイアログボックスは表示されません。手順 13 に進んでください。

- 8** 必要に応じて、保存するプレイリストに分類 (20 文字まで) とタイトル (40 文字まで) を指定します。分類テキストボックス、タイトルテキストボックスに、それぞれ希望の文字列を入力してください。

- 9** プレイリストの再生を開始する時刻と終了する時刻を指定します。時間スピンボックスで変更したい部分を選択し、上下の矢印ボタンで数値を変更するか、希望の数値を入力します。プレイリストは、指定された再生時間の間、繰り返して再生されます。

- 10** 再生期間の始めと終わりの日付を指定します。期間ドロップダウンリストボックスのボタンをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダー上でクリックした日付がドロップダウンリストボックスに指定されます。

- 11** 期間中の特定の曜日だけを指定したい場合は、その曜日のチェックボックスだけにチェックマークがついているようにします。各チェックボックスをクリックしてチェックマークをつけたりクリアしたりするほか、[全てチェックする]、[全てチェックしない]のボタンをお使いください。例えば、選択した一日のスケジュールを期間中の毎週土曜日だけ使用する場合は、一度 [全てチェックしない] をクリックしてから、土曜日のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。

- 12** スケジュール設定ダイアログボックス内の設定が完了したら、[OK] をクリックします。

プレイリストが保存されます。コンテンツ管理ウィンドウのプレイリストパネルに、保存したプレイリストが表示されます。

- 13** このプレイリストでの作業を終える場合は、メインウィンドウのメニューバーで[プレイリスト]>[新規作成]を選択し、プレイリストウィンドウをクリアします。

ヒント

プレイリストの分類とタイトルは、必要に応じて、コンテンツ管理ウィンドウ上で編集することができます。

- ◆ 詳しくは「プレイリストの分類やタイトルを変更する」(42ページ)をご覧ください。

編集中のプレイリストを確認するには

プレイリストウィンドウのどこかを右クリックして、表示されるメニューの[送信して NSP-1 でプレビュー]を選択すると、作成、編集中のプレイリストをグループ内のすべての NSP-1 に送信し、プレビューを行うことができます。接続されているディスプレイで再生を確認してください。

再度プレイリストウィンドウのどこかを右クリックして、[NSP-1 のプレビュー停止]を選択すると、プレビュー再生が停止します。

ご注意

この操作は、グループに属するすべての NSP-1 にプレイリストを送信し、プレビューを行います。
NSP-1 で他のプレイリストなどを再生中の場合には、その再生が中断されますので、ご注意ください。

既存のプレイリストを編集する

プレイリストを開く

- 1** メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループリストボックスで、編集するプレイリストを使用する NSP-1 のグループを選択します。

編集中の他のグループのプレイリストや一日のスケジュールが表示されている場合は、ここで保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。
必要に応じて表示されているプレイリストやスケジュールを保存してください。

- 2** コンテンツ管理ウィンドウでプレイリストパネルを選択し、編集するプレイリストを右クリックして、[編集]を選択します。
または、編集するプレイリストをダブルクリックします。

プレイリストウィンドウに、保存していないプレイリストが表示されている場合は、ここでそのプレイリストを破棄してもよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。
必要に応じて表示されているプレイリストを保存してください。

選択したプレイリストがプレイリストウィンドウに表示されます。

- 3** 追加や編集を行います。

- ◆ プレイリストの編集について、詳しくは次の「プレイリスト編集機能」(44 ページ)をご覧ください。

- 4** メインウィンドウのメニューバーで[プレイリスト]>[上書き保存]をクリックします。
編集結果を別のプレイリストとして保存する場合は、メインウィンドウのメニューバーで[プレイリスト]>[新規インデックスで保存]を選択します。

BZNP-D1 が単独プレイリストモードで、[新規インデックスで保存]を選択した場合は、スケジュール設定ダイアログボックスが表示されます。
その他の場合は、そのままプレイリストが保存されます。スケジュール設定ダイアログボックスは表示されません。手順6に進んでください。

- 5** スケジュール設定ダイアログボックスで、次の項目を設定し、[OK]をクリックします。

- 分類
- タイトル
- 希望の再生時間
- 希望の再生期間と曜日

プレイリストに新しいインデックスが割り当てられて、保存されます。

- 6** このプレイリストでの作業を終える場合は、メインウィンドウのメニューバーで[プレイリスト]>[新規作成]を選択し、プレイリストウィンドウをクリアします。

プレイリストの分類やタイトルを変更する

- 1** コンテンツ管理ウィンドウで、プレイリストパネルを選択します。
- 2** BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスでNSP-1のグループを選択します。

選択したグループのプレイリストの一覧が表示されます。
- 3** 分類またはタイトルを変更するプレイリストを選択します。
- 4** 選択したプレイリストの分類またはタイトル部分をクリックします。

クリックした部分が編集可能になります。
- 5** 分類またはタイトルを編集して、Enter キーを押します。

プレイリストの再生時間や再生期間、曜日を変更するには

BZNP-D1 が単独プレイリストモードの場合は、下記の手順で、プレイリストを使用する期間や曜日を変更することができます。

ヒント

BZNP-D1 が複合プレイリストモードの場合は、一日のスケジュールを作成、変更します。カレンダー手動作成モードの場合はカレンダーデータを作成、変更してください。

◆ 詳しくは、第5章の「再生スケジュールの作成」(57 ページ)をご覧ください。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、プレイリストパネルを選択します。
- 2 BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで NSP-1 のグループを選択します。

選択したグループのプレイリストの一覧が表示されます。
- 3 再生期間を変更するプレイリストを右クリックし、メニュー上の [スケジュールの変更] をクリックします。

スケジュール設定ダイアログボックスが表示されます。
- 4 再生時間、再生期間および曜日を変更し、[OK] をクリックします。

新しく指定した再生期間と曜日がリスト上に表示されます。

ヒント

BZNP-D1 を使用して、NSP-1 での再生を行わない「再生休止日」を指定しておくことができます。「再生休止日」には、スケジュールされているプレイリストがあっても、再生は行われません。

◆ 再生休止日の指定について詳しくは、「再生休止期間を設定する」(68 ページ)をご覧ください。

プレイリストを削除する

下記の手順で、PC 上に保存されているプレイリストを削除できます。

◆ NSP-1 上に保存されているプレイリストの削除方法については、「NSP-1 上のデータを削除する」(75 ページ)をご覧ください。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、プレイリストパネルを選択します。
- 2 BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで NSP-1 のグループを選択します。

選択したグループのプレイリストの一覧が表示されます。
- 3 削除するプレイリストを選択します。
複数のプレイリストを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のプレイリストをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のプレイリストを順番にクリックします。
- 4 選択した部分を右クリックし、メニュー上の [削除] をクリックします。
または、キーボードの Delete キーを押します。

確認のメッセージが表示されます。

- 5 [はい] をクリックします。

選択したプレイリストが削除されます。

プレイリストをコピーする

作成し、保存されているプレイリストを下記の手順でコピーし、新たなプレイリストとして編集したり、同じディスプレイの解像度や設置向きが設定されている他のグループで使用したりすることができます。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、プレイリストパネルを選択します。
- 2 BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスでNSP-1のグループを選択します。

選択したグループのプレイリストの一覧が表示されます。
- 3 コピーするプレイリストを選択します。
複数のプレイリストを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のプレイリストをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のプレイリストを順番にクリックします。
- 4 選択した部分を右クリックし、メニュー上の[コピー]をクリックします。

選択したプレイリストがWindowsのクリップボードにコピーされます。
- 5 コピーしたプレイリストを別のグループで使用する場合は、グループドロップダウンリストボックスで希望のグループを選択します。
同じグループの新たなプレイリストとして使用する場合は、この手順は必要ありません。
- 6 コンテンツ管理ウィンドウのプレイリストパネルのどこかを右クリックし、メニュー上の[貼り付け]をクリックします。

Windowsのクリップボード上にあるプレイリストがリストに追加されます。分類とタイトルはコピーしたものと同じですが、新しいインデックスが割り振られます。また、更新日時は、貼り付けを行った時刻になります。

プレイリスト編集機能

次の編集機能が用意されています。

- イベントの追加 (44 ページ参照)
- イベントまたは行の移動とコピー (46 ページ参照)
- イベントまたは行の削除 (47 ページ参照)
- 空イベントまたは空行の挿入 (47 ページ参照)
- イベントの開始時間の変更 (47 ページ参照)
- イベントの再生時間または終了時間の変更 (47 ページ参照)
- 空イベントまたは空行の長さの変更 (48 ページ参照)
- 直前の編集操作の取り消し (48 ページ参照)
- テンプレートの確認、選択 (49 ページ参照)
- 画面レイアウトの調整 (49 ページ参照)

イベントを追加する

- 1 現在選択されているテンプレートに指定されているレイアウトでイベントを追加する場合は、そのまま次の手順に進みます。
現在とは異なるテンプレートを使用する場合または現在選択されているテンプレートを確認する場合は、「テンプレートを確認、変更する」(49 ページ)の操作を行います。
- 2 コンテンツ管理ウィンドウで素材を選択します。
- 3 ドラッグ&ドロップ操作でプレイリストに追加します。
追加するレイヤー(欄)は、素材の種類と目的に応じて決まります。

素材の種類	使用目的	レイヤー(欄)
動画	動画(音声)、MPEG4ストリーミングビデオ、NSP-1の外部入力端子に入力されるビデオ(オーディオを含む)	動画
静止画	背景・壁紙	背景
	静止画(動画の奥に表示) ロゴマーク、ダウストリームキーイング、(動画の手前に表示)	グラフィックス ロゴ*
テロップ	テロップ	テロップ*
URL	Web ページ	グラフィックス
Flash	Flash ファイル	グラフィックス
オーディオ	エキストラ・オーディオ	オーディオ
制御	NSP-1 または接続されている機器の制御	制御

*NSP-1で指定されている透過色(RGB(1,1,1)の黒)を使用している部分は透過して、後ろのレイヤーの色が表示されます。

ドロップした素材がイベントとしてプレイリストに追

加されます。イベントが追加された位置のセルは空色になります。

追加されるイベントの長さは、素材の種類によって異なります。

素材自体に長さの情報がある動画、Flash、オーディオ素材とスクロールするテロップの場合は、イベントの長さが素材の長さと同じになります。それ以外の素材では、素材の種類によって定められている値になります。

- 4** 必要な場合は、イベントの長さを変更します。
長さを変更したいイベントを右クリックして、表示されるメニューで[再生時間の変更]をクリックします。

再生時間の変更ダイアログボックスが表示されます。
現在のイベントの再生時間が表示されています。



- 5** 希望の再生時間に変更して、[OK]をクリックします。

で注意

プレイリストに追加できる最短のイベント(制御を除く)の長さは5秒なので、ドロップした素材の長さが5秒未満の場合、追加されるイベントの長さは5秒となり、それ以上短くすることはできません。

例として1秒のオーディオ素材をドロップしたとすると、NSP-1での再生時には、1秒間のオーディオの再生の後、無音の状態が4秒間続くことになります。他の種類の素材でも同じように再生されることになりますので、5秒より短い素材を扱う場合にはご注意ください。

制御イベントは、常に1秒として扱われます。長さを変更することはできません。

ヒント

コンテンツ管理ウィンドウで素材データのパネルを選択すると、その素材をドロップできる欄の見出しの背景色が黄色に変わります。

また、素材をドロップした行によって、その素材はイベントとしてプレイリストに追加または挿入されます。

追加・挿入したい場所	ドロップする位置
プレイリストの先頭	(Ctrl キーを押しながら) 先頭のイベント行
プレイリストの最後	最後のイベント行の少し下
空いているセル	空いているセル

追加・挿入したい場所	ドロップする位置
他の素材が指定されているイベントのセル	上書きしたいセル
イベントが指定されている連続したセルの間	(Ctrl キーを押しながら) 下になるイベント

プレイリストの途中または先頭にイベントを追加しても、他のレイヤーのイベントの開始時間に影響はありません。追加したイベントおよび他のレイヤーのイベントの開始時間を確認して、必要な場合は変更してください。

- ◆ イベントの開始時間の変更については、この後の「イベントの開始時間を変更する」(47 ページ)をご覧ください。

NSP-1 への外部入力を動画のイベントとして追加するには

動画のレイヤーには、BZNP-D1 に素材として登録した動画以外に、再生時に NSP-1 の VIDEO IN、AUDIO IN 端子に入力されているビデオ、オーディオ信号を指定することができます。

この方法で、ライブ中継の映像やテレビ番組などをプレイリストに組み込むことができます。

- 1** 外部入力信号を使用したい部分で、プレイリストウィンドウの動画レイヤーの欄を右クリックし、表示されるメニューの[外部入力]を選択します。

外部入力のイベントは、プレイリストに「外部入力」と表示されます。

- 2** 必要な場合は、他の種類のイベントと同様にイベントの長さを変更します。
追加したイベントを右クリックして、[再生時間の変更]をクリックし、再生時間の変更ダイアログボックスで希望の再生時間に変更して、[OK]をクリックします。

イベントを移動またはコピーする

プレイリスト上のイベントは、次の手順で移動またはコピーすることができます。

ご注意

- イベントを別のレイヤーに移動またはコピーすることはできません。
- 行全体をコピーしたり切り取る場合、選択した行から再生を開始するイベントだけが対象となります。その前から続いているイベントは対象外になりますので、ご注意ください。複数行にわたるイベントは、先頭の行を選択した場合のみ、コピーされたり切り取られたりします。
- 行全体をコピーしたり移動したりする場合、各レイヤーの同期を保ったまま貼り付けを行います。このため、貼り付けられるイベントと同じレイヤーの貼り付け位置に前から続いているイベントがある場合は、貼り付けの位置が後ろにずれる場合がありますので、ご注意ください。

イベントをコピーするには

- 1 プレイリスト上で、コピーしたいイベントを選択します。
行全体を選択するには、左端の開始時間欄をクリックします。
同じレイヤー上の複数のイベントを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のイベントをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のイベントを順番にクリックします。
- 2 選択範囲を右クリックして、表示されるメニューの[コピー]を選択します。
- 3 コピー先のセルを右クリックして、表示されるメニューの[貼り付け]を選択します。
行全体を貼り付ける場合には、コピー先の位置の開始時間欄を右クリックして、[貼り付け]を選択します。

コピーしたイベントが選択した場所に挿入されます。

イベントを移動するには

- 1 プレイリスト上で、移動したいイベントを選択します。
行全体を選択するには、左端の開始時間欄をクリックします。
同じレイヤー上の複数のイベントを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のイベントをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のイベントを順番にクリックします。

- 2 選択範囲を右クリックして、表示されるメニューの[切り取り]を選択します。

選択したイベントがプレイリストから削除されます。

- 3 移動先のセルを右クリックして、表示されるメニューの[貼り付け]を選択します。
行全体を貼り付ける場合には、移動先の位置の開始時間欄を右クリックして、[貼り付け]を選択します。

切り取ったイベントが選択した場所に挿入されます。

ドラッグ&ドロップ操作でイベントを移動するには

単一レイヤー上のイベントは、ドラッグ&ドロップ操作で移動させることもできます。ただし、空イベントのみの移動はできません。

- 1 プレイリスト上で、移動したいイベントを選択します。
同じレイヤー上の複数のイベントを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。
ある範囲のイベントをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のイベントを順番にクリックします。
- 2 選択範囲をドラッグし、移動先のセルにドロップします。

選択したイベントが移動します。

イベントまたは行を削除する

内容のみを削除することも、イベントまたは行自体を削除して、後のイベントを上詰めることもできます。

内容を削除して空イベントまたは空行にするには

プレイリスト上で内容を削除したいイベントまたは開始時間欄を右クリックし、表示されるメニューの[内容のクリア]をクリックします。
または、内容を削除したいイベントを選択して、キーボードの Delete キーを押します。

イベントまたは行自体を削除するには

プレイリスト上で削除したいイベントまたは左端の開始時間欄を右クリックし、表示されるメニューの[削除]をクリックします。

空のイベントまたは空の行を挿入する

プレイリストの途中で空のイベントまたは空の行を挿入することができます。レイヤー間のイベントを揃えたり、空き時間を作る場合、また、素材を登録する前にその素材を使用するプレイリストを作る場合に便利です。

ご注意

プレイリストの最後に空行を挿入することはできません。同様に、各レイヤーの最後のイベントのさらに後ろに空イベントを挿入することはできません。

- 1 プレイリストウィンドウで、空イベントを挿入したい場所のセルを右クリックして、表示されるメニューの[挿入]を選択します。
空行を挿入したい場合は、開始時間欄上で希望の位置を右クリックして、[挿入]を選択します。

いずれの場合も挿入ダイアログボックスが表示されます。

- 2 希望の時間を指定して、[OK]をクリックします。

イベントの開始時間を変更する

ご注意

この操作は、イベントの開始時間を調整するためのもので、イベントのプレイリスト上での位置が変わるような大きな変更はできません。

- 1 プレイリストウィンドウで希望のイベントを右クリックして、表示されるメニューの[開始時間の変更]をクリックします。

開始時間の変更ダイアログボックスが表示されます。現在の開始時間が表示されています。



- 2 希望の開始時間に変更して、[OK]をクリックします。

ドラッグ&ドロップ操作で開始時間を変更するには

開始時間を変更したいイベントをプレイリストウィンドウで選択し、セルの上端のハンドル(近くにマウスを移動させると、ポインターが上下の矢印になります)をドラッグして、開始時間を変更することができます。

イベントの再生時間または終了時間を変更する

各イベントは、次の手順で長さを調節することができます。

ヒント

動画、Flash ファイルなど素材自体に「長さ」がある種類のイベントでも、イベントの長さを指定できます。BZNP-D1 は、素材を秒単位で扱うため、素材の実際の再生時間に1秒未満の端数があると、最後まで再生されない場合があります。イベントの再生時間を延ばすことで、最後まで再生されるようになります。ただし、下の「ご注意」にあるように、フリーズ画が表示される場合があります。

- 1 プレイリストウィンドウで希望のイベントを右クリックして、表示されるメニューの[再生時間の変更]または[終了時間の変更]をクリックします。

再生時間の変更または終了時間の変更ダイアログボッ

クスが表示されます。現在の再生時間または終了時間が表示されています。

2 希望の時間に変更して、[OK]をクリックします。

再生時間変更の場合も終了時間変更の場合も、選択したイベントの次の行の開始時間の表示が変更されます。

ドラッグ&ドロップ操作で終了時間を変更するには

終了時間を変更したいイベントをプレイリストウィンドウで選択し、セルの下端のハンドル(近くにマウスを移動させると、ポインターが上下の矢印になります)をドラッグして、イベントの終了時間を変更することができます。この方法で、簡単に他のレイヤーのイベントと終了時間を合わせることができます。

ご注意

- 終了時間を変更する際、指定した時刻は、そのイベントの再生時間には含まれません。
例えば、終了時間に「15:00:00」を指定した場合、そのイベントの再生は15:00:00の直前で終了します。
次の行にイベントが指定されていれば、そのイベントの再生が15:00:00に始まります。
- 動画、Flash ファイルなど素材自体に「長さ」があるイベントでは、プレイリストで再生時間や終了時間を指定してイベントを延長すると、次の表のような再生が行われます。
イベントを短縮した場合には、終了時間になると再生が中断され、その次のイベントに切り替わります。

素材	NSP-1 上での再生
動画	動画の最後まで再生されると、最後のフレームの画像がフリーズ画の状態です。終了時間まで表示されます。動画に付属する音声は、フリーズ画の間は出力されません。
Flash ファイル	Flash ファイル作成時に再生を繰り返す属性を指定している場合は、再生が繰り返されます。指定していない場合には動画の場合と同じく、最後の画像がフリーズ画として終了時間まで表示されます。
オーディオ	最後まで再生されると、再生が停止します。このため、オーディオのイベントの再生時間は延長しないことをお勧めします。繰り返し同じ音楽などを再生したい場合は、オーディオ素材の長さに合わせ、必要な回数分、プレイリストに指定してください。

- プレイリストに追加できる最短のイベント(制御のイベントを除く)の長さは5秒なので、素材の長さが5秒未満の場合、追加されるイベントの長さは5秒となり、それ以上短くすることはできません。
1秒のオーディオ素材を指定するとプレイリスト上の再生時間は5秒になります。NSP-1での再生時には、1秒

間のオーディオの再生の後、無音の状態が4秒間続くこととなります。他の種類の素材でも同じように再生されることとなりますので、5秒より短い素材を扱う場合にはご注意ください。

制御イベントは、常に1秒として扱われます。長さを変更することはできません。

空のイベントまたは行の長さを変更する

再生コンテンツのない、空のイベントまたは行は、次の手順で長さを調節することができます。

ご注意

各レイヤーの最後のイベントの後ろは、空いていても空イベントとみなされないため、長さを変更することはできません。

同様に、プレイリスト内で最後に再生開始されるイベントの後ろは空行とみなされません。

- 1 プレイリストウィンドウで希望の空のセルを右クリックして、表示されるメニューの[空き時間の変更]を選択します。
空行の長さを変更する場合は、開始時間欄を右クリックして、[空き時間の変更]を選択します。

空き時間の変更ダイアログボックスが表示されます。現在の空き時間が表示されています。

2 希望の時間に変更して、[OK]をクリックします。

空のイベントまたは行の長さが変わります。

空き時間を00:00:00にした場合は、イベントまたは行自体が削除されます。

直前の編集操作を取り消す

Ctrl キーを押しながらZキーを押すと、直前に行った編集操作がキャンセルできます。

テンプレートを確認、変更する

背景以外の各表示レイヤー上の素材の表示位置や大きさなどの画面レイアウトは、選択されているテンプレートによって、素材をドロップした時点で決まります。次の手順で現在選択されているテンプレートを確認したり、これから追加する素材のために別のテンプレートを選択したりすることができます。

- 1 メニューバーで[設定]>[テンプレート設定]を選択します。

画面レイアウトウィンドウとテンプレート設定ダイアログボックスが表示されます。

現在選択されているテンプレートがテンプレートドロップダウンリストボックスに表示されています。画面レイアウトウィンドウは、選択されているテンプレートの配置を示しています。

- 2 別のテンプレートを選択したい場合は、テンプレートドロップダウンリストボックスで希望のテンプレートを選択し、[OK]をクリックします。
現在のテンプレートを使用する場合は、そのまま[OK]または[キャンセル]をクリックしてウィンドウを閉じます。

ご注意

NSP-1での各レイヤーの配置やサイズには、さまざまな制限があります。意図したとおりに表示されるかどうか、必ずNSP-1を使用してプレビューを行って確認してください。

- ◆ プレビューの方法については、「再生の確認 (NSP-1でのプレビュー)」(51 ページ)をご覧ください。

画面レイアウトを調整する

背景以外の各表示レイヤー上の素材の表示位置やサイズなどの画面レイアウトは、選択されているテンプレートによって、素材をドロップした時点で決まりますが、後で画面レイアウトを調整することができます。

ご注意

テロップレイヤーのサイズは画面レイアウトによって変更することはできません。表示位置のみの指定となります。

- 1 プレイリストウィンドウで、画面レイアウトを調整するイベント行(オーディオレイヤーの欄を除く)を右クリックして、表示されるメニューの[レイアウトの変更]をクリックします。

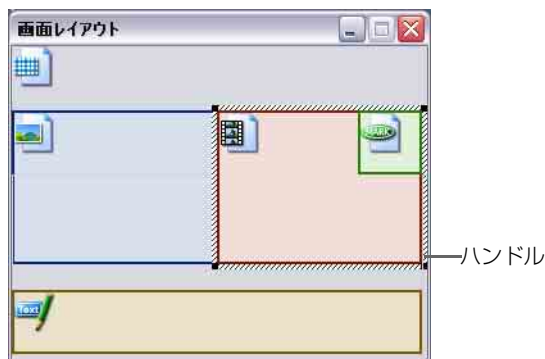
画面レイアウトウィンドウとレイアウト設定ダイアログボックスが表示されます。

ヒント

画面レイアウトウィンドウのどこかを右クリックすると表示されるメニューにある[50%表示]、[100%表示]をクリックして、画面レイアウトウィンドウの大きさを切り替えることができます。

- 2 各レイヤーの配置の設定を行います。
次のいずれかの方法で、各レイヤーの位置とサイズを指定してください。

- 画面レイアウトウィンドウでレイヤーを選択し、表示されたレイヤーのハンドルをマウスでドラッグして、希望の位置とサイズにする
レイアウト設定ダイアログボックスのどこかをクリックすると、画面レイアウトウィンドウでのレイヤーの位置とサイズに対応して設定値が変化します。



画面レイアウトウィンドウ



レイアウト設定ダイアログボックス

- 画面レイアウトウィンドウでレイヤーを選択し、右クリックして表示されるメニューの[フル画面サイズに変更]、[1/4画面サイズに変更]、[素材の画像サイズに変更]を選択する

グラフィックス、動画、ロゴレイヤーに対して使用できます。[素材の画像サイズに変更]を選択すると、動画レイヤーでは素材のサイズによらず640×480ピクセル（設置方向が縦の場合は480×640ピクセル）になります。また、グラフィックスレイヤーに指定されているのがWebページの場合、素材の画像サイズが取得できないため、[素材の画像サイズに変更]は適用されません。

テンプレート設定ダイアログボックスのどこかをクリックすると、該当するレイヤーの設定値が変化します。

- 他のテンプレートのレイアウトにしたい場合は、レイアウト設定ダイアログボックスで、希望のテンプレートを選択する
テンプレートドロップダウンリストボックスでテンプレートを選択すると、そのテンプレートに設定されている各レイヤーの位置とサイズが適用されます。
- レイアウト設定ダイアログボックスで、レイヤーの位置とサイズの数値を変更する
各項目の数値を変更して画面レイアウトウィンドウのどこかをクリックすると、該当するレイヤーの表示も変化します。
- レイアウト設定ダイアログボックスで素材の縦横比保持チェックボックスにチェックマークをつける
チェックマークをつけた後、画面レイアウトウィンドウでそのレイヤーをクリックすると、指定されている素材の縦横比に戻し、その比率のまま大きさや位置を変更することができます。
グラフィックス、動画、ロゴレイヤーに対して使用できます。ただし、動画の場合は素材のサイズによらず、4:3（ディスプレイの設置方向が縦の場合は3:4）となり、グラフィックスレイヤーにURLで指定するWebページについては、素材の画像サイズが取得できないため、素材の縦横比保持の機能は適用されません。

- レイアウト設定ダイアログボックスで[OK]をクリックします。

各レイヤーの位置と大きさの情報がプレイリストに保存され、画面レイアウトウィンドウとレイアウト設定ダイアログボックスが閉じます。

ご注意

- レイヤーの重なり順を変更することはできません。
- 背景レイヤーは、常にフル画面表示になります。
- NSP-1での各レイヤーの配置やサイズには、さまざまな制限があります。プレイリスト作成後は、意図したおりに表示されるかどうか、必ずNSP-1を使用してプレビューを行って確認してください。

◆ プレビューの方法については、「再生の確認 (NSP-1でのプレビュー)」(51ページ)をご覧ください。

ヒント

- 変更した画面レイアウトを、元のレイアウトに戻したい場合は、テンプレートドロップダウンリストボックスで、「元のレイアウト」を選択します。
「元のレイアウト」は、プレイリストに保存されているレイアウト、または素材をドロップしたときに選択されていたテンプレートのレイアウトを意味しています。
- 調整した画面レイアウトを、新たにテンプレートとして保存することもできます。

◆ 詳しくは「プレイリストの画面レイアウトをもとに新しいテンプレートを作成する」(81ページ)をご覧ください。

再生の確認 (NSP-1 でのプレビュー)

BZNP-D1 で登録、作成した素材や、プレイリストは、NSP-1 で再生の確認 (これを「プレビュー」と呼びます) を行うことができます。

素材の内容は PC 上で確認することができますが、NSP-1 で再生した場合とまったく同じようには表示されない場合があります。

また、プレイリストの再生は PC 上で確認できないため、実際に公開する前に、下記の手順で再生の確認を行うことをお勧めします。

- ◆ テロップおよび制御コマンドを確認する場合は、他の素材やプレイリストのプレビューの方法と異なります。
詳しくは「テロップを確認するには」(52 ページ) および「制御コマンドを確認するには」(52 ページ) をご覧ください。

素材やプレイリストを NSP-1 に送信していない場合

この操作で、素材やプレイリストを NSP-1 に送信してプレビューを行うことができます。

ご注意

この操作は、選択したグループに属するすべての NSP-1 に素材やプレイリストを送信し、プレビューを行います。NSP-1 で他のプレイリストなどを再生中の場合には、その再生が中断されますので、ご注意ください。
特定の NSP-1 だけで再生を確認したい場合は、プレビューを行う素材やプレイリストを先に送信しておき、次の「素材やプレイリストがすでに NSP-1 上にある場合」の手順をお使いください。

- 1 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで、プレビューを行う NSP-1 のグループを選択します。
- 2 コンテンツ管理ウィンドウで、プレビューを行う素材などに対応するパネルを選択します。
例えば、プレイリストのプレビューを行う場合は、プレイリストパネルを選択します。
- 3 プレビューを行う素材またはプレイリストを右クリックして、表示されるメニューの [送信して NSP-1 でプレビュー] を選択します。

手順 1 で選択したグループのすべての NSP-1 に、選択した素材 (プレイリストを選択した場合はプレイリストと素材) が送信されます。

再生の準備が完了すると自動的に再生が始まります。接続されているディスプレイで再生を確認してください。

- 4 コンテンツ管理ウィンドウのどこかを右クリックして、[NSP-1 のプレビュー停止] を選択し、プレビュー再生を停止します。
素材を選択してプレビューを行った場合、[NSP-1 のプレビュー停止] を選択するまで NSP-1 はプレビュー状態のままになっています。自動的に元の内容には戻りませんのでご注意ください。

素材やプレイリストがすでに NSP-1 上にある場合

すでに素材やプレイリストを NSP-1 に送信してある場合は、特定の NSP-1 を選んで、再生を確認することができます。

- ◆ 素材やプレイリストを NSP-1 に送信する方法については、「プレイリストや素材を送信する」(53 ページ) をご覧ください。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、プレビューを行う素材などに対応するパネルを選択します。
例えば、プレイリストのプレビューを行う場合は、プレイリストパネルを選択します。
- 2 メインウィンドウで、NSP-1 (リモート制御) オプションボタンを選択し、NSP-1 ドロップダウンリストボックスで、プレビューを行う NSP-1 を選択して [情報更新] をクリックします。

情報更新状況ウィンドウが表示された後、選択した NSP-1 に保存されているデータがコンテンツ管理ウィンドウに表示されます。

- 3 プレビューを行う素材またはプレイリストを右クリックして、表示されるメニューの [NSP-1 でプレビュー] を選択します。

手順 1 で選択した NSP-1 で再生が始まります。接続されているディスプレイで再生を確認してください。

- 4 コンテンツ管理ウィンドウのどこかを右クリックして、[NSP-1 のプレビュー停止] を選択し、プレビュー再生を停止します。
素材を選択してプレビューを行った場合、[NSP-1 のプレビュー停止] を選択するまで NSP-1 はプレビュー状態

態のままになっています。自動的に元の内容には戻りませんのでご注意ください。

テロップを確認するには

単独のテロップを確認するには、[送信して NSP-1 でプレビュー] または [NSP-1 でプレビュー] の代わりに [送信して NSP-1 で割り込み再生] または [NSP-1 で割り込み再生] を選択します。また、[NSP-1 のプレビュー停止] の代わりに [NSP-1 の割り込み再生停止] を使用します。

この操作は、緊急時などに NSP-1 上にテロップを表示させる目的にも使用されます。

- ◆ この、緊急時などでのテロップの割り込み再生について、詳しくは「テロップの割り込み再生を行う」(73 ページ) をご覧ください。

他のコンテンツを確認する場合と異なり、NSP-1 の再生が中断して選択したテロップが表示されるのではなく、NSP-1 で再生されているプレイリストやスクリーンセーバーなどのコンテンツの上に選択したテロップが表示されます。元々の再生内容にテロップが含まれている場合、そのテロップの代わりにプレビューを行うテロップが表示されます。(同時に2つのテロップが再生されることはありません)

ご注意

- [送信して NSP-1 で割り込み再生] でテロップを確認する場合、[NSP-1 の割り込み再生停止] を選択してテロップの再生を停止しない限り、選択したテロップが表示され続けます。
NSP-1 で元々再生していたプレイリストが終了しても、テロップだけは残りますのでご注意ください。
- 割り込み再生前に再生されていたプレイリストなどにテロップが含まれていた場合、[NSP-1 の割り込み再生停止] を選択しても、元のテロップはすぐには表示されません。テロップ表示が始まるのは次のテロップのイベントからとなります。

制御コマンドを確認するには

単独の制御コマンドを確認するには、[送信して NSP-1 でプレビュー] または [NSP-1 でプレビュー] の代わりに [手動による制御] を選択します。

NSP-1 への送信

素材、プレイリストなど、コンテンツ再生に必要なデータが用意できたら、NSP-1 に送信します。

通常、送信時に選択するものは、BZNP-D1 のスケジュール作成モードによって異なります。

- 単独プレイリストモードの場合
プレイリストを選択して送信します。送信を行うと、プレイリストに指定されている素材が自動的にまとめて送信され、NSP-1 上で再生できるようになります。素材を単独で送信することも可能です。
 - 複合プレイリストモードの場合
一日のスケジュールを選択して送信します。単独プレイリストモードの場合と同じように、送信を行うと、一日のスケジュールに指定されているプレイリストと、再生に必要な素材が自動的にまとめて送信されます。また、プレイリストや素材を単独で送信することもできます。
 - カレンダー手動作成モードの場合
カレンダーのデータを選択して送信します。送信を行うと、指定されている一日のスケジュール、再生に必要なプレイリストおよび素材がまとめて送信されます。一日のスケジュール、プレイリスト、素材をそれぞれ単独で送信することもできます。
- ◆ 一日のスケジュールおよびカレンダーの送信について詳しくは、「一日のスケジュールやカレンダーを送信する」(69 ページ)をご覧ください。

ヒント

すでに NSP-1 上にあるデータは自動的に送信対象から外れます。ネットワークの帯域や送信時間を無駄に使用することはありません。

プレイリストや素材を送信する

プレイリストおよび素材は、下記の手順で送信します。

で注意

- 再生中の NSP-1 に、そのとき再生中のプレイリストを変更したものを送信すると、NSP-1 での再生が一時中断され、再生中のプレイリストの先頭から再開されますので、ご注意ください。
- 送信の途中でディスクの空き容量が足りなくなった場合、その NSP-1 への送信は中断されます。ただし、グループ内の他の NSP-1 への送信は継続されます。送信後、空き容量の足りない NSP-1 上の不要なデータを削除して、再送信を行ってください。容量不足で送信ができなかった場合は、自動再送は行われません。動画やオーディオと、その他の素材やプレイリストなどのデータは NSP-1 上の別な領域に保存されます。NSP-1 ステータスウィンドウで容量が不足している領域がどちらなのかを確認し、データを削除してください。

- ◆ NSP-1 ステータスウィンドウについて詳しくは、「送信状況を確認する」(54 ページ)をご覧ください。

- 1 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループリストボックスで、送信先の NSP-1 のグループを選択します。
- 2 コンテンツ管理ウィンドウで、プレイリストまたは送信する素材に対応するパネルを選択します。
- 3 送信するプレイリストまたは素材のデータを選択します。
複数のデータを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のデータをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のデータを順番にクリックします。
- 4 選択部分を右クリックして、表示されるメニューの [NSP-1 へ送信] を選択します。

選択したデータに応じて、次の表に挙げられたすべてのデータ(のうち、まだ送信が行われていないもの)が順番に、手順 1 で選択したグループのすべての NSP-1 に送信されます。

選択したデータ	送信されるデータ
プレイリスト	選択したプレイリスト そのプレイリストの再生に必要なすべての素材
素材	選択した素材

送信中は、送信状況ウィンドウに送信状況が表示されます。送信を途中で中止するには、[中止]をクリックします。

送信が行われたプレイリストおよび素材には、「自動削除日」が設定されます。

- ◆ 各 NSP-1 への送信状況や NSP-1 のステータスを確認する方法については、次の「送信状況を確認する」をご覧ください。
- 自動削除日について詳しくは、「自動削除日に関する操作」（55 ページ）をご覧ください。

通信禁止時間内に送信を行った場合は

環境設定ダイアログボックスのネットワークパネルには、NSP-1 との間の通信を禁止する時間帯の設定があります。この時間内に送信の操作を行うと BZNP-D1 は送信待機状態になり、メッセージが表示されます。

通信禁止時間が過ぎると、BZNP-D1 は自動的に送信を行い、メッセージ表示が消えます。

送信待機状態の間は、送信をキャンセルしないかぎり、使用できる BZNP-D1 の機能に制限がありますので、ご注意ください。

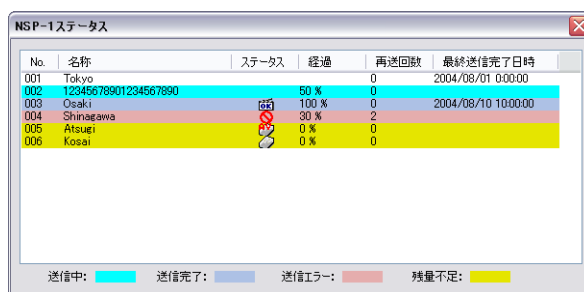
送信状況を確認する

たくさんの動画素材を送ったり、多くの NSP-1 にデータを送信したりするには時間がかかります。次の手順で、送信がどこまで進んでいるかや、エラーが発生していないかを確認することができます。

送信中にエラーが発生して再送が行われた場合には、その回数も表示されます。

- 1 NSP-1 ステータスウィンドウが表示されていない場合は、メインウィンドウのメニューバーで [表示] > [NSP-1 ステータス] を選択します。

NSP-1 ステータスウィンドウが開き、最後に行った送信についての状況が表示されます。



No.	名称	ステータス	経過	再送回数	最終送信完了日時
001	Tokyo			0	2004/08/01 0:00:00
002	12345678901234567890		50 %	0	
003	Osaki		100 %	0	2004/08/10 10:00:00
004	Shinagawa		30 %	2	
005	Aizu		0 %	0	
006	Kosai		0 %	0	

送信中: 送信完了: 送信エラー: 残量不足:

- ◆ NSP-1 ステータスウィンドウの詳細については、「NSP-1 ステータスウィンドウ」（18 ページ）をご覧ください。

ヒント

コンテンツ管理画面で希望のコンテンツのパネルを選択してから、メインウィンドウで NSP-1 リモート制御オプションボタンをクリックし、NSP-1 ドロップダウンリストボックスで希望の NSP-1 を選択して [情報更新] をクリックすると、情報更新状況ウィンドウが表示された後、選択した NSP-1 に保存されているコンテンツの一覧がコンテンツ管理ウィンドウに表示されます。

ここで、送信済みの再生スケジュールデータを確認することもできます。

NSP-1 のステータスを確認する

NSP-1 ステータスウィンドウから Web ブラウザーを起動して、NSP-1 のステータスを確認することができます。

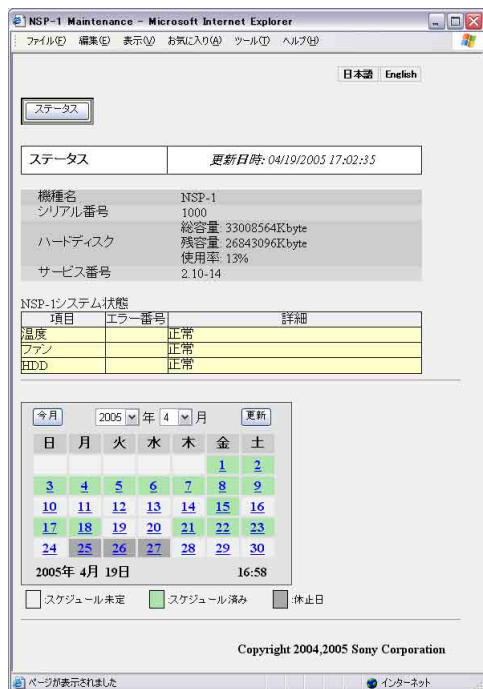
- 1 NSP-1 ステータスウィンドウで、ステータスを確認したい NSP-1 の行をダブルクリックします。

NSP-1 にアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力するためのダイアログボックスが表示されます。

- 2 ユーザー名「NSP1status」と設定されているパスワード (NSP-1 出荷時の設定は「NSP1status」) を入力して、[OK] をクリックします。

Internet Explorer が自動的に起動され、選択した NSP-1 のステータスを表示します。

(他の Web ブラウザーが Windows で Web ページを表示するプログラムとして指定されていても、Internet Explorer が起動されます)



ヒント

この NSP-1 Maintenance ウィンドウのカレンダーで日付をクリックすると、NSP-1 に保存されているスケジュールのデータを確認することができます。

自動削除日に関する操作

NSP-1 には、データの自動削除の機能があります。素材やプレイリスト、再生スケジュールのデータが NSP-1 で管理できる最大数に達したり、ハードディスクの容量がいっぱいになってデータが受信できなくなってしまうのを防ぐために、不要になったデータを自動的に削除する機能です。各データには、NSP-1 への送信時に自動的に自動削除日という日付が設定され、NSP-1 で自動削除機能を有効にしておくと、NSP-1 の起動時に、起動日以前の日付が設定されているデータがハードディスクから削除されます。たとえば、自動削除日が 2005 年 10 月 31 日に設定されているデータは、その日の NSP-1 の起動時に削除されます。

自動削除日は、次の場合に設定されます。

- 素材やプレイリストを選択して、手動で自動削除日を設定した場合
自動削除日を BZNP-D1 で設定または変更した後、素材またはプレイリストを NSP-1 に送信する必要があります。
- NSP-1 で素材またはプレイリストをプレビューした場合、または自動削除日が設定されていない素材やプレイリストを NSP-1 に送信した場合
BZNP-D1 が単独プレイリストモードで、プレイリストに再生開始日と終了日が設定されている場合は、再生終了日の 2 日後が自動削除日となります。同時に送信される素材にも、同じ自動削除日が設定されます。それ以外の場合は、プレビューを行った 2 日後が自動削除日になります。
- 再生開始日、終了日が設定されているプレイリストや再生スケジュールを NSP-1 に送信した場合
自動的に再生終了日の 2 日後が自動削除日となります。同時に送信される素材にも、同じ自動削除日が設定されます。
- プレイリストをスクリーンセーバーとして送信した場合
自動削除日は 9999 年 12 月 31 日となり、自動削除の対象にならなくなります。同時に送信される素材にも、同じ自動削除日が設定されます。

設定されている自動削除日は、コンテンツ管理ウィンドウの自動削除日欄で確認できます。

自動削除日は、BZNP-D1 上ではいったん設定されると早まることはありません。再生終了日が異なる 2 つのプレイリストで同じ素材が使用されている場合など、複数の自動削除日が設定される場合では、一番後の日付になります。自動削除日の情報は NSP-1 のグループ別に管理されていないため、別のグループでさらに後まで使用する場合などは、自動削除日は最後の再生終了日の 2 日後となります。

ご注意

インデックスの下6桁が999000以上になっている、出荷時に登録済みのサンプルのコンテンツには自動削除日は設定されません。また、自動削除日を指定することもできません。

自動削除日を指定する

BZNP-D1を使用して、各素材に自動削除日を設定したり、設定されている自動削除日を変更したりすることができます。また、9999年12月31日に設定されている素材やプレイリストの自動削除日をクリアして、自動削除の対象にすることもできます。

ご注意

すでに設定されている素材の自動削除日を変更すると、再生に支障が出る場合がありますので十分ご注意ください。

- 1 メインウィンドウでBZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで、希望のNSP-1のグループを選択します。
- 2 コンテンツ管理ウィンドウで、自動削除日を指定する素材またはプレイリストに対応するパネルを選択します。
- 3 自動削除日を指定するプレイリストまたは素材のデータを選択します。
複数のデータを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のデータをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のデータを順番にクリックします。
- 4 選択部分を右クリックして、表示されるメニューの[自動削除日の変更]を選択します。

自動削除日の変更ダイアログボックスが表示されます。



- 5 希望のオプションボタンを選択します。
削除日をクリアするオプションボタン：9999年12月31日となっている自動削除日をクリアして、自動削除

の対象としたい場合に選択します。

また、再生終了日をまちがえてプレイリストや再生スケジュールを送信してしまった場合に、設定された自動削除日をクリアする際にも選択します。(この場合は、再生終了日を修正したプレイリストまたは再生スケジュールをNSP-1に送りなおしてください)

自動削除しないオプションボタン：自動削除日を9999年12月31日として、NSP-1上から自動削除されないようにするために選択します。

削除日を変更するオプションボタン：特定の日付を自動削除日に指定する場合に選択して、削除日をドロップダウンリストボックスで指定します。操作を行っている日の明後日以降の日付が指定できます。

- 6 [OK] をクリックします。

コンテンツ管理ウィンドウに、新しく設定された自動削除日が表示されます。

- 7 自動削除日の設定、変更を行った素材やプレイリストをNSP-1に送信します。

◆ NSP-1 への送信について詳しくは、「プレイリストや素材を送信する」(53 ページ) をご覧ください。

再生スケジュールの作成

第

章

再生スケジュールとは

NSP-1で再生を行うには、素材やプレイリストの他に、どの日のどの時間帯にどのプレイリストを再生するかを指定した「再生スケジュール」を用意し、NSP-1に送信します。再生スケジュールには、一日の時間割を指定する「一日のスケジュール」と、どの日にどの一日のスケジュールを使用するかを指定する「カレンダー」の2種類があります。

再生スケジュールの作成が必要かどうかは、BZNP-D1のスケジュール作成モードの設定によって異なります。再生スケジュールを作成する必要がある場合は、この章の説明をお読みにになり、希望の再生スケジュールを作成してください。

- 単独プレイリストモードの場合
「プレイリスト」で、再生時間と期間を指定します。一日のスケジュール、カレンダーともBZNP-D1内部で自動的に生成されるため、再生スケジュールを作成する必要はありません。
- 複合プレイリストモードの場合
「一日のスケジュール」で、再生時間と期間を指定します。カレンダーのデータは、BZNP-D1内部で自動的に生成されます。
作成した一日のスケジュールを選択して、NSP-1への送信を行ってください。
- カレンダー手動作成モードの場合
「一日のスケジュール」で再生時間を、「カレンダー」で再生期間を指定します。このモードでは、毎月、2週目と4週目に同じ一日のスケジュールを使用するなど、複雑なパターンの再生スケジュールも指定することができます。
作成したカレンダーデータを選択して、NSP-1への送信を行ってください。
- ◆ スケジュール作成モードについて詳しくは、「BZNP-D1の環境設定」(21ページ)をご覧ください。
NSP-1への送信について詳しくは、「一日のスケジュールやカレンダーを送信する」(69ページ)をご覧ください。

一日のスケジュールの作成

一日のスケジュールとは

「一日のスケジュール」は、一日のどの時間帯にどのプレイリストを再生するかが指定されているリストです。

下の図は、一日のスケジュールの例です。

一日のスケジュールには、再生するプレイリストと、NSP-1のオーディオレベルやプラズマディスプレイなど外部機器の制御コマンドを、開始する時刻とともに指定します。



この一日のスケジュールは、NSP-1に次のような動作を指示しています。

時刻	動作
9:59:00	プラズマディスプレイの制御 (電源を ON にする)
10:00:00	「Morning Prog.」のプレイリストの再生開始
13:00:00	「Afternoon Prog.」のプレイリストの再生開始
17:00:00	「Evening Prog.」のプレイリストの再生開始
21:00:00	「Evening Prog.」のプレイリストの再生終了
21:00:01	プラズマディスプレイの制御 (電源を OFF にする)

各プレイリストの実際の長さに関わらず、この例では朝 10 時から午後 1 時まで「Morning Prog.」、その後午後 5 時まで「Afternoon Prog.」、午後 5 時以降は「Evening Prog.」が再生されます。

例えば、「Morning Prog.」のプレイリストの長さが 40 分だとすると、午前 10 時から再生が 4 回繰り返され、5 回目の半分まで再生が終わったところで午後 1 時になるため、「Afternoon Prog.」に切り替わります。

開始時刻が過ぎてから一日のスケジュールの再生が開始された場合でも、制御コマンドは実行されます。図にあるような一日のスケジュールで、プラズマディスプレイの電源が OFF のまま再生が開始するようなことはありません。

一日のスケジュールは、プレイリストの編集と同じように、一日のスケジュールウィンドウにプレイリストおよび制御コマンドをドラッグ & ドロップ操作で追加して作成します。

BZNP-D1 が複合プレイリストモードの場合は、一日のスケジュールを保存するときに再生期間や曜日を指定し、後に NSP-1 に送信します。

カレンダー手動作成モードの場合は、作成した一日のスケジュールに、カレンダーで再生期間を指定して、NSP-1 に送信します。

ご注意

BZNP-D1 が単独プレイリストモードの場合は、一日のスケジュールを手動で作成する必要はありません。

ウィンドウが表示されないため、一日のスケジュールの作成、変更はできません。

新しい一日のスケジュールを作成する

新しい一日のスケジュールは、次の手順で作成します。

ご注意

一日のスケジュールウィンドウで赤く表示されている行は、毎日 5 分間設定されている NSP-1 の運用休止時間を示しています。運用休止時間中には、NSP-1 は再生もデータの受信も行わないため、この行にはプレイリストや制御コマンドは指定できません。

- 1 メインウィンドウで、BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、これから作成する一日のスケジュールを使用する NSP-1 のグループを、グループドロップダウンリストボックスで選択します。

編集中の他のグループのプレイリストや一日のスケジュールが表示されている場合は、ここで保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

必要に応じて表示されているプレイリストやスケジュールを保存してください。

- 2 一日のスケジュールウィンドウが白紙の状態 (ウィンドウタイトルに「新規」と表示されています) であれば、そのまま次の手順に進みます。

一日のスケジュールウィンドウに、以前に作業を行ったデータが表示されている場合は、メニューバーで [一日のスケジュール] > [新規作成] を選択します。または、コンテンツ管理ウィンドウで一日のスケジュールパネルを選択し、一日のスケジュールパネルのどこかを右クリックして、[新規作成] を選択します。

表示されている一日のスケジュールが保存されていない場合は、ここでそのスケジュールを破棄してもよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。必要に応じてスケジュールを保存してください。

- 3 コンテンツ管理ウィンドウでプレイリストを選択して、ドラッグ & ドロップ操作で一日のスケジュールのプレイリスト欄に追加していきます。また、制御コマンドも、同様に一日のスケジュールの制御欄に追加できます。

イベントが追加された位置のセルは空色になります。一日のスケジュールウィンドウに追加されたイベントは、プレイリストの場合はタイトルで、制御コマンドの場合は、制御の種類を表すマークで表示されます。タイトルやマークの上にマウスポインターを移動させると、インデックスや分類、タイトルがポップアップ表示されます。

また、ここで必要に応じて、開始時間や再生時間の変更など、編集作業を行います。

- ◆ 一日のスケジュールの編集について詳しくは、「一日のスケジュールの編集機能」(62 ページ)をご覧ください。

4 メインウィンドウのメニューバーで[一日のスケジュール]>[新規インデックスで保存]を選択します。

BZNP-D1 が複合プレイリストモードの場合は、スケジュール設定ダイアログボックスが表示されます。



BZNP-D1 がカレンダー手動作成モードの場合は、一日のスケジュールが保存されます。コンテンツ管理ウィンドウの一日のスケジュールパネルに、保存したスケジュールが表示されます。

スケジュール設定ダイアログボックスは表示されません。手順9に進んでください。

5 必要に応じて、保存する一日のスケジュールに分類(20文字まで)とタイトル(40文字まで)を指定します。 分類テキストボックス、タイトルテキストボックスに、それぞれ希望の文字列を入力してください。

6 再生期間の始めと終わりの日付を指定します。 期間ドロップダウンリストボックスのボタンをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダー上でクリックした日付がドロップダウンリストボックスに指定されます。

7 期間中の特定の曜日だけを指定したい場合は、その曜日のチェックボックスだけにチェックマークがついているようにします。 各チェックボックスをクリックしてチェックマークをつけたりクリアしたりするほか、[全てチェックする]、[全てチェックしない]のボタンをお使いください。 例えば、選択した一日のスケジュールを期間中の毎週土曜日だけ使用する場合は、一度[全てチェックしな

い]をクリックしてから、土曜日のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。

8 スケジュール設定ダイアログボックス内の設定が完了したら、[OK]をクリックします。

一日のスケジュールが保存されます。

9 この一日のスケジュールの作業を終える場合は、メインウィンドウのメニューバーで[一日のスケジュール]>[新規作成]を選択し、一日のスケジュールウィンドウをクリアします。

ヒント

一日のスケジュールの分類とタイトルは、必要に応じて、コンテンツ管理ウィンドウ上で編集することができます。

- ◆ 詳しくは、「一日のスケジュールの分類やタイトルを変更するには」(60 ページ)をご覧ください。

既存の一日のスケジュールを変更する

既存の一日のスケジュールを開くには

- 1 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで、編集する一日のスケジュールを使用する NSP-1 のグループを選択します。

編集中の他のグループのプレイリストや一日のスケジュールが表示されている場合は、ここで保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。必要に応じて表示されているプレイリストやスケジュールを保存してください。

- 2 コンテンツ管理ウィンドウで一日のスケジュールパネルを選択し、編集する一日のスケジュールを右クリックして、[編集]を選択します。

一日のスケジュールウィンドウに、保存していないスケジュールが表示されている場合は、ここでそのスケジュールを破棄してもよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。必要に応じて表示されているスケジュールを保存してください。

選択したスケジュールが一日のスケジュールウィンドウに表示されます。

- 3 追加や編集を行います。

◆ 一日のスケジュールの編集について、詳しくは次の「一日のスケジュールの編集機能」(62 ページ)をご覧ください。

- 4 メインウィンドウのメニューバーで[一日のスケジュール]>[上書き保存]をクリックします。
編集結果を別の一日のスケジュールとして保存する場合は、メインウィンドウのメニューバーで[一日のスケジュール]>[新規インデックスで保存]を選択します。

BZNP-D1 が複合プレイリストモードで、[新規インデックスで保存]を選択した場合は、スケジュール設定ダイアログボックスが表示されます。その他の場合は、スケジュール設定ダイアログボックスは表示されません。手順 6 に進んでください。

- 5 スケジュール設定ダイアログボックスで、次の項目を設定し、[OK]をクリックします。

- 分類

- タイトル
- 希望の再生期間と曜日

- 6 この一日のスケジュールの作業を終える場合は、メインウィンドウのメニューバーで[一日のスケジュール]>[新規作成]を選択し、一日のスケジュールウィンドウをクリアします。

一日のスケジュールの分類やタイトルを変更するには

一日のスケジュールの作成時には、あらかじめタイトル欄に日時が表示されています。

分類とタイトルは、次の手順でいつでも変更できます。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、一日のスケジュールパネルを選択します。

- 2 BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで NSP-1 のグループを選択します。

選択したグループの一日のスケジュールの一覧が表示されます。

- 3 分類またはタイトルを変更する一日のスケジュールを選択します。

- 4 選択した一日のスケジュールの分類またはタイトル部分をクリックします。

クリックした部分が編集可能になります。

- 5 分類(20文字まで)またはタイトル(40文字まで)を編集して、Enter キーを押します。

一日のスケジュールの使用期間や曜日を変更するには

BZNP-D1 が複合プレイリストモードの場合は、下記の手順で、一日のスケジュールを使用する期間や曜日を変更することができます。

◆ カレンダー手動作成モードの場合は「カレンダーのデータを作成する」(66 ページ) および「カレンダーのデータを変更する」(67 ページ) をお読みになり、カレンダーデータを変更してください。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、一日のスケジュールパネルを選択します。
- 2 BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで NSP-1 のグループを選択します。

選択したグループの一日のスケジュールの一覧が表示されます。
- 3 使用期間を変更する一日のスケジュールを右クリックし、メニュー上の [スケジュールの変更] をクリックします。

スケジュール設定ダイアログボックスが表示されます。
- 4 再生期間および曜日を変更し、[OK] をクリックします。

新しく指定した再生期間と曜日がリスト上に表示されます。

ヒント

BZNP-D1 を使用して、NSP-1 での再生を行わない「再生休止日」を指定しておくこともできます。「再生休止日」には、指定されている一日のスケジュールがあっても、再生は行われません。

◆ 再生休止日の指定について詳しくは、「再生休止期間を設定する」(68 ページ) をご覧ください。

一日のスケジュールを削除するには

下記の手順で、PC 上に保存されている一日のスケジュールを削除できます。

◆ NSP-1 上に保存されている一日のスケジュールの削除方法については、「NSP-1 上のデータを削除する」(75 ページ) をご覧ください。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、一日のスケジュールパネルを選択します。
- 2 BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで NSP-1 のグループを選択します。

選択したグループの一日のスケジュールの一覧が表示されます。
- 3 削除する一日のスケジュールを選択します。
複数の一日のスケジュールを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲の一日のスケジュールをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のスケジュールを順番にクリックします。
- 4 選択した部分を右クリックし、メニュー上の [削除] をクリックします。
または、キーボードの Delete キーを押します。

確認のメッセージが表示されます。
- 5 [はい] をクリックします。

選択した一日のスケジュールが削除されます。

一日のスケジュールの編集機能

次の編集機能が用意されています。

- イベントの追加 (62 ページ参照)
- イベントに指定されているプレイリストや制御コマンドの変更 (62 ページ参照)
- イベントまたは行の移動とコピー (62 ページ参照)
- イベントまたは行の削除 (63 ページ参照)
- 空イベントまたは空行の挿入 (63 ページ参照)
- イベントの開始時間の変更 (63 ページ参照)
- プレイリストイベントの再生時間または終了時間の変更 (64 ページ参照)
- 空イベントまたは空行の長さの変更 (64 ページ参照)
- 直前の編集操作の取り消し (64 ページ参照)

イベントを追加するには

- 1 コンテンツ管理ウィンドウでプレイリストまたは制御コマンドを選択します。
- 2 ドラッグ & ドロップ操作で一日のスケジュールの該当する欄に追加していきます。

ドロップしたプレイリストまたは制御コマンドがイベントとして一日のスケジュールに追加されます。イベントが追加された位置のセルは空色になります。プレイリストを追加した時点では、再生時間は元のプレイリストの長さと同じになります。制御コマンドの場合は、実際に制御にかかる時間にかかわらず、リスト上は1秒となります。
- 3 必要な場合は、プレイリストイベントの再生時間を変更します。(制御コマンドのイベントの「長さ」は変更できません)
再生時間を変更したいイベントを右クリックして、表示されるメニューで[再生時間の変更]をクリックします。

再生時間の変更ダイアログボックスが表示されます。現在のイベントの再生時間が表示されています。
- 4 希望の再生時間に変更して、[OK]をクリックします。

再生時間をプレイリストの長さより長くした場合は、再生時間の間、そのプレイリストが繰り返し再生されます。短くした場合は、プレイリストの途中で再生が中断されます。

ヒント

一日のスケジュールの先頭やすでにイベントが指定されている2行の間にイベントを挿入したい場合は、Ctrl キーを

押しながら挿入する場所にプレイリストまたは制御コマンドをドロップし、再生時間や開始時間を調整してください。

イベントに指定されているプレイリストや制御コマンドを別のものに変更するには

希望のプレイリストまたは制御コマンドを、コンテンツ管理ウィンドウからドラッグ & ドロップ操作で変更するセルに貼り付けます。

元々指定されていたものが上書きされて、後から貼り付けたプレイリストや制御のイベントに変更されます。

イベントを移動またはコピーするには

一日のスケジュール上のプレイリストおよび制御イベントは、次の手順で移動またはコピーすることができます。

ご注意

- 行全体をコピーしたり切り取る場合、選択した行にタイトルが書かれているイベントだけが対象となり、その前から続いているイベントは対象外になります。
複数行にわたるプレイリストイベントは、先頭の行を選択した場合のみ、コピーされたり切り取られたりします。
- 行全体をコピーしたり移動したりする場合、制御イベントとプレイリストの同期を保ったまま貼り付けを行います。このため、貼り付け位置に前から続いているプレイリストがある場合は、貼り付けの位置が後ろにずれる場合がありますので、ご注意ください。

イベントをコピーするには

- 1 一日のスケジュールで、コピーしたいイベントを選択します。
行全体を選択するには、左端の開始時間欄をクリックします。
同じ種類の複数のイベントを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のイベントをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のイベントを順番にクリックします。
- 2 選択範囲を右クリックして、表示されるメニューの[コピー]を選択します。
- 3 コピー先のセルを右クリックして、表示されるメニューの[貼り付け]を選択します。
行全体を貼り付ける場合には、コピー先の位置の開始時間欄を右クリックして、[貼り付け]を選択します。

コピーしたイベントが選択した場所に挿入されます。

イベントを移動するには

- 1 一日のスケジュールで、移動したいイベントを選択します。
行全体を選択するには、左端の開始時間欄をクリックします。
同じ種類の複数のイベントを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のイベントをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のイベントを順番にクリックします。

- 2 選択範囲を右クリックして、表示されるメニューの [切り取り] を選択します。

選択したイベントが一日のスケジュールから削除されます。

- 3 移動先のセルを右クリックして、表示されるメニューの [貼り付け] を選択します。
行全体を貼り付ける場合には、移動先の位置の開始時間欄を右クリックして、[貼り付け] を選択します。

切り取ったイベントが選択した場所に挿入されます。

ドラッグ&ドロップ操作でイベントを移動するには

単一の種類のイベントは、ドラッグ&ドロップ操作で移動させることもできます。ただし、空イベントのみの移動はできません。

- 1 一日のスケジュールで、移動したいイベントを選択します。
同じ種類の複数のイベントを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。
ある範囲のイベントをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のイベントを順番にクリックします。

- 2 選択範囲をドラッグし、移動先のセルにドロップします。

選択したイベントが移動します。

イベントまたは行を削除するには

内容のみを削除することも、イベントまたは行自体を削除して、後のイベントを上詰めることもできます。

内容を削除して空イベントまたは空行にするには

一日のスケジュールで内容を削除したいイベントまたは開始時間欄を右クリックし、表示されるメニューの [内容のクリア] をクリックします。

または、内容を削除したいイベントを選択して、キーボードの Delete キーを押します。

イベントまたは行自体を削除するには

一日のスケジュールで削除したいイベントまたは左端の開始時間欄を右クリックし、表示されるメニューの [削除] をクリックします。

空のイベントまたは空の行を挿入するには

一日のスケジュールの途中に空のイベントまたは空の行を挿入して、空き時間を作ることができます。

ご注意

一日のスケジュールの最後に空行を挿入することはできません。同様に、制御およびプレイリストの最後のイベントのさらに後ろに空イベントを挿入することはできません。

- 1 一日のスケジュールウィンドウで、空イベントを挿入したい場所のセルを右クリックして、表示されるメニューの [挿入] を選択します。
空行を挿入したい場合は、開始時間欄上で希望の位置を右クリックして、[挿入] を選択します。

いずれの場合も挿入ダイアログボックスが表示されます。

- 2 希望の時間を指定して、[OK] をクリックします。

イベントの開始時間を変更するには

ご注意

この操作は、イベントの開始時間を微調整するためのもので、一日のスケジュールウィンドウでの位置が変わるような大きな変更はできません。

- 1 一日のスケジュールウィンドウで希望のイベントを右クリックして、表示されるメニューの [開始時間の変更] をクリックします。

開始時間の変更ダイアログボックスが表示されます。
現在の開始時間が表示されています。

- 2 希望の開始時間に変更して、[OK] をクリックします。

ドラッグ&ドロップ操作で開始時間を変更するには

開始時間を変更したいプレイリストイベントを一日のスケジュールウィンドウで選択し、セルの上端のハンドル (近くにマウスを移動させると、ポインターが上下の矢印にな

ります)をドラッグして、開始時間を変更することができます。

プレイリストイベントの再生時間または終了時間を変更するには

- 1 一日のスケジュールウィンドウで希望のプレイリストイベントを右クリックして、表示されるメニューの[再生時間の変更]または[終了時間の変更]をクリックします。

再生時間の変更または終了時間の変更ダイアログボックスが表示されます。現在の再生時間または終了時間が表示されています。

- 2 希望の時間に変更して、[OK]をクリックします。

再生時間変更の場合も終了時間変更の場合も、選択したイベントの次の行の開始時間の表示が変更されます。

ドラッグ&ドロップ操作で終了時間を変更するには

終了時間を変更したいプレイリストイベントを一日のスケジュールウィンドウで選択し、セルの下端のハンドル(近くにマウスを移動させると、ポインターが上下の矢印になります)をドラッグして、イベントの終了時間を変更することができます。

ご注意

終了時間を変更する際、指定した時刻は、そのプレイリストの再生時間には含まれません。
例えば、終了時間に「15:00:00」を指定した場合、そのプレイリストの再生は 15:00:00 の直前で終了します。

空のイベントまたは行の長さを変更するには

制御イベントやプレイリストのない、空のイベントまたは行は、次の手順で長さを調節することができます。

ご注意

制御およびプレイリストの最後のイベントの後ろは、空いても空イベントとみなされないため、長さを変更することはできません。
同様に、一日のスケジュールの最後に指定されているイベントの後ろは空行とみなされません。

- 1 一日のスケジュールで希望の空のセルを右クリックして、表示されるメニューの[空き時間の変更]を選択します。
空行の長さを変更する場合は、開始時間欄を右クリッ

クして、[空き時間の変更]を選択します。

空き時間の変更ダイアログボックスが表示されます。
現在の空き時間が表示されています。

- 2 希望の時間に変更して、[OK]をクリックします。
空き時間を 00:00:00 にした場合は、イベントまたは行自体が削除されます。

直前の編集操作を取り消すには

Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

一日のスケジュールを CSV ファイルとして書き出す

一日のスケジュールデータは、次の手順で CSV 形式のファイルとして保存することができます。CSV 形式のファイルは、各項目がコンマで区切られたテキストファイルで、Microsoft Excel などの表計算のアプリケーションに表として読み込んで、印刷やデータ処理などを行うことができます。

- 1 CSV ファイルとして書き出したい一日のスケジュールを開きます。

◆ 一日のスケジュールを開く方法については、「既存の一日のスケジュールを開くには」(60 ページ)をご覧ください。

- 2 メニューバーで[一日のスケジュール]>[印刷用 CSV ファイル出力]を選択します。

名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。

- 3 CSV ファイルを保存するフォルダとファイル名を指定して[保存]をクリックします。

表示されている一日のスケジュールデータが、.csv という拡張子のファイルとして指定したフォルダに保存されます。

このファイルを表計算のアプリケーションで開くと、一日のスケジュールに指定されているプレイリストおよび制御コマンドのデータが開始時間と共に表示されます。ただし、先頭の行だけは、選択した一日のスケジュールのデータ(インデックス、分類、タイトル)です。

ご注意

CSV 形式のファイルは、他のデータとは異なり、Unicode(ユニコード)に対応していません。このため、Windows の地域と言語のオプションの設定によっては、正しく表示されない文字がある場合があります。

カレンダーを作成する

カレンダーとは

「カレンダー」は、ある期間にどの一日のスケジュールに従って再生を行うかを指定したデータです。曜日も指定することができます。

下の図は、カレンダーの設定ダイアログボックスの例です。すでに作成してある「一日のスケジュール」のインデックスと、その一日のスケジュールを使用する期間、曜日を指定して[OK]をクリックすると、カレンダーとして保存されます。



この例では、2004 年の 7/1 から 8/15 の期間は、051000001 というインデックスの一日のスケジュールに従って、毎日、再生を行うように指定しています。

カレンダーのデータを選択して NSP-1 に送信することで、指定されている一日のスケジュール、プレイリスト、プレイリストの再生に必要な素材のすべてのデータが同時に送信されます。

ご注意

BZNP-D1 が単独プレイリストモードおよび複合プレイリストモードの場合は、カレンダーのデータを手動で作成する必要はありません。

コンテンツ再生の期間や曜日を変更する場合は、プレイリストまたは一日のスケジュールを選択して、[スケジュールの変更]を実行してください。

◆ 詳しくは、「プレイリストの再生時間や再生期間、曜日を変更するには」(43 ページ)および「一日のスケジュールの使用期間や曜日を変更するには」(61 ページ)をご覧ください。

カレンダーのデータを作成する

BZNP-D1 がカレンダー手動作成モードの場合は、一日のスケジュールを作成したら、次の手順で再生期間を指定し、カレンダーデータを作成します。

- 1 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで、再生期間の設定を行う NSP-1 のグループを選択します。
- 2 コンテンツ管理ウィンドウで一日のスケジュールパネルを選択し、再生期間を指定するデータを右クリックして、表示されるメニューの [再生期間の設定] を選択します。

カレンダーの設定ダイアログボックスが表示されます。一日のスケジュール インデックス欄には、選択した一日のスケジュールデータのインデックスが表示されています。

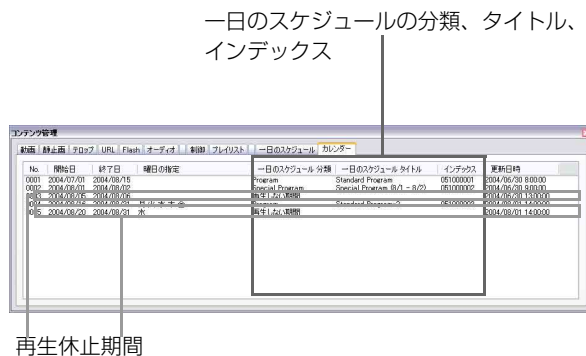


- 3 再生期間の始めと終わりの日付を指定します。ドロップダウンリストボックスのボタンをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダー上でクリックした日付がドロップダウンリストボックスに指定されます。
- 4 期間中の特定の曜日だけを指定したい場合は、その曜日のチェックボックスだけにチェックマークがついているようにします。各チェックボックスをクリックしてチェックマークをつけたりクリアしたりするほか、[全てチェックする]、[全てチェックしない] のボタンをお使いください。例えば、選択した一日のスケジュールを期間中の毎週土曜日だけ使用する場合は、一度 [全てチェックしない] をクリックしてから、土曜日のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。
- 5 [OK] をクリックします。

再生期間が指定されました。

コンテンツ管理ウィンドウのカレンダーパネルを選択

すると、指定した再生期間のデータを見ることができます。



カレンダーパネル
(データは登録日時の順に表示されます)

カレンダーのデータにはインデックスがないため、データは登録日時の順に表示されます。(カレンダーパネルに表示されているインデックス、分類、タイトルは、指定されている一日のスケジュールのもので、ご注意ください)

カレンダーパネル上でデータを選択し、NSP-1 に送信することで、カレンダーとともに一日のスケジュール、プレイリスト、素材のデータが送信され、NSP-1 上で再生できるようになります。

◆ データの送信については、「NSP-1 への送信」(53 ページ)をご覧ください。

一日のスケジュールのインデックスがわかっている場合は
上記の手順2の代わりに、コンテンツ管理ウィンドウのカレンダーパネルのどこかを右クリックして [新規作成] を選択すると、一日のスケジュール インデックス欄が空欄となっているカレンダーの設定ダイアログボックスが表示されます。

ここで再生期間の設定オプションボタンを選択し、再生期間とともに、一日のスケジュール インデックスを指定することもできます。

複数の一日のスケジュールの再生期間が重なっている場合のご注意

同じ日に、複数の一日のスケジュールの再生期間が重なっている場合には、後で送信したデータが優先されますので、ご注意ください。

例えば、次の例 A と例 B は、送信の順序が入れ替わっているだけですが、例 A の場合は、8 月 1 日、2 日だけ 051000002 というインデックスの一日のスケジュールが使用されるのに対し、例 B の場合は、8 月 1 日、2 日にも

051000001 というインデックスのスケジュールが使用されます。

カレンダーデータ 例 A

再生開始日	再生終了日	一日のスケジュール インデックス	送信日時
2004/07/01	2004/08/15	051000001	2004/06/30 10:00:00
2004/08/01	2004/08/02	051000002	2004/06/30 11:00:00

カレンダーデータ 例 B

再生開始日	再生終了日	一日のスケジュール インデックス	送信日時
2004/08/01	2004/08/02	051000002	2004/06/30 10:00:00
2004/07/01	2004/08/15	051000001	2004/06/30 11:00:00

ヒント

NSP-1 上での優先順位を確認するには、BZNP-D1 のメインウィンドウで NSP-1 リモート制御オプションボタンをクリックし、NSP-1 ドロップダウンリストボックスで希望の NSP-1 を選択して [情報更新] をクリックします。情報更新状況ウィンドウが表示された後、コンテンツ管理ウィンドウのリストが、選択した NSP-1 に保存されているコンテンツに変わります。後で送信された優先順位の高いデータほど、カレンダーパネルのリストの上のほうに表示されます。

カレンダーのデータを変更する

1 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グルーパドロップダウンリストボックスで、カレンダーの設定を変更する NSP-1 のグループを選択します。

2 コンテンツ管理ウィンドウでカレンダーパネルを選択し、変更するカレンダーのデータを右クリックして、表示されるメニューの [編集] を選択します。

現在のデータが表示されているカレンダーの設定ダイアログボックスが表示されます。

3 ダイアログボックス内の項目を変更し、[OK] をクリックします。

4 変更したカレンダーのデータを、NSP-1 に送信します。

◆ データの送信については、「NSP-1 への送信」 (53 ページ) をご覧ください。

カレンダーのデータを削除する

◆ すでに NSP-1 に送信したカレンダーのデータを削除する場合の手順については、「NSP-1 上のデータを削除する」 (75 ページ) をご覧ください。

1 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グルーパドロップダウンリストボックスで、NSP-1 のグループを選択します。

2 コンテンツ管理ウィンドウでカレンダーパネルを選択し、削除するカレンダーを選択します。複数のデータを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のデータをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のデータを順番にクリックします。

3 選択範囲を右クリックして、表示されるメニューの [削除] を選択します。または、キーボードの Delete キーを押します。

確認のメッセージが表示されます。

4 [はい] をクリックします。

選択したカレンダーが削除されます。

再生休止期間を設定する

BZNP-D1 のスケジュール作成モードにかかわらず、NSP-1 での再生を行わない期間を、NSP-1 のグループごとに指定することができます。

で注意

再生を行わない期間の設定は、送信の日時にかかわらず、再生スケジュールより高い優先順位になりますので、前もって NSP-1 での再生を行わない、お休みの日にちを設定しておくことができます。

ただし、後からその日を再生期間とするようなプレイリストやカレンダーなどの再生スケジュールデータを送信しても、再生は行われませんのでご注意ください。

1 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで、再生休止期間の設定を行う NSP-1 のグループを選択します。

2 月間カレンダーウィンドウが表示されていない場合は、メニューバーの [表示] > [月間カレンダー] を選択して、月間カレンダーウィンドウを表示させます。

3 月間カレンダー上のどこかを右クリックして、表示されるメニューの [新規作成] を選択します。

カレンダーの設定ダイアログボックスが表示されます。



カレンダーの設定ダイアログボックス
(カレンダー手動作成モード時)

4 必要の場合は、再生しない期間オプションボタンを選択します。

5 期間の始めと終わりの日付を指定します。
ドロップダウンリストボックスのボタンをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダー上でクリックした日付がドロップダウンリストボックスに指定されます。

6 期間中の特定の曜日だけを指定したい場合は、その曜日のチェックボックスだけにチェックマークがついているようにします。

各チェックボックスをクリックしてチェックマークをつけたりクリアしたりするほか、[全てチェックする]、[全てチェックしない]のボタンをお使いください。

例えば、期間中の毎週月曜日だけ再生休止にする場合は、一度 [全てチェックしない] をクリックしてから、月曜日のチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。

7 [OK] をクリックします。

指定した日は、月間カレンダー上に「再生しない日」として赤字で表示されます。

8 再生休止期間のカレンダーのデータを、NSP-1 に送信します。

月間カレンダーに赤字で表示されている日付を右クリックし、メニュー上の [NSP-1 へ送信] を選択してください。一度に複数の日付を再生休止日に指定した場合は、そのうちのどの日付を選択してもかまいません。

送信中は、送信状況ウィンドウに送信状況が表示されます。

送信を途中で中止するには、[中止] をクリックします。

一日のスケジュールやカレンダーを送信する

BZNP-D1 が複合プレイリストモードの場合は一日のスケジュールを、カレンダー手動作成モードの場合はカレンダーを選択して送信します。

- ◆ プレイリストや素材を単独で NSP-1 に送信することもできます。詳しくは、「プレイリストや素材を送信する」(53 ページ)をご覧ください。

で注意

- 再生中の NSP-1 に、次のような再生スケジュールを送信すると、NSP-1 での再生が一時中断され、再生中のプレイリストの先頭から再開されます。
 - 使用中の一日のスケジュールを変更したもの
 - 当日および当日の指定を含んだカレンダーデータ
例えば、8/15 に再生期間が 8/1 ～ 8/31 のカレンダーデータを送信するような場合です。
 NSP-1 での再生に影響を及ぼさないためには、送信するカレンダーデータに当日およびそれ以前の日付を含めないようにしてください。上記の例の場合は、再生期間を 8/16 ～ 8/31 に変更して送信します。
また、再生中のプレイリストを変更して送信した場合も、NSP-1 での再生が一時中断され、再生中のプレイリストの先頭から再開されますので、ご注意ください。
- 送信の途中でディスクの空き容量が足りなくなった場合、その NSP-1 への送信は中断されます。ただし、グループ内の他の NSP-1 への送信は継続されます。
送信後、空き容量の足りない NSP-1 上の不要なデータを削除して、再送信を行ってください。容量不足で送信ができなかった場合は、自動再送は行われません。
動画やオーディオと、その他の素材やプレイリストなどのデータは NSP-1 上の別な領域に保存されます。NSP-1 ステータスウィンドウで容量が不足している領域がどちらなのかを確認し、データを削除してください。

- ◆ NSP-1 ステータスウィンドウについて、詳しくは「送信状況を確認する」(54 ページ)をご覧ください。

- 1 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで、送信先の NSP-1 のグループを選択します。
- 2 コンテンツ管理ウィンドウで、送信する再生スケジュールに対応するパネルを選択します。
例えば、カレンダーのデータを送信する場合は、カレンダーパネルを選択します。

- 3 送信するカレンダーまたは一日のスケジュールのデータを選択します。
複数のデータを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のデータをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のデータを順番にクリックします。
- 4 選択部分を右クリックして、表示されるメニューの [NSP-1 へ送信] を選択します。

選択したデータに応じて、次の表に挙げられたすべてのデータ(のうち、まだ送信が行われていないもの)が順番に、手順 1 で選択したグループのすべての NSP-1 に送信されます。

選択したデータ	送信されるデータ
カレンダー	選択したカレンダーのデータ そこに指定されている一日のスケジュール そのスケジュールに指定されているすべてのプレイリスト そのプレイリストの再生に必要なすべての素材
一日のスケジュール	選択した一日のスケジュール そのスケジュールに指定されているすべてのプレイリスト そのプレイリストの再生に必要なすべての素材

送信中は、送信状況ウィンドウに送信状況が表示されます。
送信を途中で中止するには、[中止] をクリックします。
送信されたスケジュールで使用されるプレイリストおよび素材には、「自動削除日」が設定されます。

- ◆ 各 NSP-1 への送信状況や NSP-1 のステータスを確認する方法については、「送信状況を確認する」(54 ページ)をご覧ください。

月間カレンダーウィンドウから送信するには

BZNP-D1 がカレンダー手動作成モードになっている場合、カレンダーのデータを月間カレンダーウィンドウから NSP-1 に送信することができます。

- 1 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループドロップダウンリストボックスで、送信先の NSP-1 のグループを選択します。
- 2 メニューバーで [表示] > [月間カレンダー] を選択して月間カレンダーウィンドウを表示させ、送信を行うカレンダーデータの期間に対応する月を表示させます。

- 3** 送信を行うカレンダーデータの期間に含まれる日付を右クリックして、表示されるメニューで [NSP-1 へ送信] を選択します。

右クリックした日付のカレンダーデータが、選択されているグループの NSP-1 に送信されます。

ヒント

再生期間が2日以上のカレンダーデータの場合、再生期間に含まれている日付のどれを右クリックして送信してもかまいません。

また、再生休止期間のデータも、上記の手順で送信することができます。

通信禁止時間内に送信を行った場合は

環境設定ダイアログボックスのネットワークパネルには、NSP-1 との間の通信を禁止する時間帯の設定があります。この時間内に送信の操作を行うと BZNP-D1 は送信待機状態になり、メッセージが表示されます。

通信禁止時間が過ぎると、BZNP-D1 は自動的に送信を行い、メッセージ表示が消えます。

送信待機状態の間は、送信をキャンセルしないかぎり、使用できる BZNP-D1 の機能に制限がありますので、ご注意ください。

コンテンツの差し替え

差し替えを行う素材の実ファイルは、特定のフォルダに保存するなど、他の素材とは分けて管理することをお勧めします。

運用中の素材やプレイリスト、一日のスケジュールなどのコンテンツは、次の方法で差し替えることができます。

素材を差し替える

動画、静止画、Flash およびオーディオの素材は、素材に対応している実ファイルを置き換えることで、登録後に別の内容に差し替えることができます。この手法によってプレイリストを変更せずに再生内容を変更できるため、天気分布の地図や定時のニュースなど、定期的に内容を更新したい素材の差し替えに便利です。

1 素材に対応する実ファイルを、新しいファイルで上書きします。

2 差し替えた素材を選択して、NSP-1 への送信を行います。

素材そのものではなく、差し替える素材が使用されているプレイリストや一日のスケジュールの送信でもかまいません。プレイリストや一日のスケジュール送信時には、含まれている素材に未送信のものがあれば、同時に送信が行われます。

◆ 素材やプレイリスト、一日のスケジュールを NSP-1 に送信する手順については、「プレイリストや素材を送信する」(53 ページ) をご覧ください。

で注意

- 動画や Flash、オーディオのファイルを差し替える場合、再生時間の異なる素材に差し替えてしまうと、プレイリスト再生時にファイルの途中で再生が切れてしまったり、イベントの最後がフリーズ画や無音状態になってしまう場合があります。差し替えるファイルの再生時間が元のファイルと同じになるようご注意ください。
- 誤って別の素材を上書きしてしまうと、意図したようには再生が行われませんので、十分ご注意ください。

プレイリストやスケジュールを差し替える

再生中のNSP-1のプレイリストやスケジュールを差し替えるには、次の方法があります。

NSP-1での再生に影響がある場合がありますので、十分、ご注意ください。

プレイリストを差し替える場合

- 使用したいプレイリストを選択し、[送信してNSP-1でレビュー]を行う（51ページ参照）

現在の再生が中断されて、選択したプレイリストの再生が行われます。プレイリストの再生が終わると、スケジュールされているプレイリストまたはスクリーンセーバーの先頭に戻ります。

- プレイリストの内容を変更して送信する（41ページおよび53ページ参照）

現在再生中のプレイリストの場合は、再生が一時停止し、プレイリストの先頭から差し替えられた内容で再生が始まります。

再生中でないプレイリストの場合は、次の再生時から変更された内容になります。

一日のスケジュールを差し替える場合

- 一日のスケジュールの内容を変更して送信する（60ページおよび53ページ参照）

本日使用中の一日のスケジュールの場合は、再生が一時停止し、新しい一日のスケジュールに指定されているプレイリストの先頭から再生が始まります。

本日使用されていない一日のスケジュールの場合は、次に使用される時から変更された内容になります。

- 希望の一日のスケジュールと本日を含むカレンダーデータを新規に作成し、カレンダーデータを送信する（58ページ、65ページおよび53ページ参照）

再生が一時停止し、新しい一日のスケジュールに指定されているプレイリストの先頭から再生が始まります。

NSP-1 のリモート制御

BZNP-D1 は、NSP-1 に再生スケジュールや素材のデータを送信するだけでなく、ネットワークを介して、次のような制御を行うことができます。

- NSP-1 上でのプレイリストまたは素材のプレビュー
NSP-1 上でのプレビューについては、「再生の確認 (NSP-1 でのプレビュー)」(51 ページ) をご覧ください。
- NSP-1 で行われているスケジュール再生の停止
- テロップの割り込み再生
- 制御コマンドを使用した、NSP-1 のオーディオレベルや接続されている外部機器の制御
- NSP-1 上のデータの削除

NSP-1 で行われているスケジュール再生を停止する

現在 NSP-1 で行われている一日のスケジュールとプレイリストに沿った再生を停止するには、次のどちらかの操作を行います。

どちらの場合も再生が停止して、スクリーンセーバーの再生に替わります。

本日を再生休止期間にする

本日一日を「再生しない期間」としたカレンダーデータを作成し、NSP-1 に送信します。

グループ内のすべての NSP-1 の再生が停止します。

- ◆ 再生しない期間のカレンダーデータの作成については「再生休止期間を設定する」(68 ページ) を、NSP-1 への送信については「プレイリストや素材を送信する」(53 ページ) をご覧ください。

使用中のカレンダーデータを削除する

使用されている本日のカレンダーデータを NSP-1 から削除します。

個別に指定する NSP-1 の再生を停止することができますが、カレンダーデータが本日以降の日にも使用されるものである場合は、データを再送信する必要があります。

- ◆ 「NSP-1 上のデータを削除する」(75 ページ) をご覧になり、現在使用されているカレンダーデータを削除してください。

テロップの割り込み再生を行う

通常の再生方法では、素材とプレイリスト、再生スケジュールをあらかじめ NSP-1 に送信して準備しておきますが、その他に、テロップを NSP-1 に送信すると同時に再生を実行させるテロップの割り込み再生の機能が用意されており、ニュース速報など緊急性のある情報を表示させることができます。

NSP-1 で再生されているスクリーンセーバーまたはプレイリストの上にテロップが表示されます。元々の再生内容にテロップが含まれている場合、そのテロップの代わりに割り込みテロップの内容が表示されます。(同時に 2 つのテロップが再生されることはありません)

- 1 必要な場合は、割り込み再生を行うためのテロップを作成します。

- ◆ テロップの作成方法については、「テロップを作成する」(31 ページ) をご覧ください。

- 2 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、グループロップダウンリストボックスで、割り込み再生を行う NSP-1 のグループを選択します。

- 3 コンテンツ管理ウィンドウで、テロップパネルを選択します。

- 4 割り込み再生を行うテロップを右クリックして、表示されるメニューの[送信して NSP-1 で割り込み再生]を選択します。

手順 2 で選択したグループのすべての NSP-1 に、選択したテロップが送信されます。

NSP-1 では、テロップを受け取り、再生の準備が完了すると自動的にテロップの再生が始まります。

ヒント

割り込み再生のテロップの表示位置は、あらかじめ指定しておくことができます。

- ◆ 「割り込みテロップの表示位置の設定」(76 ページ) をご覧ください。

- 5 コンテンツ管理ウィンドウのどこかを右クリックして、[NSP-1 の割り込み再生停止]を選択し、割り込み再生を停止します。

[NSP-1 の割り込み再生停止]を選択するまで NSP-1 は割り込み再生を続けます。自動的に元の再生内容には戻りませんのでご注意ください。

ご注意

- [NSP-1 の割り込み再生停止] を選択してテロップの再生を停止しない限り、選択したテロップが表示され続けます。NSP-1 で元々再生していたプレイリストが終了しても、テロップだけは残りますのでご注意ください。
- 割り込み再生前に再生されていたプレイリストなどにテロップが含まれていた場合、[NSP-1 の割り込み再生停止] を選択しても、元のテロップはすぐには表示されません。テロップ表示が始まるのは次のテロップのイベントからとなります。

割り込み再生するテロップがすでに NSP-1 上にある場合は

すでにテロップを NSP-1 に送信してある場合は、特定の NSP-1 を選んで、割り込み再生を行うことができます。

- ◆ 素材やプレイリストを NSP-1 に送信する方法については、「プレイリストや素材を送信する」(53 ページ) をご覧ください。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、テロップパネルを選択します。
- 2 メインウィンドウで、NSP-1(リモート制御) オプションボタンを選択し、NSP-1 ドロップダウンリストボックスで、割り込み再生を行う NSP-1 を選択して [情報更新] をクリックします。

情報更新状況ウィンドウが表示された後、選択した NSP-1 に保存されているデータがコンテンツ管理ウィンドウに表示されます。

- 3 割り込み再生を行うテロップを右クリックして、表示されるメニューの [NSP-1 で割り込み再生] を選択します。

手順 1 で選択した NSP-1 で再生が始まります。

ご注意

NSP-1 上にあるテロップを使用して割り込み再生を行うと、割り込みテロップの表示位置の設定にかかわらず、上から 10 ピクセルの位置に表示されます。また、表示効果が「常時」または「点滅」のテロップでも、中央揃え (センタリング) は行われません。

- 4 コンテンツ管理ウィンドウのどこかを右クリックして、[NSP-1 の割り込み再生停止] を選択し、割り込み再生を停止します。
[NSP-1 の割り込み再生停止] を選択するまで NSP-1 は割り込み再生を続けます。自動的には元の再生内容には戻りませんのでご注意ください。

ご注意

- [NSP-1 の割り込み再生停止] を選択してテロップの再生を停止しない限り、選択したテロップが表示され続けます。NSP-1 で元々再生していたプレイリストが終了しても、テロップだけは残りますのでご注意ください。
- 割り込み再生前に再生されていたプレイリストなどにテロップが含まれていた場合、[NSP-1 の割り込み再生停止] を選択しても、元のテロップはすぐには表示されません。テロップ表示が始まるのは次のテロップのイベントからとなります。

NSP-1 や外部機器の制御を行う

NSP-1 のオーディオレベルの調整、接続されているプラズマディスプレイやプロジェクターの電源の ON/OFF、入力切り替えなど、コンテンツとして登録されている制御コマンドを使用することで、BZNP-D1 から NSP-1 やその外部機器の制御を行うことができます。

- ◆ 制御コマンドの登録については、「制御コマンドを追加登録する」(35 ページ)をご覧ください。

ご注意

BZNP-D1 に保存されている制御コマンドを送信して制御を行うことも、NSP-1 にすでに保存されている制御コマンドを選択して行うこともできます。

BZNP-D1 から制御コマンドを送信する場合は、制御は NSP-1 のグループ単位で行われます。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、制御パネルを選択します。
 - 2 メインウィンドウで BZNP-D1(PC) オプションボタンを選択し、グループリストボックスで、制御を行う NSP-1 のグループを選択します。
または、NSP-1(リモート制御)オプションボタンを選択し、NSP-1 ドロップダウンリストボックスで、制御を行う単体の NSP-1 を選択して [情報更新] をクリックします。
 - 3 使用する制御コマンドを右クリックして、表示されるメニューの [手動での制御] を選択します。

手順 1 で BZNP-D1(PC) オプションボタンを選択した場合は、選択した制御コマンドが、選択したグループのすべての NSP-1 に送信され、実行されます。
NSP-1(リモート制御)オプションボタンを選択した場合は、選択した NSP-1 上で制御コマンドが実行されます。
- ◆ 各 NSP-1 への送信状況や NSP-1 のステータスを確認する方法については、「送信状況を確認する」(54 ページ)をご覧ください。

NSP-1 上のデータを削除する

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、削除するデータに対応するパネルを選択します。
例えば、プレイリストの削除を行う場合は、プレイリストパネルを選択します。
- 2 メインウィンドウで、NSP-1(リモート制御)オプションボタンを選択し、NSP-1 ドロップダウンリストボックスでデータの削除を行う NSP-1 を選択して [情報更新] をクリックします。

情報更新状況ウィンドウが表示された後、選択した NSP-1 に保存されているデータがコンテンツ管理ウィンドウに表示されます。
- 3 削除するデータを選択します。
複数のデータを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のデータをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のデータを順番にクリックします。
- 4 選択部分を右クリックして、表示されるメニューの [削除] を選択します。
または、キーボードの Delete キーを押します。

確認のメッセージが表示されます。

- 5 [はい] をクリックします。

削除状況ウィンドウが表示され、NSP-1 上のデータが削除されます。
[中止] をクリックすると、データの削除を途中で中止することができますが、すでに削除してしまったものを元に戻すことはできません。

ご注意

プレイリストや、プレイリストの再生に必要な素材であっても、削除は可能です。
必要なプレイリストや素材を誤って削除してしまわないようご注意ください。

この章では、次の設定の操作について説明します。

- 割り込みテロップの表示位置の設定
NSP-1 でのコンテンツ再生中にニュース速報など緊急性のある情報を表示させることができるように、BZNP-D1 にはテロップの割り込み再生の機能が用意されています。この、割り込み再生されるテロップの表示位置を設定しておくことができます。
- NSP-1 のスクリーンセーバーの設定
再生するものがスケジュールされていないときに、NSP-1 が再生するプレイリストを指定します。
- 画面レイアウトのテンプレートの管理
BZNP-D1 では、NSP-1 の解像度とディスプレイの設置向きに応じて、プレイリストに適用する、画面レイアウトの「テンプレート」を作成することができます。この章では、主にテンプレートの管理について説明します。

- ◆ テンプレート作成の手順について詳しくは、「画面レイアウトのテンプレート設定」(25 ページ)をご覧ください。

また、システムの導入時に行う設定の操作で、第 3 章で説明しなかった項目について説明します。

- BZNP-D1 の環境設定項目
- NSP-1 およびグループ登録・編集操作の詳細

必要に応じてこの章の説明をお読みにになり、設定を行ってください。

割り込みテロップの表示位置の設定

ニュース速報など緊急性のある情報をコンテンツ再生中に表示させることができるように、BZNP-D1 にはテロップの割り込み再生の機能が用意されています。このテロップの表示位置(Y 座標)は、次の手順で設定します。

ヒント

この操作で、BZNP-D1 が管理するすべての NSP-1 に対して割り込みテロップの表示位置を設定します。各テロップに設定したり、NSP-1 のグループごとに個別に設定したりするわけではありません。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウでテロップパネルを選択します。
- 2 テロップパネルのどこかを右クリックし、表示されるメニューの[割り込み再生の位置設定]を選択します。

割り込み再生の位置設定ダイアログボックスが表示されます。



- 3 テロップの上端の Y 座標を指定して、[OK] をクリックします。
画面の上端が 0 となります。画面の解像度が VGA(640 × 480 ピクセル)で、ディスプレイ設置方向が横の場合、画面の最上部に割り込みテロップを表示するには

0 を、最下部に表示するには 465 程度 (文字の大きさによって異なります) を指定します。

ヒント

- 表示位置の X 座標は指定しません。割り込み再生では、表示効果が「常時」や「点滅」の場合、テロップは左右中央揃え (センタリング) して表示されます。
- 画面の解像度などにより、指定している Y 座標が、表示範囲外となっている場合には、自動的に画面の最下部に表示されるよう補正されます。

NSP-1 のスクリーンセーバーの設定

NSP-1 のグループごとに、再生するものがスケジュールされていないときに、NSP-1 が再生するプレイリストを指定します。NSP-1 に電源が入っていて、再生のスケジュールが指定されていないときに、このプレイリストを再生します。

同じ位置に同じ画像を表示しつづけると、プラズマディスプレイや液晶ディスプレイに焼きつき (残像現象) が生じることがあるので、動画や一定時間で切り替わる静止画など動きのあるプレイリストを指定することをお勧めします。

- 1 メインウィンドウで、BZNP-D1(PC) オプションボタンが選択されていることを確認し、スクリーンセーバーの設定を行う NSP-1 のグループを、グループドロップダウンリストボックスで選択します。
- 2 コンテンツ管理ウィンドウで、プレイリストパネルを選択します。
- 3 スクリーンセーバーにするプレイリストを右クリックし、表示されるメニューの [NSP-1 ヘスクリーンセーバーとして送信] を選択します。

スクリーンセーバーとしてプレイリストを送信すると、開始日と終了日がともに「9999/12/31」となっているカレンダーのデータが NSP-1 上に自動的に作成されます。これが、設定したスクリーンセーバーのデータです。

で注意

一度プレイリストをスクリーンセーバーとして NSP-1 に送信すると、そのプレイリストおよび使用されている素材の自動削除日は 9999 年 12 月 31 日となり、自動削除の対象からはずれます。

別のスクリーンセーバーに変更したときや、出荷時に組み込まれているスクリーンセーバーに戻した場合、使用しなくなったプレイリストや素材をずっと NSP-1 上に保存しておきたくない場合は、自動削除日をクリアしてください。自動削除日をクリアしておけば、次にその素材やプレイリストが再生スケジュールによって送信される際に、再生スケジュールによって決まる自動削除日が設定されます。

- ◆ NSP-1 上のコンテンツの削除については「NSP-1 上のデータを削除する」(75 ページ)を、自動削除日のクリアについては「自動削除日に関する操作」(55 ページ)をご覧ください。

出荷時のスクリーンセーバーに戻すには

開始日と終了日がともに「9999/12/31」となっているスクリーンセーバーのデータを NSP-1 から削除すると、NSP-1 に組み込まれているスクリーンセーバーに戻ります。

ヒント

スクリーンセーバーとして NSP-1 に保存されているカレンダーのデータを削除する操作です。

- 1 コンテンツ管理ウィンドウで、カレンダーパネルを選択します。
- 2 メインウィンドウで、NSP-1(リモート制御) オプションボタンを選択し、組み込みのスクリーンセーバーに戻したい NSP-1 を NSP-1 ドロップダウンリストボックスで選択して [情報更新] をクリックします。

情報更新状況ウィンドウが表示された後、選択した NSP-1 に保存されているデータがコンテンツ管理ウィンドウに表示されます。

- 3 スクリーンセーバーのデータを選択します。
開始日と終了日がともに「9999/12/31」となっているカレンダーデータが、現在のスクリーンセーバーです。
- 4 選択部分を右クリックして、表示されるメニューの [削除] を選択します。
または、キーボードの Delete キーを押します。

確認のメッセージが表示されます。

- 5 [はい] をクリックします。

削除状況ウィンドウが表示され、NSP-1 上のスクリーンセーバーのデータが削除されます。
スクリーンセーバーとして登録されているカレンダーデータがなければ、出荷時に設定されている組み込みのスクリーンセーバーが使用されます。

スクリーンセーバーを無効にするには

スクリーンセーバーを使用しないようにするには、次の 2 点を実行します。

- BZNP-D1 でスクリーンセーバーとしてプレイリストを指定して使用している場合には、上の「出荷時のスクリーンセーバーに戻すには」の方法で組み込みのスクリーンセーバーに戻します。
- Web ブラウザーを使用した NSP-1 のユーザー設定画面でスクリーンセーバーの設定を「使用しない」にします。

ご注意

NSP-1 のユーザー設定で無効にできるのは、出荷時に設定されていた組み込みのスクリーンセーバーのみです。
BZNP-D1 でスクリーンセーバーを送信し使用している場合は、NSP-1 側でスクリーンセーバーの設定を「使用しない」にしても、NSP-1 に電源が入っていて、再生のスケジュールが指定されていないときには BZNP-D1 で指定したスクリーンセーバーのプレイリストが再生されます。

画面レイアウトのテンプレートの管理

BZNP-D1 では、NSP-1 の解像度とディスプレイの設置向きに応じて、画面レイアウトの「テンプレート」を作成し、プレイリストに適用することができます。

ヒント

NSP-1 の解像度とディスプレイの向きのそれぞれに対して、50 個までのテンプレートを管理できます。

- ◆ 作成したテンプレートをプレイリストに適用する方法については、「プレイリストを作成する」(39 ページ) の手順をご覧ください。

テンプレート設定ダイアログボックスを表示させる

テンプレートの作成、変更、削除は、いずれもテンプレート設定ダイアログボックスと画面レイアウトウィンドウで行います。

テンプレート設定ダイアログボックスと画面レイアウトウィンドウは、次のいずれかの方法で表示させます。

グループ設定ダイアログボックスから



グループ設定ダイアログボックス

- 1 グループ設定ダイアログボックスで、作成するテンプレートの解像度とディスプレイの向きが指定されているグループをダブルクリックします。
または、グループを右クリックして、メニュー上の[グループ変更]を選択します。

グループ編集ダイアログボックスが表示されます。

- 2 [テンプレート設定] をクリックします。

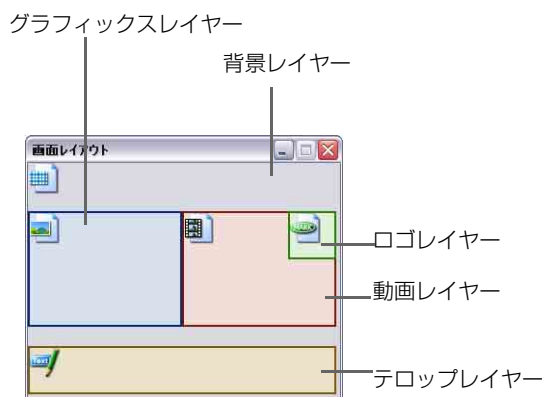
グループに設定されている解像度と向きに応じた画面

レイアウトウィンドウと、テンプレート設定ダイアログボックスが表示されます。

メインウィンドウのメニューバーから

- 1 メインウィンドウのメニューバーで[設定]>[テンプレート設定]を選択します。

メインウィンドウのグループドロップダウンリストボックスで選択されているグループの解像度と向きに応じた画面レイアウトウィンドウとテンプレート設定ダイアログボックスが表示されます。



画面レイアウトウィンドウ



テンプレート設定ダイアログボックス

この2つの画面を使用して、テンプレートの作成、変更、削除を行います。

- ◆ 新しいテンプレートの作成については、「画面レイアウトのテンプレート設定」(25 ページ) をご覧ください。

ヒント

画面レイアウトウィンドウのどこかを右クリックすると表示されるメニューにある[50%表示]、[100%表示]をクリックして、画面レイアウトウィンドウの大きさを切り替えることができます。

既存のテンプレートを変更する

画面レイアウトウィンドウとテンプレート設定ダイアログボックスで、作成済みのテンプレートの名称や設定を変更できます。

ヒント

テンプレートを変更しても、既に作成したプレイリストのレイアウト設定には影響は及びません。

テンプレートの名称を変更する

- 1 テンプレート設定ダイアログボックスのテンプレートドロップダウンリストボックスで、名称を変更したいテンプレートを選択します。

画面レイアウトウィンドウとテンプレート設定ダイアログボックスには、選択したテンプレートの各レイヤーの配置が表示されます。

また、選択したテンプレートの名称が変更可能になります。

- 2 希望の名称に変更して、[OK] をクリックします。

テンプレートの設定を変更する

- 1 テンプレート設定ダイアログボックスのテンプレートドロップダウンリストボックスで、設定を変更したいテンプレートを選択します。

画面レイアウトウィンドウとテンプレート設定ダイアログボックスには、選択したテンプレートの各レイヤーの配置が表示されます。

- 2 必要の場合は、使用するレイヤーの設定を変更します。テンプレート設定ダイアログボックスで、使用するレイヤーのチェックボックスにチェックマークを付け、使用しないレイヤーのチェックボックスをクリアします。

チェックボックスをクリアすると、画面レイアウトウィンドウ上の該当するレイヤーが表示されなくなります。

- 3 大きさや位置の設定を変更したいレイヤーがある場合は、設定を変更します。
次のいずれかの方法で、各レイヤーの位置とサイズを指定してください。

- 画面レイアウトウィンドウでレイヤーを選択し、表示されたレイヤーのハンドルをマウスでドラッグして、希望の位置とサイズにする
テンプレート設定ダイアログボックスのどこかをクリックすると、画面レイアウトウィンドウでのレイヤーの位置とサイズに対応して、該当するレイヤーの設定値が変化します。
- 画面レイアウトウィンドウでレイヤーを選択し、右クリックして表示されるメニューの[フル画面サイズに変更]、[1/4画面サイズに変更]、[素材の画像サイズに変更]を選択する
[フル画面サイズに変更]および[1/4画面サイズに変更]は、グラフィックス、動画、ロゴレイヤーに対して使用できます。[素材の画像サイズに変更]が使用できるのは動画レイヤーのみで、素材のサイズによらず640×480ピクセル(設置方向が縦の場合は480×640ピクセル)になります。
テンプレート設定ダイアログボックスのどこかをクリックすると、該当するレイヤーの設定値が変化します。
- テンプレート設定ダイアログボックスで、レイヤーの位置とサイズの数値を変更する
各項目の数値を変更して画面レイアウトウィンドウのどこかをクリックすると、該当するレイヤーの表示も変化します。
- グラフィックス、動画、ロゴレイヤーについては、素材の縦横比保持チェックボックスにチェックマ

クをつけることで、プレイリストで画面のレイアウトを変更する際に、素材の縦横比を変えないようにすることができます。

ただし、動画以外のレイヤーでは、実際に素材の縦横比を保持して表示させるには、プレイリスト上で画面のレイアウトの変更操作を行う必要があります。変更操作をしなければ、素材の縦横比によらず、レイヤーのサイズで表示されます。また、グラフィックスレイヤーに URL で指定する Web ページについては、素材の画像サイズが取得できないため、素材の縦横比保持の機能は適用されません。

動画の場合は、素材のサイズによらず、4:3 (ディスプレイの設置方向が縦の場合は 3:4) となります。

4 [OK] をクリックします。

画面レイアウトウィンドウとテンプレート設定ダイアログボックスが閉じます。

で注意

- レイヤーの重なり順を変更することはできません。
 - 背景レイヤーは、常にフル画面表示になります。
 - NSP-1 での各レイヤーの配置やサイズには、さまざまな制限があります。プレイリスト作成後は、意図したとおりに表示されるかどうか、必ず NSP-1 を使用してプレビューを行って確認してください。
- ◆ プレビューの方法については、「再生の確認 (NSP-1 でのプレビュー)」(51 ページ) をご覧ください。

プレイリストの画面レイアウトをもとに新しいテンプレートを作成する

プレイリスト作成時に調整した画面レイアウトをもとに、新しいテンプレートを作成することができます。

1 プレイリストウィンドウで、画面レイアウトを調整します。

- ◆ 詳しくは、「画面レイアウトを調整する」(49 ページ) をご覧ください。

2 レイアウト設定ダイアログボックスの [テンプレートに追加] をクリックします。

調整した画面レイアウトが、新しいテンプレートとして保存されます。テンプレートの名称は、テンプレートドロップダウンリストボックスに表示されているものになります。

3 メインウィンドウのメニューバーで [設定] > [テンプレート設定] を選択してテンプレート設定ダイアログボックスを表示させ、手順 2 で保存されたテンプレートの名称を希望の名称に変更します。

- ◆ テンプレートの名称の変更方法については、「テンプレートの名称を変更する」(80 ページ) をご覧ください。

テンプレートを削除する

不要になったテンプレートは、テンプレート設定ダイアログボックスで削除できます。

ご注意

テンプレートを削除しても、既に作成したプレイリストのレイアウト設定には影響は及びません。

ただし、テンプレートは NSP-1 の解像度とディスプレイの設置向きが同じグループ間で共通に使用します。削除すると、他のグループでも使用できなくなりますので、ご注意ください。

- 1 テンプレート設定ダイアログボックスのテンプレートドロップダウンリストボックスで、削除したいテンプレートを選択します。

画面レイアウトウィンドウとテンプレート設定ダイアログボックスには、選択したテンプレートの各レイヤーの配置が表示されます。

- 2 テンプレート設定ダイアログボックスの[削除]をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

- 3 [はい]をクリックします。

選択したテンプレートが削除されます。

- 4 テンプレート設定ダイアログボックスと画面レイアウトウィンドウを閉じるには、[OK] または [キャンセル] をクリックします。

BZNP-D1 の環境設定の項目

BZNP-D1 の環境設定ダイアログボックスは、メニューバーで [設定] > [環境設定] を選択すると表示されます。

◆ 環境設定の方法については、「BZNP-D1 の環境設定」(21 ページ) をあわせてご覧ください。

環境設定ダイアログボックスには、3 つのパネルがあり、次の設定項目があります。

スケジュール作成モードパネル

スケジュール作成の運用方法によって、次の 3 種類のいずれかを選択します。

1: 単独プレイリストモードオプションボタン

ひとつのプレイリストを、一日中繰り返して再生するスケジュール作成モードです。

「プレイリスト」で、再生時間と期間を指定します。一日のスケジュールとカレンダーのデータは、作成する必要がありません。

2: 複合プレイリストモードオプションボタン

時刻を指定してディスプレイの電源 On/Off などの制御を行ったり、時間帯を指定して一日に複数のプレイリストを再生するためのスケジュール作成モードです。

「一日のスケジュール」で、再生期間を指定します。カレンダーのデータは、作成する必要がありません。

3: カレンダー手動作成モードオプションボタン

BZNP-D1 の V2.1 以前と同じように再生スケジュールを指定するため、または、毎月、2 週目と 4 週目に同じ一日のスケジュールを使用するなど、一日のスケジュールを複数の期間に使用するためのスケジュール作成モードです。

「カレンダー」で再生期間を指定します。

コンテンツ管理パネル

BZNP-D1 ID テキストボックス

通常は0を指定します。

複数のBZNP-D1で同じネットワーク上の共有フォルダ内の素材を使用するような運用の場合には、BZNP-D1 ID テキストボックスに、各BZNP-D1のIDとなる0～9のいずれかを指定します。このように、異なるBZNP-D1で登録、作成した素材やプレイリスト、再生スケジュールのインデックスが重ならないようにすることで、まちがってデータを上書きしてしまう事態を避けることができます。

例えば、1台目に1、2台目に2というIDを指定すると、1台目で作成するプレイリストは121000001から、2台目で作成するものは221000001からのインデックスが割り振られ、どこで作成されたものかわかるようになります。

動画、静止画、テロップ、URL、Flash、オーディオ、制御のそれぞれに対する開始インデックステキストボックスと素材の使用チェックボックス

それぞれの素材をシステムで使用するかどうかを、素材の使用チェックボックスで指定します。また、素材を登録するときに、システムが自動的に割り振るインデックスの開始番号を、素材の種類ごとに指定します。

静止画については、特定のレイヤーでのみ使用する場合は、使用しないレイヤーに該当するチェックボックス(背景で使用、グラフィックスで使用、ロゴで使用)をクリアします。また、制御についても、プレイリストまたは一日のスケジュールのどちらかでのみ使用する場合は、使用しないほうのチェックボックス(プレイリストで使用、一日のスケジュールで使用)をクリアし、使用するほうにはチェックマークを付けます。

インデックスは、1桁のBZNP-D1 ID + データの種類を示す2桁の数字 + 6桁の数字で構成されます。6桁の数字は登録する素材ごとに自動的に1ずつ増えていきます。

一日のスケジュール、プレイリストに対する開始インデックステキストボックス

素材の場合と同様に、プレイリストと一日のスケジュールが保存されるときにシステムが自動的に割り振るインデックスの開始番号を指定します。

で注意

各コンテンツでインデックスの下6桁が999000以上の範囲は、システムの使用およびサンプルデータ用に予約されています。開始インデックステキストボックスには、999000以上の数値は入力できません。

動画のビデオフォーマットドロップダウンリストボックス

動画素材で使用するビデオ信号(NTSCまたはPAL)を選択します。日本では通常NTSCを選択します。

ここで選択したビデオ信号の素材だけが、コンテンツ管理ウィンドウの動画パネルに表示されます。

ベースフォルダテキストボックス

素材、プレイリスト、再生スケジュールのデータを保存するフォルダを指定します。データは、種類ごとにここで指定したフォルダの中に作られるサブフォルダに保存されます。

通常は変更する必要はありません。複数のBZNP-D1で同じネットワーク上の共有フォルダ内の素材を使用するような運用を行う場合には、共有フォルダの絶対パスかアプリケーションがインストールされているフォルダからの相対パスを入力するか、または[参照]をクリックして、フォルダの階層構造をたどって指定してください。

素材の登録、作成、プレイリストや再生スケジュールの編集、データの送信を別々のオペレーターが別々のPCで行うような場合には、ベースフォルダを指定することによって、操作が容易になります。ただし、他のBZNP-D1で行われたデータの変更は、BZNP-D1の起動時にしか反映されませんのでご注意ください。

で注意

- 動画、静止画、Flash、オーディオといった、他のアプリケーションプログラムで作成される素材の場合は、ファイル自体がこのフォルダ内に保存されるわけではありません。BZNP-D1への登録時に、素材の実ファイルが保存されている場所が、分類やタイトルなどの素材データと共に、このフォルダに保存されます。
- 素材やプレイリスト、再生スケジュールを作成した後でベースフォルダを変更すると、作成済みのデータは使用できなくなりますのでご注意ください。
- 複数のBZNP-D1で同じ共有フォルダ内の素材を使用する場合、同時に同じインデックスの素材やプレイリスト、再生スケジュールを作成、変更した場合には、更新日時が一番新しいデータが有効となり、先に変更したオペレーターのデータが上書きされてしまいます。これを防ぐため、各BZNP-D1で、BZNP-D1 ID テキストボックスに異なる値を設定することをお勧めします。

ネットワークパネル

通信禁止時間スピンボックス

データの送信など、NSP-1との通信をしないようにする時間帯を設定します(24時制)。

通常は、NSP-1に設定されている運用休止時間と同じ時間帯を設定します。ネットワークの混雑した時間帯を避けて、夜間のみデータ送信を行うように設定したりすることもできます。ただし、この時間帯にはNSP-1上のデータの確認

や削除、NSP-1 上でのプレビューも行えなくなりますのでご注意ください。

ヒント

この設定を利用して、再生スケジュールデータの送信予約を行うことができます。通信禁止時間内に再生スケジュールデータの送信を行うと BZNP-D1 は待ち状態になり、通信禁止時間が過ぎると、自動的に送信を行います。例えば、通信禁止時間が 10:00 ～ 22:00 など、夜間のみデータ通信を行えるような場合は、17:00 に送信の操作を行うとその時点では BZNP-D1 は送信待機状態になります。22:00 を過ぎると自動的に送信を行いますので、通信可能となるまで送信のために残っている必要はありません。ただし、送信待機状態の間は、使用できる BZNP-D1 の機能に制限があります。このため、複数のグループに対して、この方法で送信を行うことはできませんのでご注意ください。

HTTP ポートテキストボックス

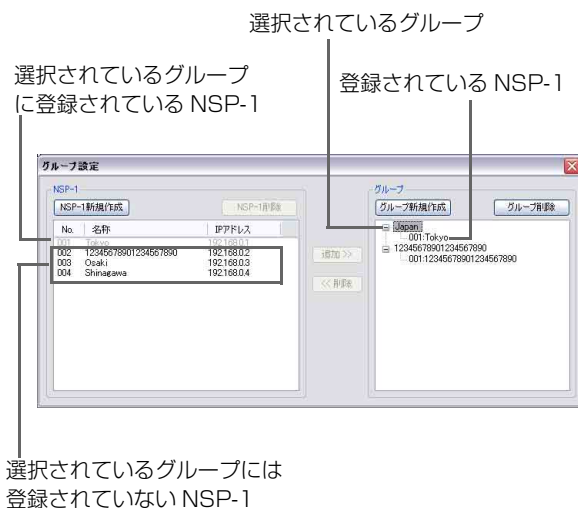
NSP-1 との通信に使用するポート番号を指定します。NSP-1 の工場出荷時の設定は 4980 ですので、通常は 4980 をお使いください。

別の番号をお使いになる場合は、各 NSP-1 の設定も同じ番号に変更する必要があります。「高度な設定」画面の「HTTP」の設定を変更してください。

- ◆ NSP-1 の設定について詳しくは、NSP-1 の取扱説明書をお読みください。

NSP-1 およびグループ登録・編集操作の詳細

BZNP-D1 で管理する NSP-1 およびそのグループの登録方法については「NSP-1 の登録とグループの作成」（23 ページ）に記載されていますが、ここで、登録を行った NSP-1 やグループの変更や、設定項目の詳細について説明します。NSP-1 およびグループの登録・編集作業は、メニューバーで [設定] > [グループ設定] を選択すると表示される、グループ設定ダイアログボックスで行います。



NSP-1 のデータを変更する

名称や IP アドレス、パスワードを変更する

1 台の NSP-1 が複数のグループに所属している場合など、グループ設定ダイアログボックス中に同じ NSP-1 が複数表示されている場合は、どの表示を選択してデータを変更してもかまいません。

- 1 グループ設定ダイアログボックスで、変更したい NSP-1 をダブルクリックします。または、NSP-1 を右クリックして、表示されるメニューの [NSP-1 変更] をクリックします。

NSP-1 編集ダイアログボックスが表示されます。

- 2 変更したい項目を変更します。

◆ NSP-1 編集ダイアログボックスの各項目についての詳細は、「[NSP-1 登録時の設定項目]」（86 ページ）をご覧ください。

- 3 IP アドレスやパスワードを変更した場合など、NSP-1 への接続を確認するには、[接続チェック] をクリックします。

- 4 [OK] をクリックします。

NSP-1 編集ダイアログボックスが閉じます。

- 5 他の NSP-1 やグループのデータを変更する場合は、変更の作業を行います。
他に変更するデータがない場合は、グループ設定ダイアログボックスの右上隅にある [×] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

所属するグループを変更する

1 台の NSP-1 は、複数のグループに所属させることができます。次の操作で、希望のグループに所属させたり、所属されているグループから登録を削除したりしてください。

希望のグループに所属させるには

- 1 グループ設定ダイアログボックスのグループリストで、希望のグループをクリックします。

NSP-1 リストに、そのグループに所属している NSP-1 がグレーで、所属していない NSP-1 が黒で表示されます。

- 2 NSP-1 リストで選択したグループに所属させる NSP-1 を選択します。
複数の NSP-1 を選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、希望の NSP-1 を順番にクリックします。ある範囲の NSP-1 をすべて選択する場合は、Shift キーを押しながら範囲の両端の NSP-1 を順番にクリックします。

- 3 [追加 >>] をクリックします。

選択した NSP-1 がグループリスト上に追加されます。NSP-1 リストでは、グレーの表示に変わります。

- 4 他にグループ設定ダイアログボックスで変更するデータがあれば、変更の作業を行います。
他に変更するデータがない場合は、グループ設定ダイアログボックスの右上隅にある [×] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

グループから削除するには

- 1 グループ設定ダイアログボックスのグループリストにグループに所属している NSP-1 が表示されていない場合は、グループ名の横にある + のノードのマークをクリックして、NSP-1 を表示させます。

- 2 グループから削除したい NSP-1 を選択します。

- 3 [<< 削除] をクリックします。

選択した NSP-1 がグループから削除されます。NSP-1 リストでは、選択した NSP-1 の表示が黒に変わります。

- 4 他にグループ設定ダイアログボックスで変更するデータがあれば、変更の作業を行います。
他に変更するデータがない場合は、グループ設定ダイアログボックスの右上隅にある [×] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

ヒント

手順 2 と 3 の代わりに、グループから削除したい NSP-1 を右クリックして、表示されるメニューの [グループから削除] をクリックすることもできます。

NSP-1 の登録を削除する

次の操作で、NSP-1 の登録データを BZNP-D1 から削除できます。

- 1 削除したい NSP-1 がグループに属しているときは、まずグループから削除して、NSP-1 リストに黒字で表示されるようにします。

◆ グループからの削除の方法については、この上の「グループから削除するには」をご覧ください。

削除したい NSP-1 が NSP-1 リストに黒字で表示されている場合は、この手順は必要ありません。

- 2 NSP-1 リストで、削除したい NSP-1 を選択します。
- 3 [NSP-1 削除] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

- 4 [はい] をクリックします。

選択した NSP-1 の登録が削除され、NSP-1 リストに表示されなくなります。

- 5 他にグループ設定ダイアログボックスで変更するデータがあれば、変更の作業を行います。
他に変更するデータがない場合は、グループ設定ダイアログボックスの右上隅にある [×] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

NSP-1 登録時の設定項目

NSP-1 を登録する際、登録データを入力する NSP-1 編集ダイアログボックスは、グループ設定ダイアログボックスで [NSP-1 新規作成] をクリックするか、すでに登録されている NSP-1 の表示をダブルクリック (または右クリックして [NSP-1 変更] をクリック) すると表示されます。

NSP-1 編集ダイアログボックスには、次の項目があります。

NSP-1 名称テキストボックス

NSP-1 につける名称を入力します。

すでに登録されている NSP-1 と同じ名称はつけられません。

IP アドレステキストボックス

この名称を設定する NSP-1 の IP アドレスを入力します。

NSP-1 側に設定するものと同じ IP アドレスを指定してください。すでに登録されている NSP-1 と同じ IP アドレスは使用できません。

パスワードおよびパスワードの確認テキストボックス

登録する NSP-1 にこのアプリケーションがアクセスする際に使用するパスワード (まちがいを防ぐために同じものを 2 回入力します) を設定します。

初期設定として、出荷時に NSP-1 に設定されているパスワードが入っています。NSP-1 のパスワードを変更した場合には、変更後のパスワードを両方のテキストボックスに入力してください。

接続チェックボタン

IP アドレステキストボックスに指定されている IP アドレスの機器への接続チェックを行い、結果を表示します。

NSP-1 にパスワードを設定している場合は、同じパスワードを設定しておかないとパスワードの不一致が起こります。

グループのデータを変更する

名称や再生時間、解像度、設置方向を変更する

- 1 グループ設定ダイアログボックスで、変更したいグループをダブルクリックします。または、グループを右クリックして、表示されるメニューの[グループ変更]をクリックします。

グループ編集ダイアログボックスが表示されます。
- 2 変更したい項目を変更します。

◆ グループ編集ダイアログボックスの各項目についての詳細は、「グループ作成時の設定項目」(87ページ)をご覧ください。
- 3 [OK] をクリックします。

グループ編集ダイアログボックスが閉じます。
- 4 NSP-1 や他のグループのデータを変更する場合は、変更の作業を行います。
他に変更するデータがない場合は、グループ設定ダイアログボックスの右上隅にある[×]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

グループの登録を削除する

- 1 グループ設定ダイアログボックスで削除したいグループを選択し、[グループ削除]をクリックします。
または、削除したいグループを右クリックして、表示されるメニューの[グループ削除]をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。
- 2 [はい] をクリックします。

選択したグループの登録が削除され、グループリストに表示されなくなります。
- 3 他にグループ設定ダイアログボックスで変更するデータがあれば、変更の作業を行います。
他に変更するデータがない場合は、グループ設定ダイアログボックスの右上隅にある[×]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

グループ作成時の設定項目

NSP-1 のグループを作成する際、登録データを入力するグループ編集ダイアログボックスは、グループ設定ダイアログボックスで[グループ新規作成]をクリックするか、すでに登録されているグループの表示をダブルクリック(または右クリックして[グループ変更]をクリック)すると表示されます。
グループ編集ダイアログボックスには、次の項目があります。

グループ名称テキストボックス

グループにつける名称を入力します。
すでに登録されているグループと同じ名称はつけられません。

再生時間スピンボックス

このグループの NSP-1 で再生を行う時間帯を指定します(24 時制)。
ここで指定する再生時間の範囲で一日のスケジュールを作成することになります。

運用休止時間スピンボックス

一日に一度 NSP-1 を再起動し、ハードディスクを休止(スリープ)させる時間帯(5 分間)を指定します(24 時制)。再生やデータの受信を行わない時間を指定してください。

ご注意

- NSP-1 は、毎日 24 時間連続で再生や素材などの受信を行うことはできません。運用休止中は、データの受信および再生が行えませんのでご注意ください。
- 必ず NSP-1 の設定と同じ時間帯を指定してください。
BZNP-D1 の設定値は NSP-1 に反映されません。
- 実際にハードディスクをスリープさせるのは150秒間ですが、運用休止時間には再生結果のデータを保存したり、素材などの自動削除処理も行われるため、場合によっては5分後に再生を開始できない場合があります。再生の開始時間を調整するなどして運用してください。

ディスプレイ解像度ドロップダウンリストボックス

お使いになるディスプレイに合わせて、解像度を選択します。
Web ブラウザーを使用して行う NSP-1 のシステム設定で、ディスプレイの設定に「Composite」を選択している場合は、「VGA」を選択してください。

ディスプレイ設置方向ドロップダウンリストボックス

ディスプレイを通常の向き(横)に設置するのか、縦長(縦)に設置するのかを選択します。

ご注意

グループのためのプレイリストや再生スケジュールを作成してしまった後にディスプレイの解像度や設置方向を変更することはできません。

作成したプレイリストと再生スケジュールをすべて削除してから変更するか、別のグループを作成してください。

また、プレイリストウィンドウおよび一日のスケジュールウィンドウにプレイリストや一日のスケジュールが表示されている場合にも、ディスプレイの解像度や設置方向の変更はできません。[プレイリスト]>[新規作成]、[一日のスケジュール]>[新規作成]を選択してウィンドウをクリックしてから設定を変更してください。

テンプレート設定ボタン

プレイリストのレイアウトのテンプレートを作成、管理するためのテンプレート設定ダイアログボックスと画面レイアウトウィンドウを表示します。

- ◆ テンプレート作成の手順については、「画面レイアウトのテンプレート設定」（25 ページ）をご覧ください。
作成したテンプレートの管理などについては、「画面レイアウトのテンプレートの管理」（79 ページ）をご覧ください。

NSP-1 およびグループのデータをファイルに書き出す

BZNP-D1 には、配信を行っている NSP-1 のステータスを監視し、再生結果を確認するツールとして、NSP-1 モニタリングツールが用意されています。このモニタリングツールは、BZNP-D1 のマスターライセンスと BZNP-DP50 の追加ライセンスをご購入になると、使用することができます。このモニタリングツールを BZNP-D1 が動作しているものとは別の PC でお使いになる場合は、BZNP-D1 で NSP-1 を登録し、グループを作成した後、次の手順で、登録、作成したデータをファイルに書き出し、モニタリングツールで読み込みを行ってください。

- 1 メニューバーの[設定]を選択し、メニュー上の[設定ファイルの書き出し]をクリックします。

名前をつけて保存ダイアログボックスが表示されます。

ご注意

BZNP-D1 のマスターライセンスおよび BZNP-DP50 の追加ライセンスを登録してからでないと、[設定ファイルの書き出し]は選択できません。

- 2 データを保存するフォルダとファイル名を指定して[保存]をクリックします。

BZNP-D1 で登録した NSP-1 とグループのデータが、.ini という拡張子のファイルとして指定したフォルダに保存されます。

NSP-1 モニタリングツールでこのファイルを読み込むことで、NSP-1 とグループのデータを利用して NSP-1 を扱うことができるようになります。

- ◆ ファイルの読み込みの方法、および NSP-1 モニタリングツールについて詳しくは、NSP-1 モニタリングツールの取扱説明書をご覧ください。

用語解説

一日のスケジュール

どの時間帯にどのプレイリストを再生するかを指定した、一日単位の時間割のようなリスト形式のデータ。

NSP-1 のオーディオ出力レベルの調整や、NSP-1 に RS-232C で接続されている機器 (プラズマディスプレイ など) に使用する制御コマンドも一日のスケジュールに指定することができる。

イベント

プレイリストおよび一日のスケジュールのセル (リストの一マス) に入っているデータ。

プレイリストの場合は、素材をプレイリストにドロップすると、イベントが作成される。再生する素材と開始時間、再生時間 (長さ)、画面上の位置とサイズの情報が含まれている。

一日のスケジュールでは、プレイリストまたは制御コマンドを一日のスケジュールにドロップすると、イベントが作成される。再生するプレイリストと再生開始時間、または実行する制御コマンドと制御を実行する時間の情報が含まれている。

インデックス

BZNP-D1 で扱う素材、制御コマンド、プレイリスト、一日のスケジュールのデータを内部的に識別するための 9 桁のコード (番号)。素材などを登録、作成すると、新たなインデックスが自動的に割り当てられる。

コンテンツ管理ウィンドウでは、カレンダーを除くすべてのデータにインデックスが表示される。

各コンテンツの下 6 桁が 999000 以上の範囲はシステムの使用およびサンプルデータ用に予約されているため、登録可能なインデックスは、各コンテンツで 000001 から 998999 までとなっている。

カレンダー

どの期間にどの一日のスケジュールを使用するか、またはどの期間に NSP-1 上での再生を休止するかを指定したデータ。

NSP-1 で再生を行うには、再生する素材、プレイリストと共に、一日のスケジュールとカレンダーのデータが必要。

NSP-1 では、同じ日に複数の一日のスケジュールを受け付けられないので、期間が重なった場合には、更新日時が後のカレンダーデータが有効となる。

ただし、再生休止のデータは優先順位が高いため、再生期間を指定したカレンダーデータと再生休止の期間を指定したデータが重なった場合は、その日は NSP-1 での再生は行われない。

カレンダー手動作成モード

BZNP-D1 の V2.1 以前と同じように再生スケジュールを指定する場合、および毎月、2 週目と 4 週目に同じ一日のスケジュールを使用するなど、一日のスケジュールを複数の期間に使用する場合はスケジュール作成モード。

「カレンダー」で再生期間を指定する。V2.20 以降のバージョンでは、もっと簡単に NSP-1 での再生が行えるように、カレンダー手動作成モードのほか、に、「単独プレイリストモード」 (90 ページ) と「複合プレイリストモード」 (90 ページ) というスケジュール作成モードが用意されている。

グループ

再生内容、解像度、接続するディスプレイの設置向き (横 / 縦) によって管理する NSP-1 を分類したもの。

BZNP-D1 は、NSP-1 をグループ単位で管理する。プレイリストや再生スケジュールの作成、データの送信は、個別の NSP-1 に対してではなく、グループ単位で行われる。

コンテンツ

NSP-1 で再生する動画、静止画、文字 (テロップ)、音楽、音声などの情報、およびそれらを組み合わせて構成したものの。

コンテンツ管理ウィンドウでは、さらにプレイリストと再生スケジュールも合わせ、NSP-1 での再生に必要なデータすべてを「コンテンツ」としている。

再生スケジュール

「一日のスケジュール」と「カレンダー」を合わせた呼称。

プレイリストを NSP-1 上で再生するための予定のデータ。

実ファイル

NSP-1 で再生するための動画、静止画、オーディオ、Flash のファイル。

BZNP-D1 では、様々なアプリケーションプログラムで作成された一般的なファイルを、素材として保存場所などを登録して使用できる。この、他のアプリケーションプログラムで作成されたファイルを「実ファイル」と呼ぶ。

スクリーンセーバー

再生するものがスケジュールされていないときに、NSP-1 で再生されるプレイリスト。

NSP-1 に電源が入っていて、その日時の再生スケジュールが指定されていないときに、スクリーンセーバーに指定されているプレイリストを再生する。同じ位置に同じ画像を表示しつづけると、プラズマディスプレイや液晶ディスプレイに焼きつき (残像現象) が生じることがあるので、動きのあるものを指定することが望ましい。

スケジュール作成モード

プレイリストの再生時間、再生期間、曜日などの再生スケジュールをどこまで手動で指定するかを選択するもの。単独プレイリストモード、複合プレイリストモード、カレンダー手動作成モードの 3 種類がある。

制御、制御コマンド

プレイリストや一日のスケジュールに組み込んで、NSP-1 のオーディオ出力レベルの調整や、NSP-1 に RS-232C で接続されている機器 (プラズマディスプレイなど) の電源の ON・OFF、入力切替などを行うために用意されている仕組み。

NSP-1 に対するものや、ソニー製業務用プラズマディスプレイで動作確認済みのモデルに対するものは、BZNP-D1 に組み込まれており、新たに追加登録することもできる。

素材

NSP-1 で再生するための、動画、静止画、テロップ、URL(Web ページ)、オーディオ、Flash ファイルを BZNP-D1 に登録したデータ。再生順に並べてプレイリストを作成する。(プレイリスト上に並べたものは「イベント」となる)

プレイリストには指定しないが、制御コマンドを「素材」に含める場合もある。

タイトル

BZNP-D1 で扱う素材、制御コマンド、プレイリスト、一日のスケジュールのデータのそれぞれをオペレーターが識別するために、「分類」と共に自由に指定する文字列。半角、全角の区別なく 40 文字まで使用できる。すでにある他のデータと同じ文字列を指定することもできる。

コンテンツ管理ウィンドウでは、カレンダーを除くすべてのデータにタイトルが表示される。

単独プレイリストモード

ひとつのプレイリストを、一日中繰り返し再生するスケジュール作成モード。「プレイリスト」で、再生時間と期間を指定する。

一日のスケジュール、カレンダーの各データは、指定された再生時間、期間および曜日を元に自動的に作成される。

V2.20 以降のバージョンでは、このほかに「複合プレイリストモード」(90 ページ) と、「カレンダー手動作成

モード」(89 ページ) というスケジュール作成モードが用意されている。

テンプレート

プレイリスト作成時に画面レイアウト (同時に再生する各素材の画面上での配置) を簡単に指定できるように作成しておくレイアウトの雛型。NSP-1 の解像度とディスプレイの向きごとに 50 個まで管理できる。

テンプレートを選択してから素材をプレイリストに追加することで、あらかじめ指定された画面レイアウトに従って、各素材のイベントに位置とサイズの情報が自動的に付加される。

また、選択したテンプレートとは異なるレイアウトにしたい場合は、プレイリストの行ごとに後から別のテンプレートを適用したり、個別にレイアウトを調整することもできる。

複合プレイリストモード

時刻を指定してディスプレイの電源 On/Off などの制御を行ったり、時間帯を指定して一日に複数のプレイリストを再生するためのスケジュール作成モード。

「一日のスケジュール」で、再生期間を指定する。

カレンダーのデータは、指定された再生期間および曜日を元に自動的に作成される。

V2.20 以降のバージョンでは、このほかに「単独プレイリストモード」(90 ページ) と、「カレンダー手動作成モード」(89 ページ) というスケジュール作成モードが用意されている。

プレイリスト

NSP-1 のレイヤーごとの素材の再生順を指定したリスト形式のデータ。

プレイリストに素材を追加すると、開始時間、再生時間 (長さ)、画面上の位置とサイズの情報が付加され、「イベント」として、プレイリストウィンドウのセルに表示される。

作成したプレイリストは、再生を行う時間帯の情報と共に、一日のスケジュールに組み込まれる。

プレビュー

素材やプレイリストを配信して公開する前に、確認のために再生すること。プレビュー用のディスプレイが接続されている NSP-1 に素材やプレイリストを送信して再生する。

テロップを除く素材の場合、Windows で関連付けられているアプリケーションプログラムを使用して、個別に PC 上でプレビューを行うこともできる。

分類

BZNP-D1 で扱う素材、制御コマンド、プレイリスト、一日のスケジュールのデータのそれぞれをオペレーターが識別するために、「タイトル」と共に自由に指定する文字列。半角、全角の区別なく 20 文字まで使用できる。すでにある他のデータと同じ文字列を指定することもできる。

コンテンツ管理ウィンドウでは、カレンダーを除くすべてのデータに分類が表示される。

レイアウト

同時に再生する各素材の画面上での配置。NSP-1 の各レイヤーで素材がひとつずつ再生されるため、オーディオレイヤー以外のレイヤーの配置とも言える。

プレイリストウィンドウには表示されないが、プレイリストの各イベントには、レイアウト情報が付加されている。

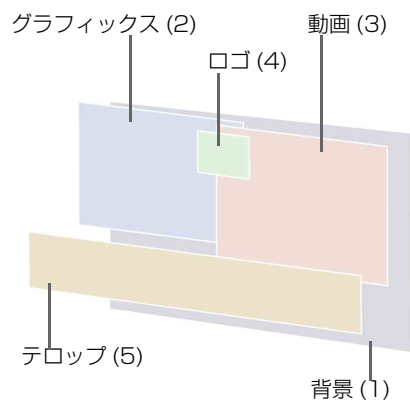
通常は、選択されている画面レイアウトのテンプレートに従って、レイアウト情報は自動的に付加されるが、プレイリストの行ごとに個別にレイアウトを調整することができる。

レイヤー

NSP-1 が持つ 6 種類の表示およびオーディオ層。

NSP-1 はプレイリストに従い、各レイヤーで一度にひとつの素材を再生する。

オーディオ以外の各レイヤーは、次の図のように重ねて表示される。(図中の番号は各レイヤーの重ね順)



静止画素材は、背景、グラフィックス、ロゴのいずれのレイヤー上でも再生が可能。また、グラフィックスレイヤーでは、静止画素材の他に Flash ファイル、Web ページ (URL) を再生する。

Flash ファイル

Macromedia Flash ファイル形式 (.swf) のファイル。Web ブラウザで見ることのできるアニメーションなどに使用される。

NSP-1 では、Macromedia Flash Player を使用して Flash ファイルの再生を行う。

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>